

消防年報

平成28年版

甲府地区広域行政事務組合消防本部

ま え が き

この年報は、平成28年中における甲府地区広域行政事務組合消防本部の諸資料を収録して今後の消防行政の参考とするとともに、甲府地区広域行政事務組合の実態を紹介することを目的に編さんしました。

諸表については暦年、予防統計については年度、予算・組織及び人事関係については平成29年4月1日現在をもって作成しました。

平成29年6月

甲府地区広域行政事務組合消防本部

構 成 市 町 章



甲府市



甲斐市



中央市



昭和町

目 次

1 沿 革

甲府地区広域圏の概要	1
山梨県内常備消防の位置	2
面積・人口・世帯数	2
消防のあゆみ	3
甲府地区消防の歌	10
管内情勢と消防情勢の推移	11
主な火災	13
消防相互応援協定等の状況	15

2 総 務

組織市町一般会計予算と消防事業特別会計予算の比較	18
平成29年度歳入歳出当初予算	18
消防庁舎の状況	19
消防車両及び小型動力ポンプ配置状況	23
消防車両及び小型動力ポンプ車齢状況	23
消防車両一覧表	24

3 企 画

消防本部・消防署・出張所の配置	25
消防の組織	26
消防本部分掌事務	27
消防署分掌事務	32
消防広報	35
広報活動の概要	35
防災教室実施状況	36
庁舎・施設等の見学状況	36
消防音楽隊の概要	37

4 人 事

人事の概要	38
消防職員所属別配置状況	38

消防職員年齢状況	39
消防職員勤続年数	39
消防職員実員年別比較	39
消防職員教養	40

5 警 防

火災の概要	42
火災件数等の前年比較	42
市町別火災発生状況	43
年別火災発生状況	43
署別火災発生状況	44
月別火災発生状況	44
曜日別火災発生状況	45
時間別火災発生状況	45
曜日別火災発生状況（グラフ）	46
時間別火災発生状況（グラフ）	46
原因別火災発生状況（グラフ）	47
119 番入電から火災現場到着までの所要時間（建物火災）	48
消防水利一覧表	49

6 救 急 救 助

救急概要	50
救助概要	50
救急活動の前年比較	51
年別月別救急出場件数	52
消防署別・事故種別救急出場件数	54
消防署別・月別救急出場件数	54
市町別救急出場件数	55
市町別事故種別救急出場件数	56
中央自動車道救急出場状況	56
年齢別事故種別搬送人員	57
事故種別年齢別傷病程度別搬送人員	58
傷病程度別男女別搬送人員	59
時間別救急出場件数	60
事故種別診療科目別搬送人員	61
覚知別救急出場件数	62
上級・普通・基礎救命講習受講者数	62

1 日平均救急出場件数の年別比較（グラフ）	63
一般負傷・交通事故・急病の搬送人員（グラフ）	63
構成市町熱中症による救急搬送状況	64
119 番通報入電から救急現場到着までの所要時間	65
119 番通報入電から病院収容までの所要時間	65
救助活動の前年比較	66
市町別事故種別救助出場件数	67
市町別月別救助出場件数	68
曜日別事故種別救助出場件数	69
時間別事故種別救助出場件数	70
救助出場件数の年別比較（グラフ）	71
事故種別救助出場件数（グラフ）	71

7 予 防

予防行政の概要	72
指定防火対象物状況	74
指定防火対象物階層状況	75
建築同意棟数状況	76
建築同意した棟数及び面積	77
防火対象物予防査察実施状況	78
消防用設備等設置状況	79
各種届出検査・願出調査等処理状況	80
危険物施設年度別・部署別事務処理状況	81
危険物施設市町別設置状況	82
危険物施設年度別・部署別設置状況	83
危険物製造所等部署別査察実施状況	84
防火管理者資格付与新規講習会及び再講習会実施状況	85
幼年消防クラブの目的	86
女性防火クラブの目的	86
幼年消防・女性防火クラブの現況	86

8 通 信

通信指令業務の概要	87
通信系統図（平常時）	88
通信系統図（非常時）	89
移動無線局配置表	90
携帯無線局配置表	91

ふれあいペンダント通報システム図	92
ふれあいペンダント（緊急通報装置）市町別設置状況	93
ふれあいペンダント市町別受信状況	93
119番等受信状況	94
一般電話・IP電話・携帯電話別119番等受信状況	95
気象状況（山梨県中北地域）	96

9 消 防 団

消防団の概要	97
消防団員年齢構成	97
消防団員数及び機械一覧表	98
消防団員教養	99
消防ポンプ自動車性能一覧表	100
小型動力ポンプ性能一覧表	101

1

沿 革

- 甲府地区広域圏の概要
- 山梨県内常備消防の位置
- 面積・人口・世帯数
- 消防のあゆみ
- 甲府地区消防の歌
- 管内情勢と消防情勢の推移
- 主な火災
- 消防相互応援協定等の状況

甲府地区広域圏の概要

この圏域は、首都圏の西部に位置し、西には南アルプス連峰、北には八ヶ岳や金峰山を望む甲府盆地の中央部にあり、圏域は南北41.5km、東西15kmと細長く面積は306.32km²となり、高地又は丘陵地が圏域の59%を占めています。圏域の中心市街地である県都甲府市は、武田氏によって構築され、江戸時代には、徳川幕府の直轄地として栄えるとともに城下町としても完成され、明治、大正、昭和の時代を経て近代的都市として形成されました。

消防行政は、甲府市を中心に甲斐市（合併前の竜王町及び敷島町の区域）、中央市、昭和町の3市1町で組織する一部事務組合により執行しており、管轄人口は299,407人を数えます。

地勢は、盆地に集まる河川による扇状地であり、西に釜無川、東に笛吹川、中央部は秩父山系に源を発する荒川、南に御坂山系の黒岳に源を発する芦川からつながる寺川が流れ、これらの河川は圏域南部で合流し日本三大急流の一つである富士川となって駿河湾に注いでいます。

圏域内の交通は、古くから甲州街道（国道20号線）を中心として国道52号線、同140号線、同358号線が集まり、地方道を含め甲府を中心に放射状に発達してきました。また、管内に2箇所のインターチェンジを有する中央自動車道西宮線により、京浜地域だけでなく中京・阪神地域が近距離となり産業、観光に交通量は逐次増加しており、中部横断自動車道の全線開通に向けて交通網の更なる発展が予想されます。

鉄道は、JR中央本線とJR身延線により首都圏、長野県及び静岡県に通じ、また、東京一大阪間を結びリニア中央新幹線の県内駅が甲府市南部に決定したことにより、圏域は東西大都市のビジネス圏・行楽圏となるため、2027年の東京・品川―名古屋間の先行開業に向け、夢と希望に満ちあふれた街づくりが進められています。

圏域内の気候は、太平洋側気候に属した内陸気候であり、暖候期には風が弱く降水量は比較的多く、寒候期には「甲州の空っ風」と呼ばれる北西の季節風が強く降水量は少なく、また年間の平均気温は全国平均並みですが、平坦地の夏季は湿度が高く山岳地域は標高差により気温差が大きく、冬季は乾燥し寒さが厳しい盆地特有の気候です。

山梨県内常備消防の位置



面積・人口・世帯数

(平成29年4月1日現在)

種 別 市町別	面 積 (km ²)	人 口 (人)	世帯数 (世帯)
合 計	306.32	299,407	135,348
甲 府 市	212.47	190,456	89,945
甲 斐 市	53.08	58,669	24,384
中 央 市	31.69	30,677	12,619
昭 和 町	9.08	19,605	8,400

※甲斐市については、旧竜王町、旧敷島町の区域

※人口は外国人登録を含む。

消防のあゆみ

万治 3年	甲府市に火消組合が創設された。 これは山梨県における組織的消防の草分けである。火消組合は、総町人足600人をもって4組に分けて代官奉行4人を組頭とし、各組の長を設け人足150人をもって編成し、当時の消火は破壊消火と竜吐水であった。
享保 中	甲府町火消が火消人足988人で誕生した。
延享 中	甲府町火消が改組され、各町各主及び5人組頭が指図し、8町組、3町組、上府中組の3組とし、人足も294人に減じ、上篇、中篇の2種類編成とした。
天保 中	町火消初代組頭に内藤岩吉がなり、半纏を作り、統制ある町火消として甲府の守護に任じた。
明治11年 3月	県令により消防規則が制定され、町火消は5番組制度となり各組は小頭、纏持ち、筒先、刺股、梯子、平夫からなり、全組を統制する頭取、副頭取を置き、腕用ポンプを購入し、冷却消火への転換期を迎えた。
明治27年 2月	勅令15号をもって消防規則が発令され、甲府市消防組を設け一組四部制に分けた。各部には組頭1名、小頭3名、消防手30名の計133名で編成し、その諸経費はすべて市において負担し、警察の指揮監督の下に消防活動を行うことになった。これが公設消防の始まりであった。
明治30年	時代の推移に伴う市民の要望と、消防幹部の努力により「常備消防部」が創設され、蒸気ポンプと機関士他1名を常置した。
昭和 3年 9月	甲府市消防設置規程を公布、市中央部の甲府警察署構内に甲府市消防所を設置した。 (人員7名)
昭和 7年10月	市の北部(白木町)、西部(西青沼町)の2箇所(共に戦後廃止)に常備消防所の出張所を新設した。(人員16名)
昭和14年 1月	勅令20号で消防団令が公布され、甲府市消防組を廃止し、甲府市警防団2,568人で結成した。これは戦時下における防空防火の重大な役割を果たした。
昭和22年 4月	勅令をもって消防団令が公布され、翌23年消防団条例を制定、団長以下1,702名をもって改組した。同27年4月機械化と待遇改善のため人員を整理し、団長以下893名、15分団に編成替した。
昭和22年 9月	町村合併により西部に貢川出張所(所員6名、ポンプ車1台を配置)を新設した。
昭和22年12月	法律第226号をもって消防組織法が制定公布され、同23年3月施行となり警察より分離し、新制度の消防が完全に市町村の機関となった。
昭和23年 3月	市南部に湯田出張所(所員6名、ポンプ車1台を配置)を新設した。
昭和23年 7月	法律第186号をもって消防法が公布され、同9月施行となり消防長以下37名、ポンプ車5台、その他1台をもって甲府市消防本部が開設され、自治体として甲府市消防の面目が一新した。
昭和23年 8月	市北部に湯村出張所(所員6名、ポンプ車1台を配置)を新設した。
昭和27年 7月	消防本部庁舎が落成、竣工式典が行われた。 鉄筋コンクリート造2階建、望楼6階建(高さ21.9m、延べ面積570㎡)
昭和29年10月	消防団においては、町村合併促進法によって隣接10箇村の編入合併により7分団を加え一躍22分団1,397名、機械力も三輪車4台、可搬式動力ポンプ11台を増置した。
昭和30年 6月	市北部遠隔地の災害発生時の連絡のため、基地局及び移動局の中短波無線機を設置した。
昭和30年12月	日本損害保険協会から水そう付消防ポンプ車(1台)の寄贈を受けた。
昭和32年12月	消防の機動力を強化するため無線付消防ポンプ車(ジープ型)(2台)を新規に配置した。
昭和33年 4月	消防団において、東分団を新設し23分団に陣容を整えた。
昭和33年 5月	非常時の人命救助を目的とした救急業務を実施することになり、本署に救急車を配置し、業務を開始した。
昭和34年12月	中継送水用第1ポンプ車として大型ポンプ車を購入した。
昭和35年 4月	本部の組織改革を行い、総務課・警防課及び消防署の2課1署制を実施した。

昭和36年 1月	高層建築物の人命救助、火災防ぎょ活動に万全を期すため17m級梯子付消防車（1台）を購入した。
昭和36年10月	消防体制の確立を図るため消防職員を106名に増員した。
昭和37年 4月	急速に進展している東部地域の防火体制強化のため、甲府市消防署東部出張所を新設した。
昭和38年11月	激増する交通事故に対処するため東部出張所へ救急車（1台）を配置した。
昭和39年 4月	消防職員を109名に増員した。
昭和39年12月	市南西部に設置してある貢川出張所の改築を行い、防災拠点としての整備を図った。
昭和40年 4月	消防職員を112名に増員した。
昭和40年 7月	消防署の組織改革を行い湯田出張所を消防署に昇格させ、責任体制を明確化にし、2課2署（丸の内・湯田）制に改革した。
昭和40年11月	科学の発達に伴い複雑多岐にわたる災害に対処するため新鋭化学消防車（1台）を購入し、丸の内消防署に配置した。
昭和41年 7月	湯田消防署管内の救急業務に万全を期すため救急車（1台）を配置した。
昭和42年 9月	甲府市防災対策業務を主管する防災課を新設し、本部の機構を3課2署制に改革した。
昭和42年10月	本部総務課に火災現場等における指揮命令を迅速かつ適切に周知させるため無線付司令車を配置した。
昭和43年12月	高層建築物災害に対処するため32m級梯子付消防車（1台）を購入し、丸の内消防署に配置した。
昭和45年 3月	消防職員を116名に増員した。
昭和45年 4月	湯田消防署の改革を行い、益々発展しつつある南部の防火体制確立のため17m級梯子付消防車を配置し、湯田消防署の充実を図った。
昭和45年 8月	隣接5町村の救急業務の委託を受け実施するとともに広域救急体制の確立のため貢川出張所に救急車を配置した。
昭和45年 9月	本部警防課を予防担当（課）・警防担当（課）に分割独立させ責任体制の確立と予防行政の強力な推進を図った。これにより本部機構を4担当（課）2署制とした。
昭和45年10月	消防署の組織改革を行い、係長制度を採用した。 甲府市消防団の少数精鋭化と処遇改善のため団員の削減を行い、団長以下1,020名に編成した。
昭和46年 1月	甲府市消防団朝日分団を分割して北新分団を新設し、消防団の整備を図り24分団に編成した。
昭和47年 4月	消防職員を126名に増員した。
昭和48年 4月	甲府市他5町村による「甲府地区広域行政事務組合消防本部」が発足した。 職員定数を215名とする。 区域：甲府市、竜王町、敷島町、玉穂村、昭和町、田富町 署所：1 消防本部、2 消防署、3 出張所 車両：消防ポンプ車（7台）、水そう付消防車（2台）、化学消防車（1台）、梯子付消防車（2台）、救急車（4台）、司令車（1台）、広報車（1台）、連絡車（1台）、作業車（1台）（甲府市から借用） 職員：122名（甲府市から職員を派遣）
昭和48年 6月	消防職員を133名に増員した。
昭和49年 2月	消防職員を153名に増員した。
昭和49年 3月	消防職員を169名に増員した。
昭和49年 4月	広域消防の実働開始に伴い消防本部の組織改革を行い、次長制度の採用及び特別救助隊を設置し、消防施設、車両及び通信施設を完備した。 消防職員を181名に増員した。さらに職員の教育機関として教育隊を西消防署に開設した。 署所の新設：西消防署（竜王町）、武田出張所（甲府市）、国母団地出張所（昭和町）、敷島出張所（敷島町）、田富出張所（田富町）、宮本分遣所（甲府市） 車両の購入：消防ポンプ車（5台）、水そう付消防車（1台）、救助工作車（1台）、救急車（2台）、連絡車（2台）

	通信施設の整備：一斉指令装置（１基）
昭和４９年１２月	甲府市消防団・竜王町消防団・敷島町消防団・玉穂村消防団・昭和町消防団・田富町消防団をもって山梨県消防協会甲府地区支部を結成した。
昭和５０年　３月	消防本部庁舎の増築を行い、災害時における防災拠点として完成した。
昭和５０年　４月	消防本部の組織改革を行い、消防行政の積極的な推進を図るため消防相談所を開設した。消防職員を１９１名に増員した。
昭和５０年１０月	高層建築物の人命救助体制確立のため各種救助器具を装備した４１ｍ級梯子付消防車（１台）を購入し中央消防署へ配置し、中央消防署の３２ｍ級梯子付消防車を西消防署へ配置換えを行った。
昭和５１年　３月	複雑多様化する災害対処するために新鋭化学消防車（１台）を購入し、国母団地出張所へ配置した。
昭和５１年　４月	消防本部の組織改革を行い、次長制度を廃止し広報課を新設した。消防音楽隊規程を制定し、隊長以下１９名を以て発足した。消防職員を２０６名に増員した。
昭和５１年１１月	予防行政の推進を図るため予防査察車（１台）を購入した。
昭和５２年　１月	消防業務の執行体制を強化するため消防副士長制度を設けた。
昭和５２年　４月	消防職員を２１７名に増員した。
昭和５２年１０月	甲府市消防団千塚分団を分割し羽黒分団を新設し、２５分団に編成した。
昭和５３年　１月	救急業務の推進を図るため新鋭救急車（１台）と多数傷病者事故対策のため緊急輸送車（１台）の寄贈を受けた。
昭和５３年　３月	水利不足地域の水利確保のため大型水そう車（１０，０００ℓ）（１台）を購入し、中央消防署へ配置した。
昭和５３年　４月	組合消防発足５周年記念式典を挙行し消防本部旗を樹立し、甲府地区消防の歌を制定した。消防職員を２２２名に増員した。
昭和５３年１１月	東部方面の防災拠点として甲府市和戸町に東部出張所を移転新築した。
昭和５３年１２月	広報業務推進を図るため広報車（１台）を購入した。
昭和５４年　３月	救急業務の推進を図るため新鋭救急車（１台）の寄贈を受けた。
昭和５５年　３月	中央自動車道西宮線（甲府昭和ⅠＣ～韮崎ⅠＣ）の救急業務を行うため新鋭救急車を西消防署へ配置した。
昭和５５年　４月	消防本部の組織改革を行い、通信指令室を新設した。消防職員を２３０名に増員した。
昭和５６年　４月	消防職員を２４０名に増員した。
昭和５６年１０月	特殊災害対策用として新鋭救助工作車（１台）を購入し、中央消防署へ配置した。
昭和５７年　４月	消防本部、消防署の組織改革を行い、人事教養課を新設し、中央消防署宮本分遣所を出張所に昇格させた。消防職員を２４８名に増員した。
昭和５７年１０月	消防音楽隊規程の改正を行い、定員を３３名に増員した。
昭和５８年　４月	消防職員を２５６名に増員した。
昭和５８年１１月	組合消防発足１０周年記念式典を挙行した。
昭和５９年　３月	市街化が進む西部方面の防災拠点の整備を図るため貢川出張所の新築を行った。
昭和５９年　４月	消防本部、消防署の組織改革を行い、消防本部に次長制を新設し、中央消防署に副署長を置き指揮命令系統の確立と事務の効率化を図った。広報課に音楽隊係を設置した。消防職員を２６３名に増員した。
昭和５９年１１月	災害現場における隊員の安全と活動の効率を期すため照明電源車（１台）を購入し、中央消防署へ配置した。
昭和５９年１２月	広域南部の消防力の強化充実を図るため玉穂村に南消防署玉穂出張所を新設し、消防ポンプ車（１台）を配置した。

昭和60年	4月	玉穂村に町制が施行され玉穂町となる。 消防本部に国民体育大会の消防警備等の万全を期するため国体消防警備課を新設した。 消防職員を266名に増員した。	
昭和60年	12月	広域南西部の消防力の強化充実を図るため国母団地出張所を昭和町に移転新築し、南消防署昭和出張所とした。	
昭和61年	3月	高層ビル災害に備えて、新鋭高所作業用消防車SAスカイアームΣ16（1台）を購入し、中央消防署へ配置した。	
昭和61年	4月	消防署の組織改革を行い毎日勤務の査察指導係を隔日勤務とし、事務の効率化を図った。 消防職員を271名に増員した。	
昭和61年	8月	消防隊員の緊急輸送及び多数傷病者発生事故対策のため隊員輸送車（1台）を購入した。	
昭和61年	12月	第41回国民体育大会及び第22回身体障害者スポーツ大会の終了により国体消防警備課を廃止した。 広域北西部の防災拠点の整備を図るため中央消防署湯村出張所の移転新築を行った。 消防職員を274名に増員した。	
昭和62年	4月	南、西の各消防署に副署長を置き指揮命令系統を確立し、事務の効率を図った。	
昭和62年	10月	30m級梯子付消防車（4輪操舵、傾斜きょう正装置付）（1台）を西消防署へ配置した。	
昭和62年	12月	消防職員を279名に増員した。	
昭和63年	4月	消防防災拠点の整備を図るため甲府市伊勢三丁目地内に消防本部、南消防署を移転新築した。 複雑多様化する各種災害に迅速かつ的確に対応するため通信指令室に消防緊急情報システムを導入した。	
平成	元年	3月	消防本部の組織改革を行い、通信指令室を指令課に改め、広報課を廃止し総務課内に広報担当を設置した。 消防職員を284名に増員した。
平成	2年	3月	特殊災害対策用として新鋭救助工作車（1台）を購入し、南消防署へ配置した。
平成	2年	4月	消防本部の組織改革を行うため人事教養課を職員課に改め、総務課広報担当を廃止し、指導広報課を新設した。 消防署の組織・業務執行体制の強化を図るため次席制度を廃止し、消防課長制を導入した。 広域救助活動体制の充実を図るため中央消防署に特別救助隊（兼務）（1隊）を配置した。 消防職員を287名に増員した。
平成	3年	3月	高齢化社会が急速に進展する中で、災害弱者である65歳以上の一人暮らし老人の安全を守るため「ふれあいペンダント」（緊急通報システム）を導入した。
平成	3年	7月	救急業務の推進を図るため新鋭救急車（1台）の寄贈を受けた。
平成	4年	4月	消防本部の組織・業務執行体制の強化を図るため次長制を廃止し、副消防長を配置した。 救急救命士第1号誕生
平成	5年	4月	消防本部・消防署の組織改革を行い職員課、指導広報課をそれぞれ人事課、広報課に改め、予防課に査察係を新設し、消防署の隔日勤務の予防係を毎日勤務に、毎日勤務の庶務係を隔日勤務とし、事務の効率を図り、中央消防署の特別救助隊に専任の隊長を配置し、広域救助体制の強化を図った。
平成	6年	2月	新鋭の高規格救急車（1台）を購入し、運用を開始した。
平成	6年	4月	消防署の組織改革を行い予防及び査察事務執行体制の充実強化を図るため、予防課長を配置するとともに隔日勤務の査察指導係を毎日勤務とした。 消防職員を295名に増員した。
平成	7年	1月	在宅の一人暮らしの重度身体障害者の安全を確保するための在宅障害者緊急通報システムを加えた。
平成	7年	3月	新鋭の高規格救急車（1台）の寄贈を受け、中央消防署へ配置した。 西消防署に配置している水そう車を更新した。
平成	7年	4月	広域南西部の消防力の充実強化を図るため南消防署田富出張所の移転新築を行った。 消防職員を301名に増員した。

平成 8 年 4 月	高校総合体育大会の消防警備等に万全を期すため、警防課に高校総体係を新設した。 消防職員を305名に増員した。
平成 8 年 12 月	大規模災害発生時の偵察・情報収集活動を行うため震災用オートバイ（3台）を購入し、各消防署に配置した。
平成 9 年 2 月	署所の適正配置を図るため、中央消防署を移転新築した。
平成 9 年 3 月	緊急消防援助隊の救助隊登録部隊として、救助工作車Ⅲ型（1台）を購入し南消防署に配置し、中央消防署に配置している化学消防車Ⅱ型（1台）を購入し、更新した。
平成 9 年 4 月	消防本部、消防署の組織改革を行い人事課教養係を人事課教育研修係に改め、高校総合体育大会終了に伴い警防課高校総体係を廃止した。 消防署課長制を廃止し、次席を配置した。東部、田富、敷島の各出張所救急隊に隊長を配置した。
平成10年 2 月	緊急消防援助隊の救急隊登録部隊として、災害対応救急自動車（1台）及び高度救命処置用資機材を購入し、西消防署に配置した。 西消防署に配置している化学消防車Ⅱ型（1台）と南消防署玉穂出張所に配置している消防ポンプ車（1台）を更新した。
平成10年 3 月	広域北西部の防災拠点として、西消防署敷島出張所を移転新築した。
平成11年 2 月	西消防署敷島出張所に配置している消防ポンプ車（1台）を更新した。
平成11年 3 月	緊急消防援助隊の後方支援部隊として、支援車（1台）及び援助隊支援資機材を購入し、消防本部に配置した。 消防本部敷地内に車庫兼倉庫を新築した。
平成11年 5 月	消防本部、消防署の組織改革を行い消防署の消防次席を警防次席に、専門主任を主任に、本部予防課査察係を査察指導係に、消防署査察指導係を査察係にそれぞれ改めた。 救急救命需要の増加に伴い的確な応急処置指導が行えるよう指令課に救急救命士を配置した。
平成12年 4 月	消防本部、消防署の組織改革を行い副消防長制を廃止し、本部統括と消防署統括の次長制にし、企画調整を図るため本部に主幹を配置し、救急業務の高度化と防火防災意識の積極的な推進を図るため広報課を防災救急課に改め、火災原因究明の迅速な対応をするため警防課調査係を第1係、第2係に分割した。
平成13年 4 月	消防本部、消防署の組織改革を行い本部主幹を企画主幹に改め、消防長の指定する企画調整事務を担当し、組織の強化を図った。 消防署の警防係に主査を配置した。西消防署に特別救助隊長を配置し広域救助体制を強化した。
平成13年12月	中央消防署に配置している高規格救急車（1台）を更新した。
平成14年 2 月	急増する救急事案に対応するため南消防署昭和出張所、玉穂出張所に救急自動車（各1台）を配置した。
平成14年 3 月	西消防署貢川出張所に配置している消防ポンプ自動車（1台）を更新した。
平成14年 4 月	消防本部の情報ネットワークの構築により財務会計システム及びグループウェアの運用を開始し、総務課経理係と管財係を統合し財務係とし、情報管理等を推進するため企画係と緊急消防援助隊のスムーズな活動を行うため緊急消防援助隊係を新設した。
平成14年11月	西消防署敷島出張所に配置している救急自動車を高規格救急車（1台）に更新した。
平成14年12月	中央消防署に配置している救助工作車（1台）を更新した。
平成15年 4 月	消防本部、消防署の組織改革を行い指令課に消防総合情報管理システムを構築するため情報管理係を新設し、南消防署特別救助隊に副隊長を配置し広域救助体制の強化を図った。
平成15年 9 月	甲府地区消防本部のホームページを開設した。
平成15年12月	南消防署田富出張所に配置している高規格救急車（1台）を更新した。
平成16年 1 月	中央消防署に水槽付消防ポンプ車（1台）を購入し、配置した。
平成16年 4 月	消防本部の組織改革を行い企画課を新設し、総合的企画を担当し、指令課情報管理係を企画係に統合した。 平成15年度緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練（甲府市小瀬会場）の終了により緊急消防援助隊係を廃止した。

平成16年	9月	中巨摩郡竜王町、同敷島町及び北巨摩郡双葉町の3町合併により「甲斐市」となる。
平成17年	2月	西消防署に配置している高規格救急車（1台）を更新した。
平成17年	3月	複雑多様化する災害に対応するため最新鋭のコンピュータと最新の通信機器を駆使して「高機能消防指令センター」を整備した。
平成17年	4月	消防本部の組織改革を行い総務課に主幹を配置し、組織構成市町の配置分合に伴う広域消防のあり方、消防救急無線のデジタル化等調査研究を担当し、防災救急課を廃止して、救急救助係を警防課に移設、防災広報係を予防課査察指導係に統合し、また、各消防署に調査係を配置した。
平成17年	11月	中央消防署東部出張所に配置している救急車を高規格救急車に更新した。 南消防署に配置している高規格救急車（1台）及び同署昭和出張所に配置している消防ポンプ車（1台）を更新した。
平成17年	12月	甲府地区広域行政事務組合職員定数条例（消防職員）を305名から335名に改めた。
平成18年	1月	甲府地区広域行政事務組合消防計画を策定した。
平成18年	2月	中巨摩郡田富町、同玉穂町及び東八代郡豊富村の2町1村が合併し「中央市」となる。
平成18年	3月	中道町及び上九一色村北部地域が甲府市に編入合併した。 携帯電話からの119番通報の受信方法を分散受信方式から直接受信方式に切り替えた。
平成18年	4月	市町村合併に伴い、旧豊富村、旧中道町及び上九一色村北部を当消防本部の管轄区域とした。 中道出張所（所員8名、水槽付ポンプ車1台、高規格救急車1台）を開設した。 消防職員を実員309名に増員した。 消防本部の組織改革を行い、責任、権限をこれまで以上に明確にするため、次長を5名とした。また、総務課の主幹を企画課に配置換えし、予防課に広報係を配置した。 圏域北部地域の恒久的な防災拠点として、中央消防署本庁舎新築工事に着工した。
平成18年	12月	片川昇氏より高規格救急車（1台）の寄贈を受けた。
平成19年	1月	南消防署に配置している、電源照明車（1台）を更新した。
平成19年	2月	中央消防署開署式を挙行した。
平成19年	4月	消防職員を実員316名に増員した。
平成19年	5月	高部正男消防庁長官が地方消防行政視察のために来庁した。
平成20年	4月	消防職員を実員321名に増員した。 省令改正に伴う消防庁告示により、南消防署に「高度救助隊」（16名）を配置した。
平成20年	10月	南消防署昭和出張所の救急隊を高規格化した。
平成21年	4月	消防職員を実員324名に増員した。
平成22年	1月	南消防署に仮設訓練塔を設置した。
平成22年	2月	西消防署に配置している高所作業車（1台）を更新した。（名称を屈折はしご車に改めた。）
平成22年	3月	南消防署中道出張所に配置している高規格救急車（1台）を更新した。
平成22年	3月	消防指導支援用として防災指導車（1台）を購入した。
平成22年	4月	消防職員を実員326名に増員した。 南消防署昭和出張所の救急隊を専任救急隊とした。
平成22年	9月	中央消防署に仮設訓練塔を設置した。
平成22年	12月	高圧ガス製造事業所が完成した。（南消防署昭和出張所敷地内）
平成23年	2月	中央消防署武田出張所・湯村出張所に配置している消防ポンプ車2台を災害対応特殊消防ポンプ自動車に更新した。
平成23年	12月	南消防署に配置しているはしご車（1台）を更新した。
平成24年	1月	中央消防署・南消防署昭和出張所に配置している高規格救急車（各1台）を更新した。
平成24年	4月	消防職員を実員329名に増員した。 消防事務の効率化を図るため、予防課の査察指導係と広報係を統合し査察指導・広報係とした。 総務省消防庁より指揮隊車が無償貸与され、消防本部に配置した。
平成25年	1月	西消防署に配置している消防ポンプ車を更新した。
平成25年	2月	中央消防署・南消防署に水槽車を配置した。
平成25年	3月	中央消防署湯村出張所に配置している作業車（1台）及び南消防署に配置しているBC災害資機材搬送車（1台）を更新した。（名称をそれぞれ林野火災工作車、特殊災害用資機材搬送車に改めた。）

平成25年	4月	消防職員を実員331名に増員した。 消防救急無線のデジタル化整備等に伴い、指令課にデジタル化推進係を設置した。
平成26年	1月	南消防署玉穂出張所・西署に配置している高規格救急車（各1台）を更新した。
平成26年	2月	総務省消防庁より機動連絡車が無償貸与され、消防本部に配置した。
平成26年	3月	南消防署に配置している救助工作車を更新した。
平成26年	3月	消防救急無線のデジタル化及び高機能指令センターを改修した。
平成26年	4月	消防救急無線のデジタル化及び高機能指令センター改修整備等が完了したため、指令課デジタル化推進係を廃止した。 事務の効率化及びスリム化を図るため、総務課の財務係と装備係を統合し「財務係」とし、人事課の人事係と職員係を統合し「人事係」とした。
平成26年11月		南消防署田富出張所に配置している高規格救急車を更新した。
平成27年	1月	消防本部に無線中継車を配置した。 南消防署に配置している化学車及び中央署宮本出張所に配置している消防ポンプ車を更新した。
平成27年	3月	西消防署に配置している水槽車を更新した。
平成27年	4月	査察指導及び違反処理等に特化させるため、「査察指導・広報係」の広報業務を企画課企画係に移管「査察指導係」とし、「企画課企画係」を「企画課企画広報係」とした。 近年における災害の複雑、大規模化から実情に即した出場体制を見直す業務等を担当させるため、警防課に「主幹」を配置した。
平成27年11月		中央消防署東部出張所に配置している高規格救急車を更新した。
平成28年	1月	西消防署敷島出張所・南消防署玉穂出張所に配置している消防ポンプ車（各1台）を更新した。
平成28年	3月	総務省消防庁より拠点機能形成車が無償貸与され、消防本部に配置した。
平成28年	4月	災害の複雑、大規模化から実情に即した出場体制の見直し等の事業終息に伴い、警防課の「主幹」を廃止した。 違反對象物に係る公表制度実施のための体制を整備し、違反是正を強化するため、予防課に「違反是正係」を新設した。 火災原因調査や火災損害調査を管轄署長の責任において行うこととしたため、警防課の「調査係」を廃止した。
平成29年	1月	中央消防署東部出張所・南消防署中道出張所に配置している消防ポンプ車（各1台）を更新した。
平成29年	3月	中央消防署に配置しているはしご車（1台）を更新した。
平成29年	4月	救急、救助の専門化・高度化、緊急消防援助隊の体制強化及び訓練指導等の体制の充実を図るため「救急救助課」を新設する。

甲府地区消防の歌

「甲府地区消防の歌」は、昭和52年3月、職員からの応募によりつくられたものです。

この歌の精神に向かって職務に精励し、音楽を通じて地域住民との融和と職員の士気の鼓舞を図っております。

1 （勇気、行動）

炎が狂い風騒ぎ 命の重さ血が叫ぶ
おゝ身を挺す 甲府地区消防隊
ときこと風のごとなり 武人のおしえ胸に抱く

2 （備え、士気）

紫玉の露にまどるめど 備えは常にうれしいなく
おゝ意気高し 甲府地区消防隊
林のごとく静かなる 武田の里の夢を呼ぶ

3 （誇り、希望）

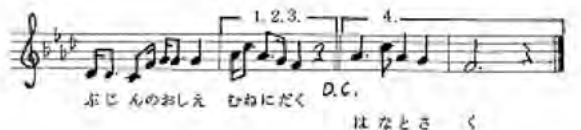
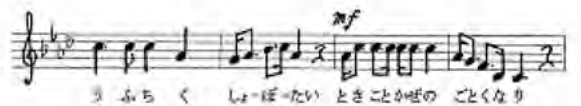
平和の四季を祈りつゝ 誇りに生きて仰ぐ富士
おゝ眉あげる 甲府地区消防隊
希望は燃える火のごとく 明日に映えて虹となる

4 （友情、団結）

ながれる涙ぬぐい合い
幸せわかつ面の微笑
おゝ腕を組む 甲府地区消防隊
動かざること山のごと 心のきずな花と咲く

甲府地区消防の歌

作詩・作曲 甲府地区消防本部
作詩協力 村山二永
作曲協力 一瀬公弘



管内情勢と消防情勢の推移

年別 区分		平成 5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年
	面積 (km ²)	252.05	252.05	252.05	252.05	252.06	252.06	252.06	252.42	252.42	252.42	252.42	252.42
	人口 (人)	286,524	288,671	288,343	288,986	290,011	296,630	295,114	297,721	296,589	296,904	296,826	296,204
	世帯数	103,973	105,222	106,105	107,541	109,233	110,991	111,715	112,948	114,183	114,967	116,011	116,687
消防職員数	条例定数	287	295	301	305	305	305	305	305	305	305	305	305
	実員 (再任用短時間)	288	295	299	303	304	306	306	306	305	305	304	305
消防職員一人当たり	面積 (km ²)	0.88	0.85	0.84	0.83	0.83	0.82	0.82	0.82	0.83	0.83	0.83	0.83
	人口 (人)	995	979	964	954	954	969	964	973	972	973	976	971
	世帯数	361	357	355	355	359	363	365	369	374	377	382	383
消防車両等の数	消防ポンプ車 (内予備車)	16 1	16 1	17 2	16 1	17 2	17 2	17 2	17 2	16 2	16	16	16 1
	救急車 (内予備車)	7 1	7 1	7 1	7 1	7 1	7 1	7 1	7 1	7 1	8	9 1	9 1
	その他の車両	24	25	25	27	27	27	28	28	32	33	33	34
消防ポンプ車一台当り	面積 (km ²)	16.8	16.8	16.8	16.8	16.8	16.8	16.8	16.8	18.0	15.8	15.8	16.8
	人口 (人)	19,102	19,245	19,223	19,266	19,334	19,775	19,674	19,848	21,185	18,557	18,552	19,747
	世帯数	6,932	7,015	7,074	7,169	7,282	7,399	7,448	7,530	8,156	7,185	7,251	7,779
火災件数 (暦年)		129	133	247	212	199	159	151	171	188	189	207	151
救急出場件数 (暦年)		7,027	7,106	7,393	7,661	7,781	7,929	8,529	9,315	9,634	9,836	10,609	10,556

(各年の4月1日現在)

17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
252, 42	306, 45	306, 45	306, 45	306, 45	306, 45	306, 45	306, 45	306, 45	306, 44	306, 32	306, 32	306, 32
294, 885	307, 597	304, 839	306, 651	307, 206	299, 527	305, 714	304, 198	303, 346	302, 762	301, 167	300, 843	299, 407
117, 479	123, 630	123, 477	125, 609	127, 120	127, 398	127, 825	128, 435	132, 553	133, 428	133, 985	135, 123	135, 348
305	335	335	335	335	335	335	335	335	335	335	335	335
304	309	316	321	324	326	323	329	331	327	332	331	337
									6	8	8	9
0. 83	0. 99	0. 97	0. 95	0. 95	0. 94	0. 95	0. 93	0. 93	0. 94	0. 92	0. 93	0. 91
970	995	965	955	948	919	946	925	916	926	907	909	888
386	400	391	391	392	391	396	390	400	408	404	408	402
16 1	15 1	15 1	15 1	15 1	15 1	15 1	15 1	15 1	15 1	15 1	15 1	15 1
9 1	11 2	12 3	12 3	12 3	14 5	12 3	12 3	12 3	12 3	12 3	12 3	12 3
34	36	36	36	36	37	37	35	39	40	42	43	42
16. 8	21. 9	21. 9	21. 9	21. 9	21. 9	21. 9	21. 9	21. 9	21. 9	21. 9	21. 9	21. 9
19, 659	21, 971	21, 774	21, 904	21, 943	21, 395	21, 837	21, 728	21, 668	21, 626	21, 512	21, 489	21, 386
7, 832	8, 831	8, 820	8, 972	9, 080	9, 100	9, 130	9, 174	9, 468	9, 531	9, 570	9, 652	9, 668
151	136	139	104	122	127	136	108	144	149	99	86	－
11, 019	11, 581	11, 949	11, 393	11, 463	12, 715	13, 018	13, 355	14, 149	14, 781	14, 460	14, 677	－

※再任用短時間勤務職員については、定数外

主 な 火 災

(損害額 1 億円又は焼損面積660㎡以上、林野火災は10h a以上)

年 月 日	場 所	職 業	焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)	原 因
昭和 10.12.12	甲府市 八日町	蚕 糸	1,669	64	炉
11. 1. 4	// 東二条	製 菓	683	40	かまど
11. 3. 8	// 橋町	タイヤ修理	1,009	69	ガソリンへ引火
11. 6.25	// 深町	製 材	1,844	150	火鉢
13. 2. 2	// 橋町	不 明	6,725	318	不明
14. 2.16	// 橋町	旅客自動車	735	85	油引火
14. 3.23	// 山田町	製糸業	887	65	かまど
14. 4.27	// 百石町	製 材	1,280	137	たき火
15. 5.20	能泉村 川窪	農 業	76棟	不明	不明
16. 5.29	甲府市 金手町	製 麦	6,138	252	乾燥機の加熱
17.10. 8	// 善光寺町	製 糸	742	102	たばこの吸殻
22. 1. 4	// 北新町	学 校	1,900	100	たき火
24. 7.17	// 山田町	製 糸	1,659	17,960	取灰の不始末
25. 3. 1	// 西一条	製 材	914	5,320	不明
27. 6.18	// 塩部町	工 場	1,725	9,430	電気
28. 3.23	// 錦町	官 庁	3,751	3,300	電熱器の使用放置
28.11.28	// 緑町	メリヤス製造	771	9,330	電気アイロンの使用放置
30.12.18	// 御岳町	神 社	795	36,175	こたつの不始末
31. 6. 4	// 穴切町	木 工	1,237	10,211	不明
32. 8.24	// 朝気町	製 材	1,409	8,623	たばこの不始末
33. 1. 4	// 北新町	寮	1,900	5,397	煙突の火の粉
33. 4. 3	// 朝気町	工 場	940	14,979	電気こんろ
36. 4.26	// 錦町	官 庁	756	5,424	風呂かまどの煙突の貫通部
36. 7.16	// 和田平町	製 糸	789	9,637	ボイラーの製造不良
37. 2.19	// 御岳町	林野火災	126.5ha	2,668	たき火
37. 3. 7	// 桜町	靴製造販売業	1,575	19,339	石油ストーブ
37. 7.18	// 八日町	食品加工	3,050	34,952	石油バーナーの逆火
38.12.27	// 東三条通り	製 材	677	6,328	不明
41. 5. 4	// 中村町	製 材	757	4,392	焼ぬか分離器の加熱

年 月 日	場 所	職 業	焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)	原 因
昭和 43. 3. 4	甲府市 徳行町	家具製造	1,971	20,742	不明
44. 6.14	// 下石田町	家具製造	991	18,298	不明
44.12. 4	// 中央一丁目	家具販売	2,782	131,828	たき火
45. 9.25	// 飯田一丁目	製 麦	2,242	49,958	不明
45.10. 1	// 中央一丁目	書籍販売	840	47,859	不明
45.10.20	// 下石田町	マットレス製造	993	30,745	電気溶接の火花
46.11.10	// 朝気三丁目	木 工	982	33,095	たばこの不始末
46.11.16	// 東光寺町	高等学校	1,836	15,327	不明
47. 9. 9	// 国玉町	紙器工場	5,236	370,972	子供の火遊び
48.11.10	// 城東五丁目	壁材製造	1,111	45,127	スチームパイプの加熱
49.11.19	// 上今井町	小学校	692	20,704	たばこの不始末
50. 7.30	// 相生二丁目	木材販売	782	35,428	不明
51. 3.27	// 高畑一丁目	木 工	762	28,470	ベアリングの加熱
52. 6.14	// 幸町	製材業	1,157	94,457	焼却炉の火の粉の飛び火と推定
52.11.27	竜王町 篠原	中学校	1,012	20,014	たばこの不始末
53. 6. 1	甲府市 竹日向町	会社員	774	11,438	石油ストーブ
54. 4. 4	// 伊勢一丁目	工 場	897	83,565	金属火花による引火
57. 4.12	// 丸の内一丁目	パチンコ店	1,739	209,192	不明
58. 7.10	玉穂村 一町畑	家具製造	958	67,130	不明
61. 6.12	甲府市 上阿原町	製材業	925	59,193	焼却炉使用中の不注意
62. 3. 5	// 酒折町	林野火災	53ha	36,067	たき火の飛び火
63. 4.28	敷島町	無 職	950	26,251	たき火の飛び火
63.10.13	甲府市 住吉四丁目	繊維業	198	122,615	不明
63.12. 8	// 湯村三丁目	旅 館	936	27,678	放火
平成 3. 5.24	// 落合町	OA機器工場	581	120,736	取灰の再燃
4. 3.12	// 上今井町	倉 庫	1,320	39,900	不明
6. 6.20	// 城東二丁目	公衆浴場	782	73,614	不明
8. 5. 1	// 徳行一丁目	製材業	1,342	53,439	不明
8. 5.20	// 中央一丁目	飲食店街	1,534	354,469	放火
8. 7.31	// 城東三丁目	作業場	1,692	342,003	たばこの不始末
17. 3.30	// 山宮町	飲食業	165	246,760	不明
20. 3.29	甲斐市 吉沢	林野火災	11.7ha	10,133	たばこの不始末
20.12.28	甲府市 桜井町	林野火災	49.6ha	36,930	たばこの不始末 (出火場所：笛吹市管内)
28.7.17	甲府市 上町	パイプ製造業	1,958	239,892	不明

消防相互応援協定等の状況

協 定 名	締 結 年 月 日	締 結 先 機 関
ガス爆発防止対策に関する協定書	昭和55年 9月 6日	甲府地区消防本部、甲府警察署、南甲府警察署、韮崎警察署、山梨県LPガス協会、日本簡易ガス協会関東支部山梨部会、東京ガス株式会社甲府支社、東京電力株式会社山梨県支部
中央自動車道消防相互応援協定書	昭和58年11月 1日	上野原市長、大月市長、都留市長、富士五湖消防組合管理者、富士吉田市長、西桂町長、富士河口湖町長、東山梨消防組合管理者、甲州市長、笛吹市、甲府地区広域行政事務組合管理者、甲府市長、甲斐市長、中央市長、昭和町長、峡北広域行政事務組合代表理事、韮崎市長、北杜市長
山梨県常備消防相互応援協定書	昭和61年 6月 1日	甲府地区広域行政事務組合管理者、都留市長、富士五湖消防組合管理者、大月市長、峡北広域行政事務組合代表理事、笛吹市長、峡南広域行政組合管理者、東山梨消防組合管理者、上野原市長、南アルプス市長
山梨県消防防災ヘリコプター応援協定	平成 7年 3月20日	山梨県知事、各市町村、消防管理者
中部横断道自動車道消防相互応援協定書	平成16年 3月20日	南アルプス市長、峡北広域行政事務組合代表理事、甲府地区広域行政事務組合管理者 甲斐市長
鉄道災害時における安全対策に関する覚書	平成17年 7月27日	甲府地区広域行政事務組合消防本部消防長 峡南広域行政事務組合消防本部消防長 東海旅客鉄道株式会社執行役員静岡支店長
災害時における燃料等の供給に関する協定書	平成18年 3月31日	甲府地区広域行政事務組合管理者 山梨県石油共同組合理事長
災害時における物資の供給に関する協定書	平成18年 3月31日	甲府地区広域行政事務組合管理者 (株)オギノ、(株)山交

協 定 名	締 結 年 月 日	締 結 先 機 関
災害時における救急 資機材等に関する協 定書	平成18年 3月31日	甲府地区広域行政事務組合管理者 山梨県医療器機協同組合
消防相互応援協定	平成18年 4月 1日	甲府地区広域行政事務組合管理者 甲府市長、甲斐市長、中央市長、昭和町長
西関東道路消防相互 応援協定書	平成18年12月20日	甲府地区広域行政事務組合管理者 笛吹市長 東山梨行政事務組合東山梨消防本部管理者
救助事案発生時にお ける移動式クレーン 等の要請等に関する 協定書	平成19年 6月29日	甲府地区広域行政事務組合消防長 (株)全国クレーン建設業協会山梨県支部
鉄道災害時における 消防機関と鉄道事業 者との連携に関する 協定書	平成19年10月25日	甲府地区広域行政事務組合消防長 都留市消防本部消防長 大月市消防本部消防長 富士五湖広域行政事務組合富士五湖消防本 部消防長 峡北広域行政事務組合消防本部消防長 東山梨行政事務組合東山梨消防本部消防長 上野原市消防本部消防長 笛吹市消防本部消防長 東日本旅客鉄道株式会社東京支社長 東日本旅客鉄道株式会社八王子支社長 東日本旅客鉄道株式会社長野支社長 富士急行株式会社取締役社長
新山梨環状道路消防 相互応援協定書	平成21年 3月14日	甲府地区広域行政事務組合管理者 南アルプス市長
甲府地区広域行政事 務組合及び峡北広域 行政事務組合に係る 消防相互応援協定書	平成26年 3月 1日	甲府地区広域行政事務組合管理者 峡北広域行政事務組合代表理事

119番通報回線の迂回に関する協定書	平成26年 3月 6日	甲府地区広域行政事務組合管理者 富士五湖広域行政事務組合代表理事
高齢者等緊急通報システムに関する協定書	平成27年 3月31日	甲府地区広域行政事務組合管理者 甲府市長、甲斐市長、中央市長、昭和町長
確認書（金峰山及び朝日岳周辺で発生した救急救助事案に関する申し合わせ事項）	平成28年 8月31日	甲府地区広域行政事務組合消防長 東山梨行政事務組合東山梨消防本部消防長

2

総務

- 組織市町一般会計予算と消防事業特別会計予算の比較
- 平成29年度歳入歳出当初予算
- 消防庁舎の状況
- 消防車両及び小型動力ポンプ配置状況
- 消防車両及び小型動力ポンプ車齢状況
- 消防車両一覧表

組織市町一般会計予算と消防事業特別会計予算の比較

(単位：千円)

区分 年度	組織市町一般会計当初予算 の合計額	消防事業特別会計当初予算	比 率
平成24年度	115,884,554	3,731,508	3.22%
平成25年度	112,550,776	4,646,766	4.13%
平成26年度	104,082,660	3,529,420	3.39%
平成27年度	113,846,784	3,559,816	3.13%
平成28年度	117,190,658	3,774,215	3.22%
平成29年度	117,688,513	3,738,801	3.18%

※ 市町負担金の内訳
 基準財政需要額の77.2% ただし、甲府市は82.4%に該当する額
 (合併前の中道町及び上九一色村を除く。)
 (臨時負担金割合は、基準財政需要額の構成比に基づき算定する。)

平成29年度 歳入歳出当初予算

(単位：千円)

歳 入		歳 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
合 計	3,738,801	合 計	3,738,801
分担金及び負担金	3,243,510	消 防 費	3,557,639
使用料及び手数料	3,920	公 債 費	180,162
国庫支出金	14,550	予 備 費	1,000
県支出金	1		
財産収入	2,806		
繰入金	330,183		
繰越金	1		
諸収入	6,530		
組合債	137,300		

消 防 庁 舎 の 状 況

(平成29年4月1日現在)

名 称		所 在 地	建 築 概 要		建築年月	延べ面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)
			種 別	構 造			
消 防 本 部	本 部・ 南消防署 (本署)	〒400-0856 甲府市伊勢3-8-23 Tel055-222-1190	庁 舎	鉄筋コンクリート 一部鉄骨造3階建	H元.3	3,180.90	3,577.88
	1号発電機室		機械室	鉄骨造平屋建	H元.3	28.08	
	2号発電機室		機械室	鉄骨造平屋建	H 8.3	32.80	
	倉庫・車庫		倉庫・車庫	鉄骨造2階建	H11.3	192.00	
	倉 庫	中央市布施1877	倉 庫	鉄筋コンクリート造平屋建	S49.3	117.00	311.70
	倉 庫	中巨摩郡昭和町紙漕阿原1020	倉 庫	鉄筋コンクリート造平屋建	S49.3	117.00	650.00
中 央 消 防 署	本 署	〒400-0031 甲府市丸の内1-1-19 Tel055-254-9119	庁 舎	鉄筋コンクリート 一部鉄骨造2階建	H 19.2	1,264.43	1,633.04
	東部出張所	〒400-0812 甲府市和戸町1088-1 Tel055-231-1119	庁 舎	鉄骨造2階建	S53.11	195.30	213.75
	武田出張所	〒400-0017 甲府市屋形3-7-17 Tel055-254-0199	庁 舎	鉄筋コンクリート造平屋建	S49.3	117.00	242.00
	湯村出張所	〒400-0073 甲府市湯村3-3-38 Tel055-254-0099	庁 舎	鉄筋コンクリート造平屋建	S61.11	151.12	415.76
	宮本出張所	〒400-1217 甲府市猪狩町426-1 Tel055-287-2126	庁 舎	鉄筋コンクリート造平屋建	S49.3	49.69	178.40
南 消 防 署	玉穂出張所	〒409-3815 中央市成島2384-1 Tel055-273-0699	庁 舎	鉄筋コンクリート造平屋建	S59.12	150.54	739.39
			車 庫	鉄骨造平屋建	H12.6	44.94	
	昭和出張所	〒409-3864 中巨摩郡昭和町押越1092 Tel055-275-5499	庁 舎	鉄筋コンクリート造平屋建	S60.11	151.12	1,006.85
			仮眠室増設	鉄筋コンクリート造平屋建	H22.12	26.90	
			高圧ガス製造所	補強コンクリートブロック造平屋建	H22.12	18.43	
	田富出張所	〒409-3844 中央市臼井阿原275-3 Tel055-273-0999	庁 舎	鉄筋コンクリート造平屋建	H 7.3	224.78	999.90
	中道出張所	〒400-1504 甲府市右左口町3187 Tel055-266-4042	庁 舎	鉄筋コンクリート造平屋建	S47.3	124.90	768.00
			車 庫	鉄骨造平屋建	S60.12	98.00	
西 消 防 署	本 署	〒400-0118 甲斐市竜王3314-1 Tel055-276-3825	庁 舎	鉄筋コンクリート造3階建	S49.3	468.46	2,155.60
			訓練塔	鉄骨補強コンクリートブロック造2階建	S49.3	72.00	
			車 庫	鉄骨造平屋建	S55.3	126.20	
			車 庫	鉄骨造平屋建	S62.3	119.20	
			訓練塔	鉄骨造2階建	H 9.3	30.06	
			訓練塔	鉄骨造6階建	H17.3	—	
	貢川出張所	〒400-0049 甲府市富竹2-2-27 Tel055-224-1119	庁 舎	鉄筋コンクリート造2階建	S59.3	191.90	149.30
	敷島出張所	〒400-0123 甲斐市島上条350-5 Tel055-277-8119	庁 舎	鉄筋コンクリート造2階建	H10.3	310.51	442.37



消防本部・南消防署・組合事務局・視聴覚ライブラリー



玉穂出張所



田富出張所



昭和出張所



中道出張所



中央消防署



東部出張所



武田出張所



湯村出張所



宮本出張所



西消防署



訓練塔



貢川出張所



敷島出張所

消防車両及び小型動力ポンプ配置状況

(平成29年4月1日現在)

車両名等 配置場所		合計	普通ポンプ車	水槽付ポンプ車	化学車	はしご車	屈折はしご車	救助工作車	高規格救急車	林野火災工作車	水槽車	電源照明車	指揮車	司令車	機動連絡車	指揮隊車	拠点機能形成車	無線中継車	支援車	特殊災害用資機材搬送車	原因調査車	消防長車	査察車	予防広報車	資機材搬送車	防災指導車	連絡車	震災用自動二輪車	小型動力ポンプ
合計		82	13	2	2	2	1	3	12	1	3	1	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	7	1	2	2	3	3	10
消防本部		16													1	1	1	1	1		1	1	1	1	2	2	3		
中央消防署	本署	13	1	1		1		1	2		1		1	1								2						1	1
	東部出張所	3	1						1																				1
	武田出張所	2	1																										1
	湯村出張所	3	1							1																			1
	宮本出張所	2	1																										1
南消防署	本署	15		1	1	1		1	2		1	1	1	1						1			2					1	1
	玉穂出張所	2	1						1																				
	昭和出張所	2	1						1																				
	田富出張所	3	1						1																				1
	中道出張所	3	1						1																				1
西消防署	本署	14	2		1		1	1	2		1		1	1									2					1	1
	貢川出張所	1	1																										
	敷島出張所	3	1						1																				1

消防車両及び小型動力ポンプ車齢状況

(平成29年4月1日現在)

年数 車両名等		合計	1年未満	1年以上	2年以上	3年以上	4年以上	5年以上	6年以上	7年以上	8年以上	9年以上	10年以上	11年以上	12年以上	13年以上	14年以上	15年以上	16年以上	17年以上	18年以上	19年以上	20年以上
合計		82	4	4	5	5	9	4	2	3	0	0	5	4	4	6	1	4	5	3	4	1	9
普通ポンプ車		13	2	2	1	1	1		2					1				1		1	1		
水槽付ポンプ車		2														1			1				
化学車		2			1																	1	
はしご車		2	1					1															
屈折はしご車		1								1													
救助工作車		3				1											1					1	
高規格救急車		12		1	1	2	1	2		2			1	1	1								
林野火災工作車		1					1																
水槽車		3			1		2																
電源照明車		1											1										
指揮車		3						1					1		1								
司令車		3											1		1	1							
機動連絡車		1				1																	
指揮隊車		1					1																
拠点機能形成車		1		1																			
無線中継車		1			1																		
支援車		1																		1			
特殊災害用資機材搬送車		1					1																
原因調査車		1																		1			
消防長車		1	1																				
査察車		7					2							2	1	1		1					
予防広報車		1																1					
資機材搬送車		2														1							1
防災指導車		2																	2				
連絡車		3														2		1					
震災用自動二輪車		3																					3
小型動力ポンプ		10											1					1	1	1	2		4

消防車両一覧表

平成29年4月1日

配置場所		車両名	車 体	リ-ス	緊急	一般	排気量 (ℓ)	ポンプ メーカー	登録年月日
合 計 (小型ポンプ、二輪車除く)				14	55	13			
消防本部	総務課	1 本部消防長車	日 産	1			2.96		H 28 8 1
		2 本部連絡車1 (セレナ)	日 産			1	1.99		H 16 1 20
		3 本部連絡車3 (カーゴ)	ダイハツ	1		1	0.65		H 15 7 1
		4 本部連絡車2 (テラノ)	日 産			1	3.27		H 12 9 25
		5 本部原因調査車	日 産		1		3.13		H 11 10 29
		6 本部軽搬送車	三 菱			1	0.65		H 6 3 25
		7 本部支援車	日 野		1		7.96		H 11 1 28
		8 本部指揮隊車	トヨタ		1		2.69		H 24 4 27
		9 本部資機材搬送車	三 菱		1		4.56		H 16 3 31
		10 本部査察車	日 産	1	1		0.65		H 17 9 30
		11 本部予防広報車	日 産			1	3.49		H 13 8 29
		12 本部機動連絡車	トヨタ		1		4.60		H 26 2 27
		13 本部無線中継車	日 産		1		2.48		H 27 1 23
		14 本部拠点機能形成車	いすゞ		1		9.38		H 28 3 24
		15 本部防災指導車1	日 産			1	1.99		H 12 6 12
		16 本部防災指導車2	日 産			1	1.99		H 12 8 29
中央消防署	本 署	1 中央ポンプ車	いすゞ		1		4.57	GMいちばら	H 11 10 29
		2 中央水槽付ポンプ車	日 野		1		7.96	GMいちばら	H 16 1 23
		3 中央救助工作車	日 野		1		7.96		H 14 12 5
		4 中央はしご車	日 野		1		8.86		H 29 3 15
		5 中央水槽車	日 野		1		6.40		H 25 2 8
		6 中央高規格救急車	トヨタ		1		2.69		H 24 1 19
		7 中央司令車	日 産	1	1		1.76		H 15 8 1
		8 中央査察車1	三 菱	1		1	0.65		H 15 7 17
		9 中央査察車2	三 菱	1		1	0.65		H 17 9 1
		10 中央指揮車	日 産	1	1		1.78		H 16 9 1
		11 中央非常用救急車	日 産		1		3.49		H 17 11 18
	東部出張所	12 東部ポンプ車	日 野		1		4.00	GMいちばら	H 29 1 20
		13 東部高規格救急車	トヨタ		1		2.69		H 27 11 20
	武田 //	14 武田ポンプ車	日 野		1		4.00	モリタ	H 23 2 4
	湯村 //	15 湯村ポンプ車	日 野		1		4.00	モリタ	H 23 2 4
	宮本 //	16 湯村林野火災工作車	日 産		1		2.99		H 25 3 21
		17 宮本ポンプ車	日 野		1		4.00	GMいちばら	H 27 1 15
南消防署	本 署	1 南水槽付ポンプ車	いすゞ		1		4.57	日本機械	H 12 9 29
		2 南化学車	日 野		1		6.40	GMいちばら	H 27 1 21
		3 南救助工作車	日 野		1		7.68		H 26 3 12
		4 南電源照明車	日 野		1		4.00		H 19 1 30
		5 南水槽車	日 野		1		6.40		H 25 2 8
		6 南はしご車	日 野		1		8.86		H 23 12 7
		7 南高規格救急車	トヨタ		1		2.69		H 24 10 24
		8 南司令車	日 産	1	1		1.76		H 16 9 1
		9 南特殊災害用資機材搬送車	日 野		1		4.00		H 25 3 12
		10 南査察車1	ダイハツ	1		1	0.65		H 24 6 1
		11 南査察車2	三 菱			1	0.65		H 13 7 13
		12 南指揮車	日 産	1	1		1.79		H 23 12 1
		13 南非常用救急車	日 産		1		3.49		H 18 11 27
	玉穂出張所	14 玉穂ポンプ車	日野		1		4.00	GMいちばら	H 28 1 19
		15 玉穂高規格救急車	トヨタ		1		2.69		H 26 1 16
	昭和 //	16 昭和ポンプ車	日 野		1		4.00	GMいちばら	H 17 11 22
	田富 //	17 昭和規格救急車	トヨタ		1		2.69		H 24 1 19
		18 田富ポンプ車	日 野		1		4.00	GMいちばら	H 26 1 10
	中道 //	19 田富規格救急車	トヨタ		1		2.69		H 26 11 20
		20 中道ポンプ車	日 野		1		4.00	GMいちばら	H 29 1 20
		21 中道高規格救急車	日 産		1		3.49		H 22 3 16
西消防署	本 署	1 西ポンプ車	日 野		1		4.00	GMいちばら	H 25 1 15
		2 西化学車	三 菱		1		16.03	日本機械	H 10 2 17
		3 西救助工作車	日 野		1		7.96		H 9 3 12
		4 西屈折はしご車	日 野		1		7.68		H 22 2 19
		5 西水槽車	日 野		1		6.40		H 27 3 9
		6 西高規格救急車	トヨタ		1		2.69		H 26 1 16
		7 西司令車	日 産	1	1		1.99		H 18 11 1
		8 西査察車1	ダイハツ	1		1	0.65		H 24 6 1
		9 西査察車2	三 菱	1		1	0.65		H 16 8 2
		10 西指揮車	日 産	1	1		1.78		H 18 11 1
		11 西非常用ポンプ車	いすゞ		1		4.57	モリタ	H 11 1 20
		12 西非常用救急車	トヨタ		1		3.37		H 17 1 27
	貢川出張所	13 貢川ポンプ車	いすゞ		1		4.57	篠崎ポンプ	H 14 2 26
	敷島 //	14 敷島ポンプ車	日野		1		4.00	GMいちばら	H 28 1 19
		15 敷島高規格救急車	トヨタ		1		2.69		H 21 11 12

3

企 画

- 消防本部・消防署・出張所の配置
- 消防の組織
- 消防本部分掌事務
- 消防署分掌事務
- 消防広報
- 広報活動の概要
- 防災教室実施状況
- 庁舎・施設等の見学状況
- 消防音楽隊の概要

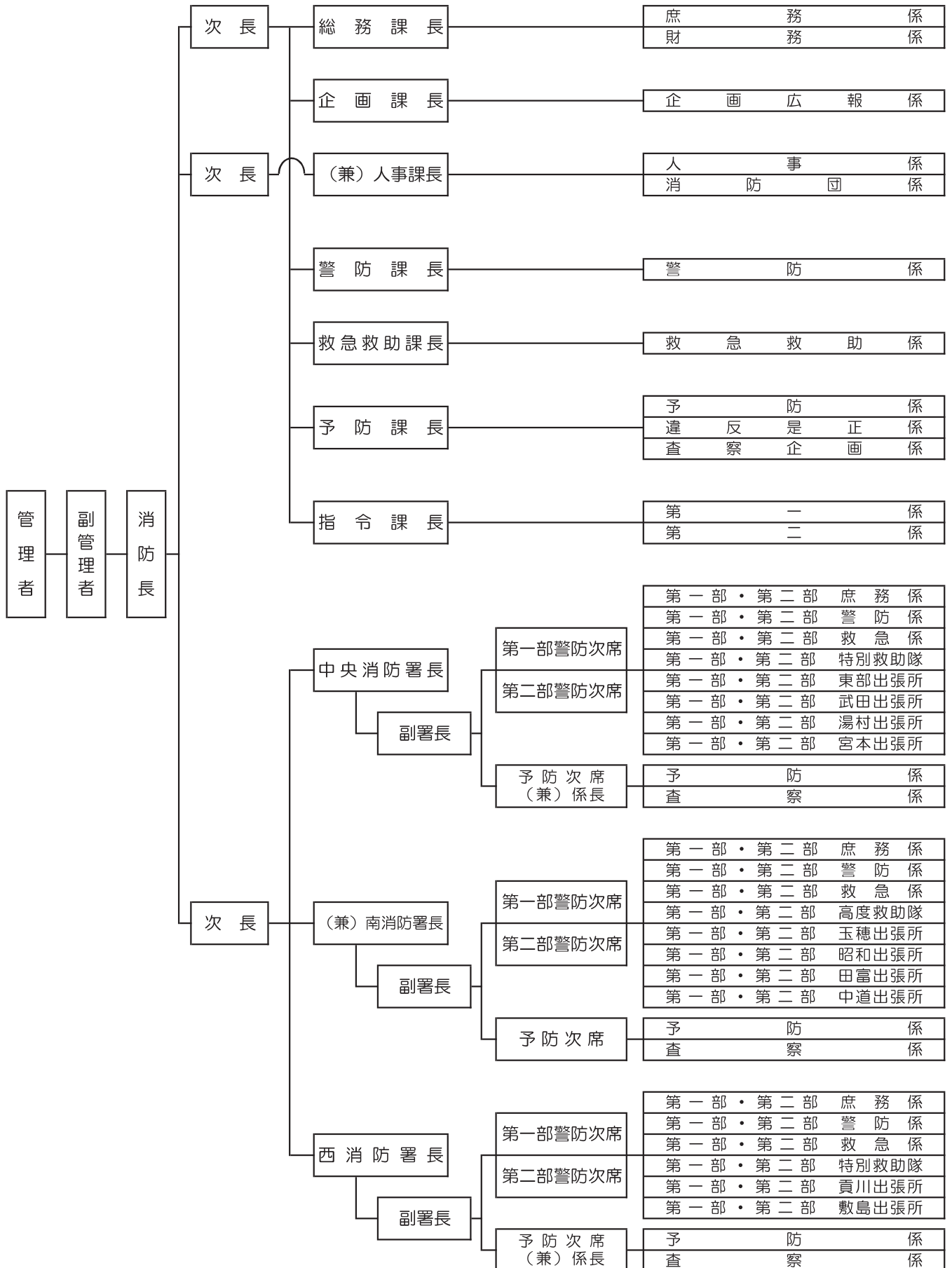
消防本部・消防署・出張所の配置



消 防 の 組 織

○消防の組織

(平成29年4月1日現在)



消 防 本 部 分 掌 事 務

課	係	分 掌 事 務
総務課	庶務係	1 公印の管理に関する事。 2 儀式及び渉外に関する事。 3 管理者及び消防長等が決定権者である事業の決定関与及び文書の総括指導に関する事。 4 職員の出張命令に関する事。 5 職員以外の表彰に関する事。 6 文書の取扱いに関する事。 7 物品の買入れ及び売払いの契約並びに検収に関する事。 8 消防自動車等の製造及び修繕の請負契約並びに検収に関する事。 9 各種委託契約及び検収に関する事。 10 消防庁舎等の修繕の請負契約及び検収に関する事。 11 課内庶務及び他の課、係の主管に属さない事。 12 消防長会に関する事。 13 消防協力会及び消防記念会に関する事。 14 消防協会に関する事。 15 甲府地区広域消防運営会議に関する事。
	財務係	1 歳入歳出予算及び決算に関する事。 2 予算の調整及び執行に関する事。 3 起債に関する事。 4 建物、設備及び工作物の設置及び修繕に関する事。 5 消防庁舎及び付属施設の総括管理に関する事。 6 物品の出納及び管理に関する事。 7 給与品、貸与品に関する事。 8 図書に関する事。 9 消防自動車等の製造及び整備に関する事。 10 消防機器及び消防装備のぎ装に関する事。 11 消防自動車等の燃料に関する事。 12 安全運転管理に関する事。 13 消防自動車等の交通事故に関する事。 14 私有車の借上げに関する事。 15 消防自動車等の管理に関する事。

課	係	分 掌 事 務
企 画 課	企画広報係	1 組織の総合管理に関すること。
		2 職員の定数管理に関すること。
		3 行財政運営近代化、効率化推進の総括に関すること。
		4 総合調整に関すること。
		5 消防関係規程の制定、改廃に関すること。
		6 情報管理運用及び推進に関すること。
		7 消防行政事務の情報化の推進に関すること。
		8 消防統計に関すること。
		9 消防本部の広域化に関すること。
		10 消防計画に関すること。
		11 消防広報及び公聴に関すること。
		12 消防報道に関すること。
		13 報道機関との連絡に関すること。
		14 広報誌の編集、発行に関すること。
		15 消防音楽隊に関すること。
		16 予算の調整及び執行に関すること。
人 事 課	人事係	1 職員の任免、分限及び賞罰に関すること。
		2 職員の採用、昇任試験及び選考に関すること。
		3 職員の給与及び退職手当に関すること。
		4 職員の配置及び服務規則に関すること。
		5 消防職員委員会に関すること。
		6 課内庶務及び他の係の主管に属さないこと。
		7 職員の教育訓練に関すること。
		8 職員の研修派遣命令に関すること。
		9 職員の健康管理及び福利厚生に関すること。
		10 職員の公務災害等の補償に関すること。
		11 職員管理に起因する損害賠償、損失補償及び訴訟に関すること。
		12 予算の調整及び執行に関すること。
	消防団係	1 消防団の組織制度に関すること。
		2 消防団の表彰等に関すること。
		3 消防団員等の公務災害補償に関すること。
		4 消防団員の退職報償金に関すること。
		5 消防団員の教育訓練に関すること。
		6 消防団施設の総括管理に関すること。
		7 消防団用消防自動車等の製造、整備及び管理に関すること。
		8 消防団用機械器具に関すること。
		9 消防団用消防自動車等の燃料に関すること。
		10 消防団用消防自動車等の交通事故に関すること。
		11 消防団に起因する損害賠償、損失補償及び訴訟に関すること。
		12 予算の調整及び執行に関すること。

課	係	分 掌 事 務
警 防 課	警防係	1 水火災、地震等の対策に関すること。 2 警防計画及び消防訓練等の企画立案に関すること。 3 消防水利施設に関すること。 4 消防相互応援に関すること。 5 非常招集に関すること。 6 消防隊の監察に関すること。 7 防災行政に関する組織市町との連絡調整に関すること。 8 消防技術の調査研究に関すること。 9 甲府地区ガス安全対策協議会に関すること。 10 緊急消防援助隊に関すること。 11 住宅防火診断の推進に関すること。 12 課内庶務に関すること。 13 火災調査技術の指導に関すること。 14 火災原因の鑑識に関すること。 15 火災調査資料の収集及び分析に関すること。 16 火災統計に関すること。 17 放火対策に関すること。 18 予算の調整及び執行に関すること。
救 急 救 助 課	救急救助係	1 救急救命士の人員計画に関すること。 2 救急隊員の指導及び訓練に関すること。 3 救助隊員の指導及び訓練に関すること。 4 救急救助対策に関すること。 5 救急救助の相互支援に関すること。 6 救急救助統計に関すること。 7 救急救助技術の調査、研究及び指導に関すること。 8 関係機関等との連携に関すること。 9 メディカルコントロールに関すること。 10 救急搬送証明に関すること。 11 救急救助資器材に関すること。 12 患者等搬送事業の指導育成に関すること。 13 救急救命士の病院実習及び薬剤投与実習に関すること。 14 消防救急指導員及び消防救急普及員に関すること。 15 緊急消防援助隊に関すること。 16 予算の調整及び執行に関すること。

課	係	分 掌 事 務
予 防 課	予防係	1 建築確認等の同意に関すること。 2 消防用設備等に関すること。 3 予防統計・危険物統計に関すること。 4 証明手数料の収納等に関すること。 5 電気用品及び液化石油ガス移譲事務に関すること。 6 防災規制事務に関すること。 7 甲府防火協会に関すること。 8 甲府地区旅館・ホテル等火災防止協議会に関すること。 9 住宅防火対策に関すること。 10 液化石油ガスの設置、変更に伴う意見書の交付に関すること。 11 危険物取扱者等の講習に関すること。 12 危険物製造所等の許認、認可、届出、承認に関すること。 13 少量危険物及び指定可燃物の規制に関すること。 14 危険物製造所等の査察に関すること。 15 危険物に係る許認可手数料及び消防証明（防火管理者に係るものを除く。） 手数料の収納等に関すること。 16 危険物流出等の事故原因調査に関すること。 17 火災予防所の措置に起因する損害賠償、損失補償及び訴訟に関すること。 18 予防教育の計画及び実施に関すること。 19 課内の庶務、企画調整及び他の係の主管に属さないこと。 20 予算調整、執行及び管理に関すること。
	査察企画係	1 予防査察の企画立案に関すること。 2 防火・防災管理対象物の査察に関すること。 3 消防用設備等、防火・防災管理対象物の点検報告制度に関すること。 4 ホテル・旅館等に対する表示制度に関すること。 5 防火・防災管理者の講習実施に関すること。 6 査察統計に関すること。 7 電気用品の安全表示に関すること。 8 火災予防運動に関すること。 9 幼少年消防クラブ、女性防火クラブ等の指導育成に関すること。 10 予算の調整及び執行に関すること。
	違反是正係	1 防火・防災管理対象物・危険物施設等の違反処理に関すること。 2 違反是正推進検討委員会に関すること。 3 危険物による事故及び災害に係る行政措置に関すること。 4 違反対象物に係る公表制度に関すること。 5 消防用設備等の遡及指導に関すること。 6 消防設備士・消防設備点検資格者の免状返納命令要請等に関すること。 7 危険物取扱者の免状返納命令要請等に関すること。 8 夜間査察に関すること。 9 違反是正統計に関すること。 10 条例、規則及び規程等の制定、改廃に関すること。 11 予算の調整及び執行に関すること。

課	係	分 掌 事 務
指 令 課	第一係 第二係	1 出場指令に関すること。 2 通信統制に関すること。 3 気象情報の収集及び伝達に関すること。 4 各種災害情報の収集及び伝達に関すること。 5 消防通信連絡に関すること。 6 防災行政無線に関すること。 7 火災警報及び消防信号に関すること。 8 消防指令センターの企画、調整及び運営管理に関すること。 9 通信技術の研究及び指導に関すること。 10 通信施設、器具の運用及び維持管理に関すること。 11 防災関係機関及び医療機関との連絡調整に関すること。 12 その他通信指令事務に関すること。 13 予算の調整及び執行に関すること。 14 課内庶務に関すること。

消防署分掌事務

署	係・隊・出張所	分 掌 事 務
中 央 消 防 署	庶 務 係	1 公印の保管に関する事。 2 署の広報に関する事。 3 消防情報及び公聴に関する事。 4 職員の身分に関する事。 5 職員の服務に関する事。 6 職員の教養訓練に関する事。 7 文書に関する事。 8 図書管理に関する事。 9 消防施設の保守管理に関する事。 10 物品の出納保管に関する事。 11 他の係に属さない事。 12 予算の調整及び執行に関する事。
	警 防 係	1 水火災等の警防に関する事。 2 消防地理及び消防水利に関する事。 3 警防対策に関する事。 4 災害情報に関する事。 5 消防訓練に関する事。 6 自衛消防組織の訓練指導に関する事。 7 消防機械器具の保守管理に関する事。 8 安全運転に関する事。 9 消防気象に関する事。 10 煙火打上及び催物等に関する事。 11 住宅防火診断に関する事。 12 火災の原因及び損害の調査に関する事。 13 り災証明に関する事。 14 火災統計に関する事。 15 防火対象物の立入検査に関する事。 16 その他特に命ぜられた事務。
	予 防 係	1 火災の予防及び広報宣伝に関する事。 2 建築確認等の同意に関する事。 3 消防用設備等に関する事。 4 防火対象物に関する証明書及び意見書等の交付に関する事。 5 危険物製造所等の許認可に関する事。 6 危険物製造所等の火災予防措置に関する事。 7 少量危険物、指定可燃物、高圧ガス等の規制に関する事。 8 火災予防に関する各種届出に関する事。 9 電気設備及び電気器具の保安に関する事。 10 予防統計に関する事。

署	係・隊・出張所	分 掌 事 務
中央消防署	査 察 係	1 防火対象物の立入検査に関すること。 2 危険物製造所等の立入検査に関すること。 3 少量危険物の貯蔵又は取扱い場所の立入検査に関すること。 4 防火対象物の違反処理に関すること。 5 危険物製造所等の違反処理に関すること。 6 防火対象物の表示、公表に関すること。 7 防火対象物台帳、危険物許認可台帳の管理に関すること。 8 屋外の火災予防措置に関すること。 9 査察統計に関すること。 10 消防計画の作成指導に関すること。 11 電気用品の安全表示に関すること。 12 禁止行為の解除承認に関すること。
	救 急 係	1 救急に関すること。 2 救急病院等の連絡に関すること。 3 救急資器材の管理に関すること。 4 救急統計に関すること。 5 救急証明に関すること。 6 その他特に命ぜられた事務
	特別救助隊	1 救助、救出活動及び対策に関すること。 2 救助、救出訓練に関すること。 3 水難救助に関すること。 4 救助資器材の保守管理に関すること。 5 救助統計に関すること。 6 その他特に命ぜられた事務
	東部出張所	指定区域内の消防、救急活動、その他特に命ぜられた事務
	武田出張所	指定区域内の消防活動、その他特に命ぜられた事務
	湯村出張所	指定区域内の消防活動、その他特に命ぜられた事務
	宮本出張所	指定区域内の消防活動、その他特に命ぜられた事務
南消防署	庶 務 係	中央消防署に同じ。
	警 防 係	中央消防署に同じ。
	予 防 係	中央消防署に同じ。
	査 察 係	中央消防署に同じ。
	救 急 係	中央消防署に同じ。
	高度救助隊	1 救助、救出活動及び対策に関すること。 2 救助、救出訓練に関すること。 3 NBC災害の救助に関すること。 4 水難救助に関すること。 5 救助資器材の保守管理に関すること。 6 救助統計に関すること。 7 その他特に命ぜられた事務

署	係・隊・出張所	分 掌 事 務
南 消 防 署	玉穂出張所	指定区域内の消防、救急活動、その他特に命ぜられた事務
	昭和出張所	指定区域内の消防、救急活動、その他特に命ぜられた事務
	田富出張所	指定区域内の消防、救急活動、その他特に命ぜられた事務
	中道出張所	指定区域内の消防、救急活動、その他特に命ぜられた事務
西 消 防 署	庶 務 係	中央消防署に同じ。
	警 防 係	中央消防署に同じ。
	予 防 係	中央消防署に同じ。
	査 察 係	中央消防署に同じ。
	救 急 係	中央消防署に同じ。
	特別救助隊	中央消防署に同じ。
	消防教育隊	消防教育隊に關すること。
	敷島出張所	指定区域内の消防、救急活動、その他特に命ぜられた事務
	貢川出張所	指定区域内の消防活動、その他特に命ぜられた事務

消防広報

最新の消防情勢の周知を図るため、報道機関をはじめ、市・町の広報誌や消防広報誌「こうふ広域119」及びインターネットを活用し広報活動を行っています。

また、火災予防運動中の街頭啓発や火災予防巡回広報、消防訓練指導、救命講習会、更には消防音楽隊の各種イベントでの演奏等を通じて火災予防の普及啓発に努めています。

消防庁舎の見学は、住民の防災学習の場として子供から大人まで幅広い層の利用をいただいております。平成28年度は、84団体、3,843名が訪れました。

広報活動の概要

平成29年3月31日現在

項 目	内 容	回 数
消防情報	春・秋の火災予防運動期間の火災予防の啓発、甲種防火管理新規講習の開催案内及び住宅用火災警報器の設置啓発等構成市町発刊広報誌への掲載。刊行誌への消防情報提供	5
報道機関	インターネットホームページによる消防情報提供 報道機関への情報提供	年間 30
火災予防運動	春・秋の火災予防運動、文化財防火デー等各種事業、訓練におけるポスター・チラシなどの配布	5
女性防火クラブ	春・秋の火災予防運動中における街頭啓発の実施 県民の日消防まつり	3
住宅防火	高齢者に対する防火診断の実施	年間
消防訓練等	自衛消防組織や各種団体等を対象に、消防訓練及び防火映画、地震体験車による震度体験、消火器の使用方法などの指導	716回 40,024人
救急法指導	自治会や事業所等を対象に、基礎・普通・上級救命講習会の開講	302回 6,749人
巡回広報	火災予防の巡回広報	年間
放送設備による広報	春・秋の火災予防運動期間中における構成市町の防災行政無線その他の放送設備による火災予防の啓発	2
広報誌	消防広報誌「こうふ広域119」の発刊配布	1
その他	庁舎見学、音楽隊演奏会等	91

防災教室実施状況

平成28年4月1日～平成29年3月31日

区分 市町別		合計	自主防災組織					幼稚園・保育園・学校等					事業所				
			中央署	南署	西署	支援室	計	中央署	南署	西署	支援室	計	中央署	南署	西署	支援室	計
合計	回	716	1	7	2		10	14	46	34		94	59	351	202		612
	人	40,024	60	1,290	65		1,415	2,796	7,772	7,692		18,260	2,980	12,944	4,425		20,349
甲府市	回	433	1	4	2		7	14	15	12		41	59	228	98		385
	人	22,211	60	490	65		615	2,796	2,992	1,964		7,752	2,980	8,574	2,290		13,844
甲斐市	回	126								22		22			104		104
	人	7,863								5,728		5,728			2,135		2,135
中央市	回	74							18			18		56			56
	人	4,794							2,648			2,648		2,146			2,146
昭和町	回	83		3			3		13			13		67			67
	人	5,156		800			800		2,132			2,132		2,224			2,224

庁舎・施設等の見学状況

	合計	消防本部・南消防署				中央署	西署
		小計	視 察	学校関係	一 般 (施設めぐり)		
団体数	84	47		30	17	22	15
人数	3,843	2,314		2,010	304	725	804

消防音楽隊の概要

1. 階級別隊員数

平成29年3月31日現在

階 級	消防司令	消防司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	計
隊員数	3	5	4	5	3	20

2. 楽器編成

楽 器 名	指揮 (兼務)	フル ート	クラ リ ネ ット	ソ プラ ノ サ ッ ク ス	アル ト サ ッ ク ス	テ ナ ー サ ッ ク ス	バリ ト ン サ ッ ク ス	ト ラン ペ ット	コ ル ネ ット	フ レ ン チ ホ ル ン	テ ナ ー ト ロ ン ボ ー ン	バス ト ロ ン ボ ー ン	ユー ホ ニ ュ ー ム	チ ュー バ	ベ ー ス ギ ター	パーカッション			
																バス ドラ ム	ス ネ ア ー ド ドラ ム	シン バル	ドラ ム セ ット
楽器数	(1)	0	0	0	2	2	1	5	0	0	2	1	2	1	1	1	0	1	1

3. 演奏状況

区 分	内 容	回数
県 市 町 関 係	甲府市緑化祭り、中央市戦没者慰霊祭、甲府市市民体育大会	3
消 防 関 係	甲府市消防出初式、退職者送別式	2
そ の 他	中央市内公立保育園対外演奏、山梨県立かえで支援学校対外演奏	2

4

人 事

- 人事の概要
- 消防職員所属別配置状況
- 消防職員年齢状況
- 消防職員勤続年数
- 消防職員実員年別比較
- 消防職員教養

人事の概要

近年、住民の安全・安心に対する関心がより一層高まりつつあることから、現行の消防体制を再点検し、あらゆる面において住民の負託に応えるべく体制を強化するとともに、職員一人ひとりの資質の向上を図るべく、各種研修に積極的に取り組んでいます。

消防職員所属別配置状況

(平成29年4月1日現在)

階 級 区 分		合 計	消防 正 監	消防監	消 防 司 令 長	消防 司 令	消 防 司 令 補	消防 士 長	消 防 副 士 長	消防士
条 例 定 数		335	階級別定数は定めていない							
実 員		328 [9]	1	6 (兼2)	8	63	85 [8]	68 [1]	55	42
消 防 本 部	消 防 長	1	1							
	次 長	1		1						
	総 務 課 (うち県・航空隊等派遣)	16 (7)		1		1	9 (4)	5 (3)		
	企 画 課	2			1	1				
	人 事 課 (うち消防学校派遣)	21 (14)		1 (次長)		1	1	4		14 (14)
	警 防 課	4			1	1	1	1		
	救急救助課	3			1	1	1			
	予 防 課	8			1	3	2	2		
	指 令 課	13			1	2	6	4		
	小 計	69	1	3	5	10	20	16	0	14
中 央 消 防 署	本 署	44 [3]		1	1	12	11 [2]	10 [1]	3	6
	東部出張所	19				2	6	3	4	4
	湯村出張所	8				2	1	1	4	
	武田出張所	8				2	1	1	4	
	宮本出張所	8				1	2	1	4	
	小 計	87 [3]		1	1	19	21 [2]	16 [1]	19	10
南 消 防 署	本 署	54 [3]		1 (次長)	1	11	14 [3]	15	6	6
	田富出張所	18				2	4	3	6	3
	玉穂出張所	8				2	2	2	2	
	昭和出張所	18				2	6	2	4	4
	中道出張所	8				2	2	2	2	
	小 計	106 [3]		1	1	19	28 [3]	24	20	13
西 消 防 署	本 署	40 [3]		1	1	11	11 [3]	7	7	2
	敷島出張所	18				2	3	5	5	3
	貢川出張所	8				2	2		4	
	小 計	66 [3]		1	1	15	16 [3]	12	16	5

[]内は、再任用短時間勤務職員(定数外職員のため外数とする。)

消防職員年齢状況

(平成29年4月1日現在)

階級 年齢	合 計	消防 正 監	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	事務 職員
合 計	328〔9〕	1	6	8	63	85〔8〕	68〔1〕	55	42	0
18歳～20歳	13								13	
21歳～25歳	60							31	29	
26歳～30歳	50						30	20		
31歳～35歳	28					4	24			
36歳～40歳	29					21	6	2		
41歳～45歳	33				1	27	3	2		
46歳～50歳	33				14	17	2			
51歳～55歳	53		2	2	32	14	3			
56歳 以上	29〔9〕	1	4	6	16	2〔8〕	0〔1〕			

〔 〕内は、再任用短時間勤務職員（外数）

消防職員勤続年数

(平成29年4月1日現在)

階級 勤続年数	合 計	消防 正 監	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	事務 職員
合 計	328〔9〕	1	6	8	63	85〔8〕	68〔1〕	55	42	0
1年未満	14〔4〕					0〔4〕			14	
1年以上	10〔3〕					0〔2〕	0〔1〕		10	
2年以上	42〔2〕					0〔2〕		24	18	
5年以上	58						31	27		
10年以上	31					8	23			
15年以上	20					15	5			
20年以上	37				2	27	4	4		
25年以上	22				6	15	1			
30年以上	94	1	6	8	55	20	4			

〔 〕内は、再任用短時間勤務職員（外数）

消防職員実員年別比較

(各年4月1日現在)

階級 勤続年数	合 計	消防 正 監	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	事務 職員
平成29年	328〔9〕	1	6	8	63	85〔8〕	68〔1〕	55	42	0

〔 〕内は、再任用短時間勤務職員（外数）

消 防 職 員 教 養

消防大学校・山梨県消防学校研修

区 分	内 容	回数	人員
消防大学校	総合教育（幹部科第45期、幹部科第47期）	各1	8
	専科教育（火災調査科第31期、予防科第100期、救助科第74期）		
	緊急消防援助隊教育科（指揮隊長コース、高度救助・特別高度救助コース、NBCコース）		
山梨県消防学校	初任総合教育	1	10
	幹部教育（上級幹部科、幹部科）	各1	8
	専科教育（救急科、救助科、警防科、危険物科）	各1	25
	特別教育（はしご自動車研修、無線研修、山岳救助研修、水難救助研修、救急隊長研修、火災調査研修 他）	各1	90

昇任者研修

区 分	対 象 者	回数	人員
部長・室長等昇任者研修	昇任者	1	3
主査昇任者研修	昇任者	1	8
消防司令昇任者研修	昇任者	1	7
管理主査昇任者研修	昇任者	1	5

資格取得研修

区 分	対 象 者	回数	人員
大型自動車等運転免許技能教習	（大型・中型）担当職員	各1	12
討論式研修「公務員倫理を考える」 指導者養成研修会（第5回）	担当職員	1	1
市町村職員中央研修所研修 研修講師養成講座	（地方公務員制度）選考	1	1

専門研修

区 分	対 象 者	回数	人員
新採用職員研修	新採用者	1	11
調査技術会議	担当職員	1	2
市町村職員中央研修所研修 地方公会計制度	担当職員	1	1
消防救助技術関東地区指導会	担当職員	1	2
山梨県地方行財政アカデミー	担当職員	1	2
通信指令員の救急に係る教育講習	担当職員	1	4
ロープアクセス・ロープ レスキュー講習会	担当職員	1	1
NBC災害担当消防職員等の 教養研修	担当職員	1	1
全国消防技術者会議	担当職員	1	2
消防財政実務研修会	担当職員	1	2
消防実務講習会	担当職員	1	1
全国消防救助シンポジウム	担当職員	1	2
企業防災対策指導研修会	担当職員	1	1
緊急自動車運転技能講習	（消防車・救急車）担当職員	各1	2

救急救命士専門研修

区 分	対 象 者	回数	人員
救急隊員学術研究会	担当職員	1	1

横浜市消防局研修派遣

区 分	対 象 者	回数	人員
査察課実務研修	担当職員	1	1
違反是正推進に係る実務研修	担当職員	1	2
長期研修派遣	(査察業務) 担当職員	1	1

その他

区 分	対 象 者	回数	人員
公務員倫理研修会	各所属希望者	1	193
クレーム対応研修	担当職員	1	5
消防大学学校教育訓練修了に伴う 消防職員伝達研修会	各所属希望者	1	173
消防職員安全衛生研修会	担当職員	1	1
人権啓発講習会	各所属希望者	1	69

5

警

防

- 火災の概要……火災件数等の前年比較
- 市町別火災発生状況……年別火災発生状況
- 署別火災発生状況……月別火災発生状況
- 曜日別火災発生状況……時間別火災発生状況
- 曜日別火災発生状況(グラフ)……時間別火災発生状況(グラフ)
- 原因別火災発生状況(グラフ)
- 119番入電から火災現場到着までの所要時間(建物火災)
- 消防水利一覧表

火 災 の 概 要

1 火災件数について

平成28年中における火災件数は86件で、前年に比べ13件減少しており、過去10年間の平均121件と比べると35件減少しております。

(火災件数は事後聞知を含む。)

2 火災による死傷者について

火災による死者は3人で、前年と同数、負傷者は11人で前年に比べ8人減少しました。

65歳以上の高齢者の死者は1人(33%)発生しております。

負傷者11人のうち5人(45%)は軽症者でした。

3 出火原因について

出火原因の上位5つは、たばこ(14件)、放火(9件)、ガステーブル(9件)、放火の疑い(8件)、ごみの焼却(6件)の順となっております。

4 焼損床面積と焼損棟数について

建物火災の焼損面積は2,750㎡(前年931㎡)で、前年に比べ1,819㎡の増加となっております。1件当たり約64㎡(前年22.2㎡)を焼損したことになります。

焼損棟数は60棟(前年57棟)で全焼11棟、半焼8棟、部分焼19棟、ぼや22棟となっております。

火 災 件 数 等 の 前 年 比 較

(△：減)

区 分		平成28年 A	平成27年 B	前年との比較	
				C=A-B	C/B(%)
火災件数		86	99	△ 13	△ 13.1
損害額(千円)		307,115	96,758	210,357	217.4
建 物	件 数	43	42	1	2.4
	焼損床面積(㎡)	2,750	931	1,819	195.4
	焼損表面積(㎡)	409	141	268	190.1
	焼損棟数	60	57	3	5.3
	損害額(千円)	301,911	85,868	216,043	251.6
	爆発損害額(千円)	0	7,044	△ 7,044	△ 100.0
林 野	件 数	2	1	1	100.0
	焼損面積(a)	1	2	△ 1	△ 50.0
	損害額(千円)	1	8	△ 7	△ 87.5
車 両	件 数	5	4	1	25.0
	損害額(千円)	2,307	625	1,682	269.1
そ の 他	件 数	36	52	△ 16	△ 30.8
	損害額(千円)	2,896	3,213	△ 317	△ 9.9
り 災	世 帯	30	46	△ 16	△ 34.8
	人 員	48	109	△ 61	△ 56.0
死 傷 者	死 者	3	3	0	0.0
	負傷者	11	19	△ 8	△ 42.1

市町別火災発生状況

区分 市町	火災 件数	損害 額 (千円)	建 物									林 野			車 両		その他		爆発	り災者		死傷者	
			件 数	棟 数					床 面積 (㎡)	表 面積 (㎡)	損 害 額 (千円)	件 数	面 積 (a)	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	損 害 額 (千円)	世 帯	人 員	死 者	負 傷 者
				合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や															
合 計	86	307,115	43	60	11	8	19	22	2,750	409	301,911	2	1	1	5	2,307	36	2,896	0	30	48	3	11
甲府市	62	304,318	34	49	9	7	16	17	2,642	400	301,377	2	1	0	3	1,481	23	1,460	0	25	39	2	9
甲斐市	12	877	4	5	2	1	0	2	101	0	338	0	0	1	2	126	6	412	0	3	6	1	1
中央市	10	69	4	4	0	0	1	3	2	6	45	0	0	0	0	0	6	24	0	2	3	0	1
昭和町	2	1,851	1	2	0	0	2	0	5	3	151	0	0	0	0	700	1	1,000	0	0	0	0	0

年別火災発生状況

区分 年	火災 件数	損害 額 (千円)	建 物									林 野			車 両		その他		爆発	り災者		死傷者	
			件 数	棟 数					床 面積 (㎡)	表 面積 (㎡)	損 害 額 (千円)	件 数	面 積 (a)	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	損 害 額 (千円)	世 帯	人 員	死 者	負 傷 者
				合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や															
19年	139	340,628	71	96	16	10	38	32	3,254	316	328,483	1	7	0	19	6,835	48	5,310	0	82	191	1	34
20年	104	155,872	50	75	13	3	30	29	1,228	261	103,306	3	6,132	47,691	11	2,026	40	2,849	0	44	101	8	17
21年	122	239,095	53	72	16	10	22	24	1,897	200	199,209	1	15	979	12	1,543	56	37,364	0	43	103	4	20
22年	127	236,557	72	91	17	4	38	32	2,190	889	227,040	3	13	1	9	3,450	43	6,066	0	59	144	6	12
23年	136	186,484	69	99	21	7	35	36	2,214	766	182,720	3	13	5	10	2,394	54	1,365	0	65	117	11	21
24年	108	248,988	57	95	14	11	28	42	2,010	542	243,412	2	12	8	13	3,558	36	1,952	58	68	156	7	15
25年	144	109,685	55	72	15	6	24	27	1,624	267	99,225	4	722	4,765	3	3,202	82	2,493	0	37	91	4	17
26年	149	121,835	53	78	9	7	28	34	1,519	532	108,657	1	18	100	17	5,693	78	7,385	0	43	109	6	10
27年	99	96,758	42	57	11	3	21	22	931	141	85,868	1	2	8	4	625	52	3,213	7,044	46	109	3	19
28年	86	307,115	43	60	11	8	19	22	2,750	409	301,911	2	1	1	5	2,307	36	2,896	0	30	48	3	11

署別火災発生状況

区分 署	火災 件数	損害 額 (千円)	建 物									林 野			車 両		その他		爆発	り災者		死傷者	
			件 数	棟 数					床 面 積 (㎡)	表 面 積 (㎡)	損 害 額 (千円)	件 数	面 積 (a)	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	損 害 額 (千円)	世 帯	人 員	死 者	負 傷 者
				合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や															
合 計	86	307,115	43	60	11	8	19	22	2,750	409	301,911	2	1	1	5	2,307	36	2,896	0	30	48	3	11
中央署	21	16,980	13	17	1	4	7	5	251	77	14,936	2	1	0	1	1,430	5	614	0	14	20	2	6
南 署	48	287,048	23	33	8	1	11	13	2,302	148	284,732	0	0	0	2	751	23	1,565	0	12	20	0	4
西 署	17	3,087	7	10	2	3	1	4	197	184	2,243	0	0	1	2	126	8	717	0	4	8	1	1

月別火災発生状況

区分 月	火災 件数	損害 額 (千円)	建 物									林 野			車 両		その他		爆発	り災者		死傷者	
			件 数	棟 数					床 面 積 (㎡)	表 面 積 (㎡)	損 害 額 (千円)	件 数	面 積 (a)	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	損 害 額 (千円)	世 帯	人 員	死 者	負 傷 者
				合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や															
合 計	86	307,115	43	60	11	8	19	22	2,750	409	301,911	2	1	1	5	2,307	36	2,896	0	30	48	3	11
1 月	9	10,768	4	7	1	3	1	2	189	110	8,690	0	0	0	0	1,330	5	748	0	3	4	1	1
2 月	13	3,527	5	5	0	0	3	2	22	2	2,955	0	0	0	2	126	6	446	0	3	3	1	2
3 月	9	36,475	5	9	4	2	1	2	228	24	36,465	0	0	0	0	0	4	10	0	4	7	0	3
4 月	6	281	4	4	0	0	1	3	8	1	280	0	0	0	1	1	1	0	0	3	3	0	2
5 月	4	1,915	3	5	0	2	2	1	98	185	1,910	0	0	0	0	0	1	5	0	1	3	0	1
6 月	8	145	3	3	0	0	2	1	5	1	118	1	1	0	0	0	4	27	0	2	3	0	0
7 月	10	240,023	5	8	1	0	3	4	1,832	53	239,706	0	0	0	0	0	5	317	0	1	3	0	1
8 月	7	499	2	2	0	1	0	1	12	0	199	0	0	0	0	0	5	300	0	1	1	0	0
9 月	6	202	4	4	0	0	3	1	0	17	201	0	0	0	0	0	2	1	0	4	10	0	1
10 月	3	1,847	1	2	0	0	1	1	0	4	93	0	0	0	1	750	1	1,004	0	1	1	0	0
11 月	3	2,087	2	3	0	0	1	2	20	11	2,049	0	0	0	0	0	1	38	0	4	6	0	0
12 月	8	9,346	5	8	5	0	1	2	336	1	9,245	1	0	1	1	100	1	0	0	3	4	1	0

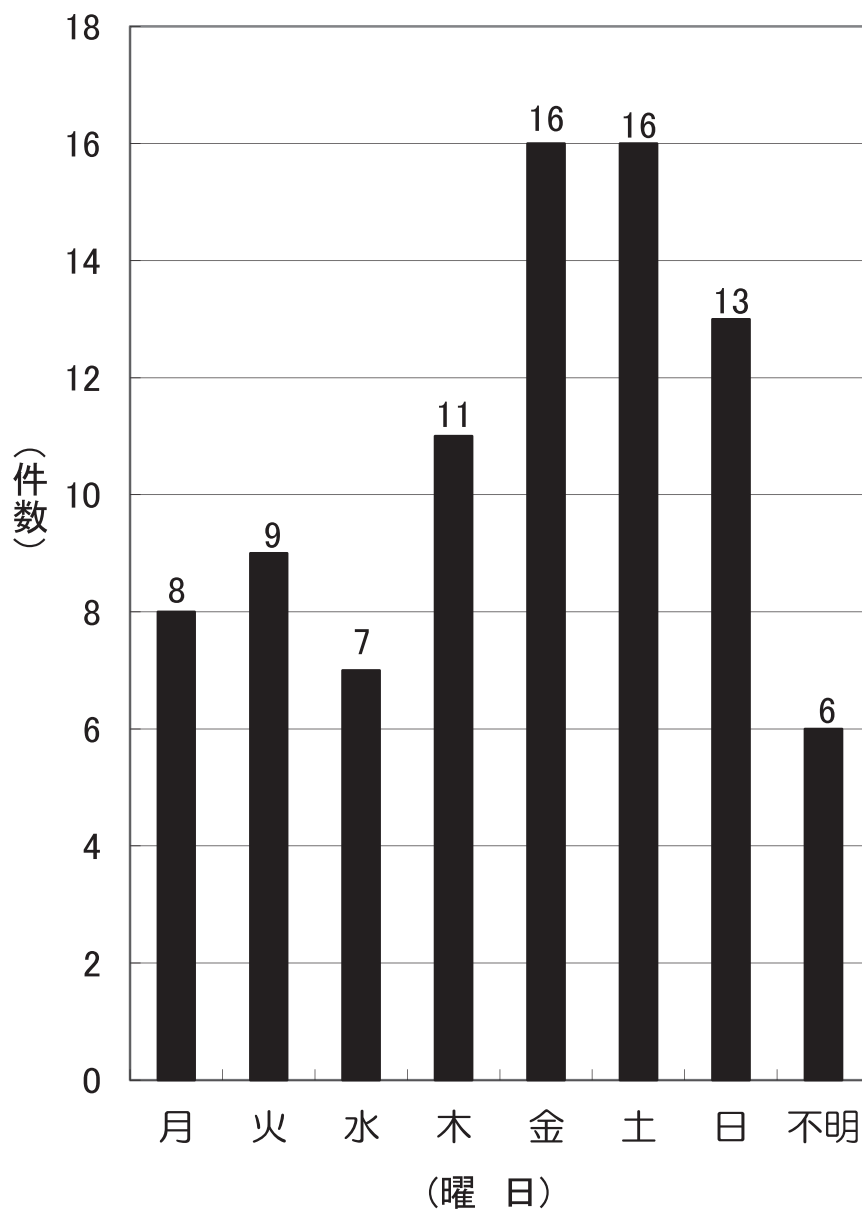
曜日別火災発生状況

区分 曜日	火災 件数	損害 額 (千円)	建 物									林 野			車 両		その他		爆発	り災者		死傷者	
			件 数	棟 数					床 面積 (㎡)	表 面積 (㎡)	損 害 額 (千円)	件 数	面 積 (a)	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	損 害 額 (千円)	世 帯	人 員	死 者	負 傷 者
				合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や															
合 計	86	307,115	43	60	11	8	19	22	2,750	409	301,911	2	1	1	5	2,307	36	2,896	0	30	48	3	11
月	8	2,985	2	3	0	1	1	1	12	3	506	0	0	0	1	701	5	1,778	0	2	3	0	2
火	9	303	5	5	0	0	2	3	0	15	202	0	0	0	1	100	3	1	0	4	7	0	1
水	7	2,930	4	6	0	2	3	1	102	187	2,518	0	0	0	0	0	3	412	0	3	5	1	0
木	11	167	4	4	0	0	3	1	7	9	125	0	0	0	1	26	6	16	0	2	2	0	3
金	16	50,367	10	18	6	4	4	4	455	41	48,711	0	0	0	2	1,480	4	176	0	7	9	1	3
土	16	250,033	11	17	5	1	3	8	2,172	150	249,807	2	1	1	0	0	3	225	0	8	11	1	1
日	13	148	6	6	0	0	3	3	2	4	40	0	0	0	0	0	7	108	0	4	11	0	1
不明	6	182	1	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	5	180	0	0	0	0	0

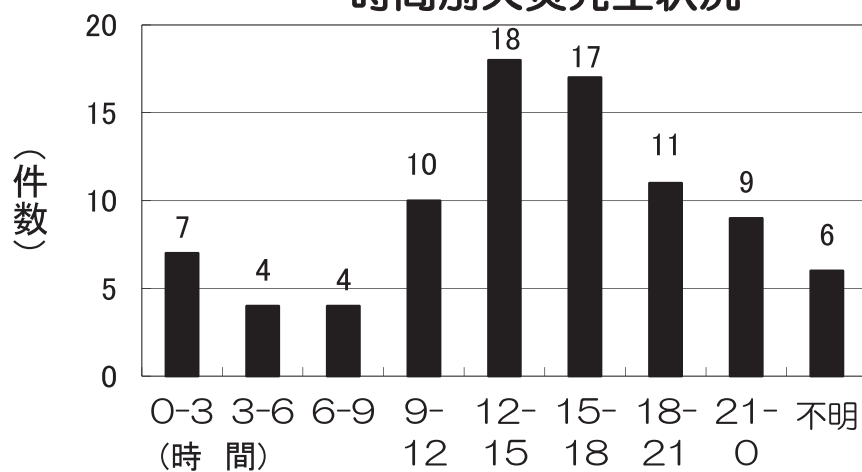
時間別火災発生状況

区分 時間	火災 件数	損害 額 (千円)	建 物									林 野			車 両		その他		爆発	り災者		死傷者	
			件 数	棟 数					床 面積 (㎡)	表 面積 (㎡)	損 害 額 (千円)	件 数	面 積 (a)	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	損 害 額 (千円)	世 帯	人 員	死 者	負 傷 者
				合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や															
合 計	86	307,115	43	60	11	8	19	22	2,750	409	301,911	2	1	1	5	2,307	36	2,896	0	30	48	3	11
0～3	7	10,249	4	7	2	3	1	1	199	27	8,788	0	0	0	0	1,330	3	131	0	3	5	1	1
3～6	4	448	2	2	0	0	2	0	2	2	42	0	0	0	0	0	2	406	0	2	3	0	1
6～9	4	2,383	4	4	0	0	1	3	16	1	2,383	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5	0	3
9～12	10	2,992	7	9	2	2	2	3	116	32	1,190	0	0	1	1	800	2	1,001	0	4	6	1	0
12～15	18	4,925	8	11	0	2	6	3	122	300	4,874	1	1	0	0	0	9	51	0	5	7	1	0
15～18	17	36,292	7	11	4	1	4	2	228	3	35,821	1	0	0	3	77	6	394	0	4	10	0	3
18～21	11	298	5	5	0	0	1	4	0	3	263	0	0	0	0	0	6	35	0	3	5	0	2
21～0	9	249,346	5	10	3	0	2	5	2,067	41	248,548	0	0	0	1	100	3	698	0	5	7	0	1
不明	6	182	1	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	5	180	0	0	0	0	0

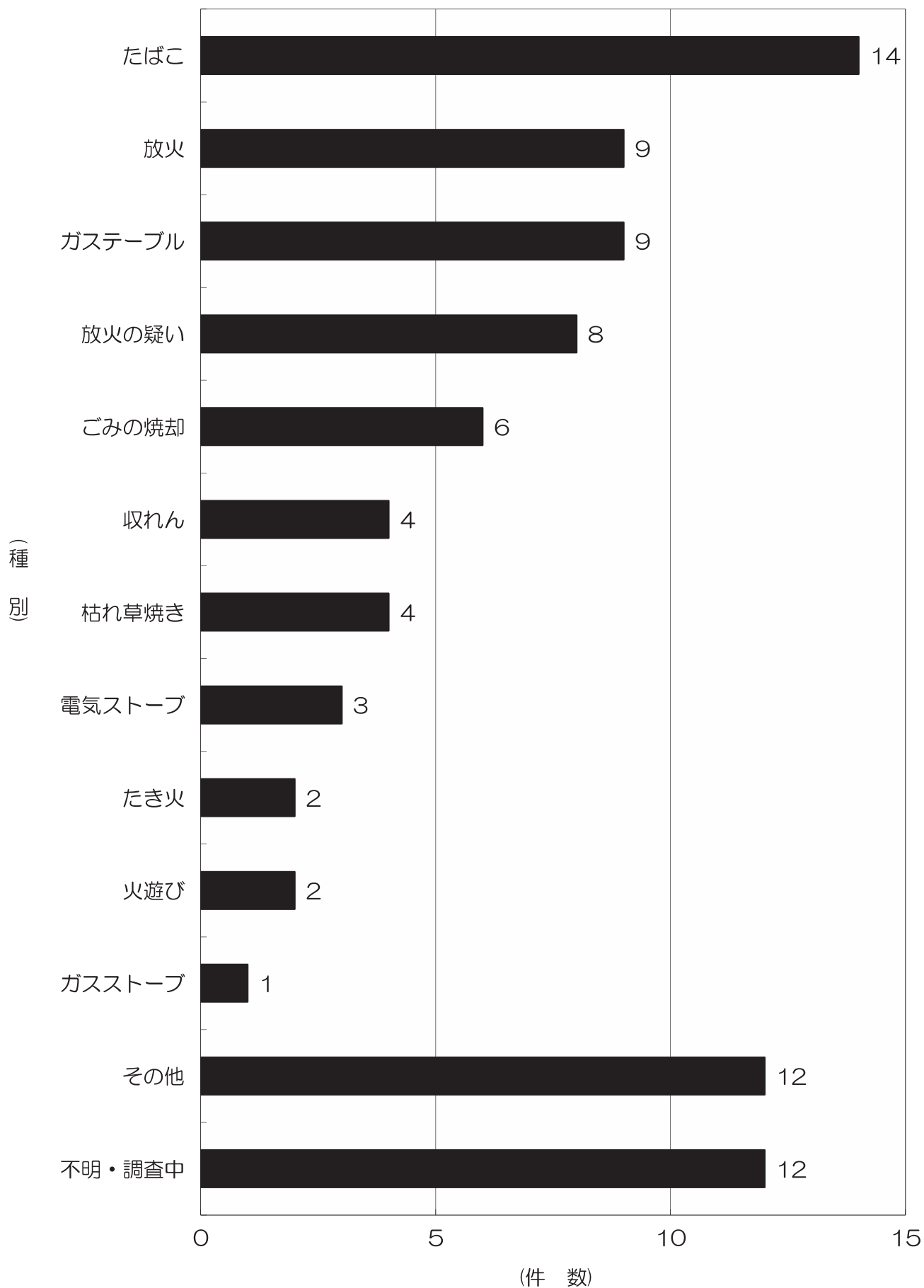
曜日別火災発生状況



時間別火災発生状況



原因別火災発生状況



・火災事案に係る現場到着時間

119番入電から火災現場到着までの所要時間（建物火災）

	平成26年	平成27年	平成28年
甲府地区消防本部平均	5分40秒	5分35秒	6分24秒
・事後聞知火災を除く ・全国、山梨県の統計は未実施			

消 防 水 利 一 覧 表

(平成29年4月1日現在)

種別 地区別	合 計	公設消火栓		私 設 消火栓	公 設 貯水槽	私 設 貯水槽	溜 池	貯水池	プール	泉 水	井 戸	河 川
			うち簡易水 道消火栓									
市 町 合 計	6,694	5,793	370	105	609	59	11	4	50	2	1	60
甲府市合計	3,536	2,955	42	81	384	29	11	4	36	1	1	34
甲斐市合計	1,751	1,580	114	24	94	17	0	0	9	1	0	26
中央市合計	926	799	214	0	118	6	0	0	3	0	0	0
昭和町合計	481	459	0	0	13	7	0	0	2	0	0	0
中 央 消 防 署 管 内	富士川	66	48		14	2	1		1			
	琢 美	64	59		5							
	相 生	88	80		7						1	
	新紺屋	84	67		14	2			1			
	穴 切	89	82		6				1			
	春 日	83	65		16		1		1			
	朝 日	95	87		7				1			
	里 垣	142	116	4	15	5			2			
	相 川	192	157	2	24	1	5		2	1		
	千 塚	139	115	7	15	1			1			
	甲 運	126	106	5	13	1			1			
	千代田	89	48	5	28	2		4	1			4
	能 泉	23	9	9	7	1						6
	宮 本	40	28	28	6	1						5
	北 新	87	72	1	8	2			4			
	羽 黒	150	131	6	10	2			1			
	計	1,557	1,270	42	34	189	7	4	17	1	1	15
南 消 防 署 管 内	湯 田	92	86		3		1		2			
	伊 勢	146	130	4	9	1	1		1			
	国 母	193	170	11	9		1		2			
	山 城	281	259	7	9	5			1			
	玉 諸	202	176		24		1		1			
	大 里	210	188	5	12	3			2			
	東	104	99		3				2			
	中 道	360	257	11	92							
	上九一色	14			14							
	玉 穂	181	161		17				3			
	田 富	451	424		21	6						
	豊 富	294	214	214	80							
	昭和町	481	459		13	7			2			
	計	3,009	2,623	214	38	306	22	4	0	16	0	0
西 消 防 署 管 内	貢 川	247	210	6	13				5			13
	池 田	130	110	3	7	1			3			6
	竜 王	1,235	1,155		48	12			6	1		13
	敷 島	516	425	114	24	46	5		3			13
	計	2,128	1,900	114	33	114	18	0	0	17	1	45

6

救 急 救 助

- 救急概要……救助概要
- 救急活動の前年比較
- 年別月別救急出場件数
- 消防署別・事故別救急出場件数……消防署別・月別救急出場件数
- 市町別救急出場数
- 市町別事故種別救急出場件数……中央自動車道救急出場状況
- 年齢別事故種別搬送人員
- 事故種別年齢別傷病程度別搬送人員
- 傷病程度別男女別搬送人員
- 時間別救急出場件数
- 事故種別診療科目別搬送人員
- 覚知別救急出場件数……上級・普通・基礎救命講習受講者数
- 1日平均救急出場件数の年別比較(グラフ)
- 一般負傷・交通事故・急病の搬送人員(グラフ)
- 構成市町熱中症による救急搬送状況
- 119番通報入電から救急現場到着までの所要時間
- 119番通報入電から病院到着までの所要時間
- 救助活動の前年比較
- 市町別事故種別救助出場件数
- 市町別月別救助出場件数
- 曜日別事故種別救助出場件数
- 時間別事故種別救助出場件数
- 救助出場件数の年別比較(グラフ)……事故種別救助出場件数(グラフ)

救 急 概 要

平成28年中の救急出場件数は14,667件（昨年比+207件 1.4%増）、搬送人員は13,918人（昨年比+214人 約1.6%増）でありました。

この件数を1日平均にすると、約40.2件出場し、38.1人を搬送しております。また、約35.8分に1回の割合で救急隊が出場したことになり、搬送人員を管内人口の割合でみると約22人に1人が搬送されたことになります。

救急件数14,667件（うち不搬送922件）のうち、救急救命士が心肺停止の傷病者に対し医師の指示の下に行う特定行為（器具を用いた気道確保「気管・食道挿管」除細動、輸液、薬剤投与）を施行した件数は229件（昨年比-3件1.29%減）であります。

また、平成26年4月から救急救命士が行う救急救命処置の範囲が拡大し、心肺停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与が可能となりました。

心肺停止前の傷病者に対し医師の指示の下に行う特定行為である静脈路確保及び輸液を施行した件数は88件、ブドウ糖溶液の投与を施行した件数は29件であります。

救 助 概 要

平成28年中の救助件数は158件（昨年比-31件 16.4%減）、救助人員は53人（昨年比-30人 約36.9%減）であります。

救急活動の前年比較

(△：減)

事故種別	区 分	平成28年	平成27年	比 較	
				増 減	%
合 計	出場件数	14,667	14,460	207	1.4
	搬送人員	13,918	13,704	214	1.6
火災事故	出場件数	61	63	△ 2	△ 3.2
	搬送人員	12	20	△ 8	△ 40.0
自然災害	出場件数	0	0	0	--
	搬送人員	0	0	0	--
水難事故	出場件数	2	6	△ 4	△ 66.7
	搬送人員	1	2	△ 1	△ 50.0
交通事故	出動件数	1,497	1,515	△ 18	△ 1.2
	搬送人員	1,591	1,620	△ 29	△ 1.8
労働災害	出場件数	109	80	29	36.3
	搬送人員	108	80	28	35.0
運動競技	出場件数	152	173	△ 21	△ 12.1
	搬送人員	154	175	△ 21	△ 12.0
一般負傷	出場件数	1,970	1,964	6	0.3
	搬送人員	1,920	1,904	16	0.8
加害事故	出場件数	71	77	△ 6	△ 7.8
	搬送人員	66	66	0	0.0
自損行為	出場件数	139	144	△ 5	△ 3.5
	搬送人員	106	110	△ 4	△ 3.6
急病	出場件数	9,147	8,894	253	2.8
	搬送人員	8,683	8,457	226	2.7
そ の 他	出場件数	1,519	1,544	△ 25	△ 1.6
	搬送人員	1,277	1,270	7	0.6

年別月別救急出場件数

() 内は、5町の委託分

月別 年別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
昭和33	83	(5月から救急業務開始)				2	9	12	16	9	10	14	11
34	182	9	6	16	11	13	11	9	18	21	29	22	17
35	334	19	31	27	29	24	31	30	30	25	31	29	28
36	380	32	27	37	38	38	19	36	30	38	27	29	29
37	417	37	34	32	28	30	26	39	37	28	35	47	44
38	534	33	38	47	35	47	32	42	63	42	54	40	61
39	677	42	28	57	50	62	52	62	80	61	66	54	63
40	805	55	47	65	69	70	70	67	69	53	84	85	71
41	900	65	62	74	60	82	58	82	93	81	81	77	85
42	998	80	59	88	86	97	78	83	75	89	81	89	93
43	1,303	117	107	100	99	106	95	90	98	125	121	121	124
44	1,478	109	96	138	104	137	122	113	147	110	130	118	154
45	2,219 (75)	182	144	163	170	205	174	209	188 (15)	203 (17)	191 (14)	176 (16)	214 (13)
46	2,219 (210)	182 (12)	144 (15)	163 (15)	170 (16)	205 (15)	174 (15)	209 (23)	188 (25)	203 (22)	191 (15)	176 (17)	214 (20)
47	2,749 (251)	200 (15)	172 (13)	219 (18)	212 (19)	243 (26)	216 (16)	242 (20)	243 (21)	234 (22)	252 (31)	259 (30)	257 (20)
48	3,262 (94)	272 (36)	212 (26)	257 (32)	245	275	249	287	305	305	286	276	293
49	3,723	352	283	327	298	290	281	303	358	293	325	290	323
50	3,994	328	306	333	320	367	344	328	325	342	329	323	349
51	4,063	444	267	292	341	362	327	348	311	319	361	295	396
52	4,304	368	339	360	361	370	341	419	341	347	359	341	358
53	4,496	388	312	375	337	379	350	458	405	348	370	374	400
54	5,011	376	326	436	409	462	400	470	447	385	459	396	445
55	4,912	397	400	422	363	442	408	442	407	400	423	366	442
56	5,207	409	372	422	442	474	393	453	483	435	461	424	439
57	5,177	417	398	416	393	499	444	437	480	394	452	408	439
58	5,389	424	465	434	419	457	439	458	456	434	492	431	480
59	5,492	467	420	417	443	462	457	504	487	451	440	432	512
60	5,564	467	404	463	482	477	445	464	447	435	468	492	520
61	5,563	456	389	455	486	469	503	466	453	450	490	463	483
62	5,806	521	402	461	489	458	470	498	487	451	509	511	549
63	6,153	512	447	506	507	551	451	503	510	503	546	536	581

年別月別救急出場件数

() 内は、5町の委託分

月別 年別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成元	6,531	524	447	559	556	549	485	544	528	541	585	588	625
2	6,619	591	451	531	571	572	516	580	574	504	574	534	621
3	6,708	597	510	533	526	599	555	543	546	533	577	585	604
4	6,636	525	525	575	548	573	527	572	544	513	562	584	588
5	7,027	619	571	590	562	555	608	559	531	553	629	582	668
6	7,106	586	507	626	538	596	587	624	603	567	623	557	692
7	7,393	671	611	632	605	585	559	556	630	517	666	663	698
8	7,661	688	569	590	617	606	607	649	659	618	705	629	724
9	7,781	771	568	644	620	624	606	643	626	649	645	702	683
10	7,929	691	673	657	615	663	609	615	648	649	660	700	749
11	8,529	905	625	726	736	665	640	667	654	617	705	698	891
12	9,315	788	753	778	699	695	733	815	771	730	757	872	924
13	9,634	879	725	841	819	711	768	831	750	739	816	827	928
14	9,836	854	681	865	804	856	789	829	840	768	787	838	925
15	10,609	1,086	783	920	870	896	817	828	888	823	871	844	983
16	10,556	920	843	844	851	851	821	959	892	880	873	827	995
17	11,019	964	904	1,029	882	898	838	938	893	827	872	938	1,036
18	11,581	1,089	853	918	969	921	945	913	968	941	931	1,013	1,120
19	11,949	1,001	867	1,097	1,015	988	949	992	1,017	977	957	999	1,090
20	11,393	989	971	937	866	896	847	972	976	894	953	994	1,098
21	11,463	1,054	858	989	866	973	872	859	940	949	962	1,000	1,141
22	12,715	1,130	931	998	973	1,025	983	1,154	1,190	1,068	1,067	1,064	1,132
23	13,018	1,215	889	1,154	1,025	1,057	983	1,144	1,212	1,034	1,060	1,040	1,205
24	13,355	1,228	1,078	1,142	1,004	1,030	998	1,089	1,172	1,036	1,170	1,109	1,299
25	14,149	1,301	1,107	1,112	1,077	1,091	1,130	1,261	1,304	1,083	1,131	1,214	1,338
26	14,781	1,348	1,249	1,221	1,136	1,149	1,078	1,305	1,233	1,148	1,236	1,262	1,416
27	14,460	1,418	1,046	1,155	1,113	1,217	1,042	1,362	1,263	1,133	1,225	1,148	1,338
28	14,667	1,376	1,173	1,190	1,177	1,131	1,134	1,241	1,272	1,154	1,192	1,239	1,388

消防署別・事故種別救急出場件数

事故種別 署別	出場件数	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他
合 計	14,667	61		2	1,497	109	152	1,970	71	139	9,147	1,519
中央 (2隊)	4,344	15			387	19	53	600	20	32	2,625	593
南 (5隊)	6,871	33		1	800	68	74	894	29	72	4,253	647
西 (2隊)	3,452	13		1	310	22	25	476	22	35	2,269	279

消防署別・月別救急出場件数

月別 署別	出場件数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	14,667	1,376	1,173	1,190	1,177	1,131	1,134	1,241	1,272	1,154	1,192	1,239	1,388
中央 (2隊)	4,344	400	340	367	358	338	340	367	352	347	351	358	426
南 (5隊)	6,871	641	556	545	555	520	535	573	632	539	553	577	645
西 (2隊)	3,452	335	277	278	264	273	259	301	288	268	288	304	317

市町別救急出場件数

(△：減)

年 別		市町別	合 計	甲 府 市	甲 斐 市	中 央 市	昭 和 町	中 央 道	管 外
平成 28 年		出場件数 (件)	14,667	10,406	2,118	1,141	957	33	12
		搬送人員 (人)	13,918	9,835	2,023	1,097	925	26	12
平成 27 年		出場件数 (件)	14,460	10,158	2,073	1,208	983	25	13
		搬送人員 (人)	13,704	9,593	1,972	1,157	946	25	11
比 較	増 減	出場件数 (件)	207	248	45	△ 67	△ 26	8	△ 1
		搬送人員 (人)	214	242	51	△ 60	△ 21	1	1
	%	出場件数	1.4	2.4	2.2	△ 5.5	△ 2.6	32.0	△ 7.7
		搬送人員	1.6	2.5	2.6	△ 5.2	△ 2.2	4.0	9.1

市町別事故種別救急出場件数

事故種別 市町別	合 計	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他
合 計	14,667	61		2	1,497	109	152	1,970	71	139	9,147	1,519
甲府市	10,406	46		2	1,010	68	101	1,405	49	96	6,474	1,155
甲斐市	2,118	6			204	14	24	295	14	25	1,406	130
中央市	1,141	3			135	11	8	151	1	13	687	132
昭和町	957	3			132	16	19	117	7	5	567	91
中央道	33	3			16			2			12	
管 外	12										1	11

中央自動車道救急出場状況

担当区域 上り線 甲府昭和インター ～ 一宮御坂インター (17.0km)
 下り線 甲府南インター ～ 韮崎インター (18.9km)

年 別	区 分	出場件数	搬送人員
平成28年		33件	26人
平成27年		25件	25人

中央自動車道での救急出場件数は、33件で昨年に比べ8件増であります。
 出場件数33件の内訳は、火災3件、交通事故16件、一般負傷2件、急病12件で、搬送人員26人の内訳は、交通事故15人、一般負傷1人、急病10人であります。

年齢別事故種別搬送人員

年令区分		事故種別		合 計	火 災 事 故	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	そ の 他
		搬送人員	性別												
合 計		13,918	計	13,918	12		1	1,591	108	154	1,920	66	106	8,683	1,277
			男	6,932	7		1	828	91	118	874	45	43	4,276	649
			女	6,986	5			763	17	36	1,046	21	63	4,407	628
年 齢 別	0～4	758	男	438				12			77			240	109
			女	320				20			61			163	76
	5～9	222	男	135				28		5	23			58	21
			女	87				14			11			53	9
	10～19	715	男	402				159	2	60	38	9	4	121	9
			女	313				102		24	21	1	7	149	9
	20～29	943	男	452				129	19	24	35	14	7	216	8
			女	491				91	4	7	25	2	14	312	36
	30～39	908	男	445				94	20	4	36	4	6	263	18
			女	463				68	2	2	15	4	12	292	68
	40～49	1,112	男	604				124	17	14	47	6	7	348	41
			女	508				109	3	2	32	5	7	321	29
	50～59	1,094	男	643	4			94	13	4	66	6	8	403	45
			女	451	1			79	4	1	51	6	9	274	26
	60～69	1,744	男	927	1			83	15	3	106	3	4	601	111
			女	817				117	4		98	2	4	528	64
	70～79	2,326	男	1,248	2		1	59	5	4	199	2	6	841	129
			女	1,078	2			114			185		7	683	87
	80才以上	4,096	男	1,638				46			247	1	1	1,185	158
			女	2,458	2			49			547	1	3	1,632	224
	年齢 不明		男												
			女												

事故種別年齢別傷病程度別搬送人員

年齢 区分	事故種別 傷病程度	火 災	自然災害	水 難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	その他	計
新生児	死 亡	0	0	0	0			0	0		0	0	0
	重 症	0	0	0	0			0	0		0	18	18
	中等症	0	0	0	0			0	0		4	71	75
	軽 症	0	0	0	1			1	0		2	0	4
	その他	0	0	0	0			0	0		0	0	0
	計	0	0	0	1			1	0		6	89	97
乳幼児	死 亡	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0
	重 症	0	0	0	0		0	2	0	0	4	5	11
	中等症	0	0	0	1		0	18	0	0	226	91	336
	軽 症	0	0	0	40		1	131	0	0	226	11	409
	その他	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	41		1	151	0	0	456	107	756
少 年	死 亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重 症	0	0	0	9	0	2	1	0	0	1	3	16
	中等症	0	0	0	29	0	27	16	2	1	90	27	192
	軽 症	0	0	0	150	0	46	56	4	5	128	3	392
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	188	0	75	73	6	6	219	33	600
成 人	死 亡	0	0	0	1	0	0	0	0	5	18	1	25
	重 症	1	0	0	30	12	6	18	0	12	122	83	284
	中等症	1	0	0	170	35	22	114	11	34	971	220	1,578
	軽 症	4	0	0	782	51	44	273	42	28	1,846	32	3,102
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	6	0	0	983	98	72	405	53	79	2,957	336	4,989
高 齢 者	死 亡	0	0	1	0	0	0	12	0	3	87	2	105
	重 症	0	0	0	27	2	0	120	1	7	529	196	882
	中等症	4	0	0	85	6	4	559	0	6	2,384	464	3,512
	軽 症	2	0	0	266	2	2	599	6	5	2,045	50	2,977
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	6	0	1	378	10	6	1,290	7	21	5,045	712	7,476
合 計	死 亡	0	0	1	1	0	0	12	0	8	105	3	130
	重 症	1	0	0	66	14	8	141	1	19	656	305	1,211
	中等症	5	0	0	285	41	53	707	13	41	3,675	873	5,693
	軽 症	6	0	0	1,239	53	93	1,060	52	38	4,247	96	6,884
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	12	0	1	1,591	108	154	1,920	66	106	8,683	1,277	13,918

年 齢 区 分	
新生児	生後28日未満の者
乳幼児	生後28日以上満7歳未満の者
少 年	満7歳以上満18歳未満の者
成 人	満18歳以上満65歳未満の者
高齢者	満65歳以上の者

傷病程度別男女別搬送人員

事故 種別 傷病 程度		合 計	火 災 事 故	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	計	13,918	12		1	1,591	108	154	1,920	66	106	8,683	1,277
	男	6,932	7		1	828	91	118	874	45	43	4,276	649
	女	6,986	5			763	17	36	1,046	21	63	4,407	628
死 亡	計	130			1	1			12		8	105	3
	男	70			1				5		6	58	
	女	60				1			7		2	47	3
重 症	計	1,211	1			66	14	8	141	1	19	656	305
	男	660	1			42	14	7	54	1	10	377	154
	女	551				24		1	87		9	279	151
中 等 症	計	5,693	5			285	41	53	707	13	41	3,675	873
	男	2,871	2			167	36	44	256	11	16	1,896	443
	女	2,822	3			118	5	9	451	2	25	1,779	430
軽 症	計	6,884	6			1,239	53	93	1,060	52	38	4,247	96
	男	3,331	4			619	41	67	559	33	11	1,945	52
	女	3,553	2			620	12	26	501	19	27	2,302	44
そ の 他	計												
	男												
	女												

時間別救急出場件数

事故種別 区 分		合 計	火 災 事 故	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 等	そ の 他
時間別内訳	合 計	14,667	61		2	1,497	109	152	1,970	71	139	9,147	1,281		84	154
	0～1	367	1			29	2	2	35	5	7	249	19		4	14
	1～2	319	2			16		1	32	4	6	234	16			8
	2～3	303	1			14	2		39	2	7	226	3		1	8
	3～4	278				10			24	3	1	225	7		2	6
	4～5	270	3			7			35	3	2	208	8		1	3
	5～6	301				16	1		22	3	3	243	9		1	3
	6～7	368	2			28	1	1	47	2	5	269	9			4
	7～8	613	3			82	3		89	1	4	416	11		2	2
	8～9	719	1			108	4	2	117	2	9	430	33		10	3
	9～10	904	3			79	6	9	136	1	8	504	146		5	7
	10～11	934	5			89	12	17	121	1	6	542	130		6	5
	11～12	883	3		1	84	10	16	115		9	495	138		6	6
	12～13	779	3			82	4	24	112	2	2	425	115		1	9
	13～14	782	8			69	6	12	109	2	4	469	92		6	5
	14～15	763				86	13	11	118		1	447	81		1	5
	15～16	681	1			67	9	12	109	3	5	377	91		5	2
	16～17	719	6			104	15	10	103	3	7	381	79		6	5
	17～18	826	5		1	123	3	11	112	1	7	453	97		9	4
	18～19	829	1			109	8	7	111	2	8	515	51		5	12
	19～20	730	3			94		4	92	7	5	474	38		2	11
	20～21	637	3			67	3	8	78	7	8	425	29		4	5
	21～22	643	1			56	3	3	72	2	5	458	31		2	10
	22～23	556	4			48	1	2	77	7	9	368	28		3	9
	23～24	463	2			30	3		65	8	11	314	20		2	8

事故種別診療科目別搬送人員

事故種別 診療科目別	合 計	火 災 事 故	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	13,918	12		1	1,591	108	154	1,920	66	106	8,683	1,277
内 科	7,112				65	7	25	152	4	29	6,270	560
外 科	1,121	4			291	26	18	448	24	14	220	76
整形外科	2,329	1			975	34	78	887	28	6	218	102
脳外科	1,275				86	13	21	270	5	2	727	151
小児科	746				4		6	41			511	184
産婦人科	169				7			2			61	99
精神科	73							1		4	57	11
救急科	830	6		1	161	25	4	94	5	51	433	50
眼 科	18					1	1	5			10	1
皮膚科	24	1				2		6			12	3
泌尿器科	101							1			82	18
耳鼻咽喉科	87				1		1	8			69	8
そ の 他	33				1			5			13	14

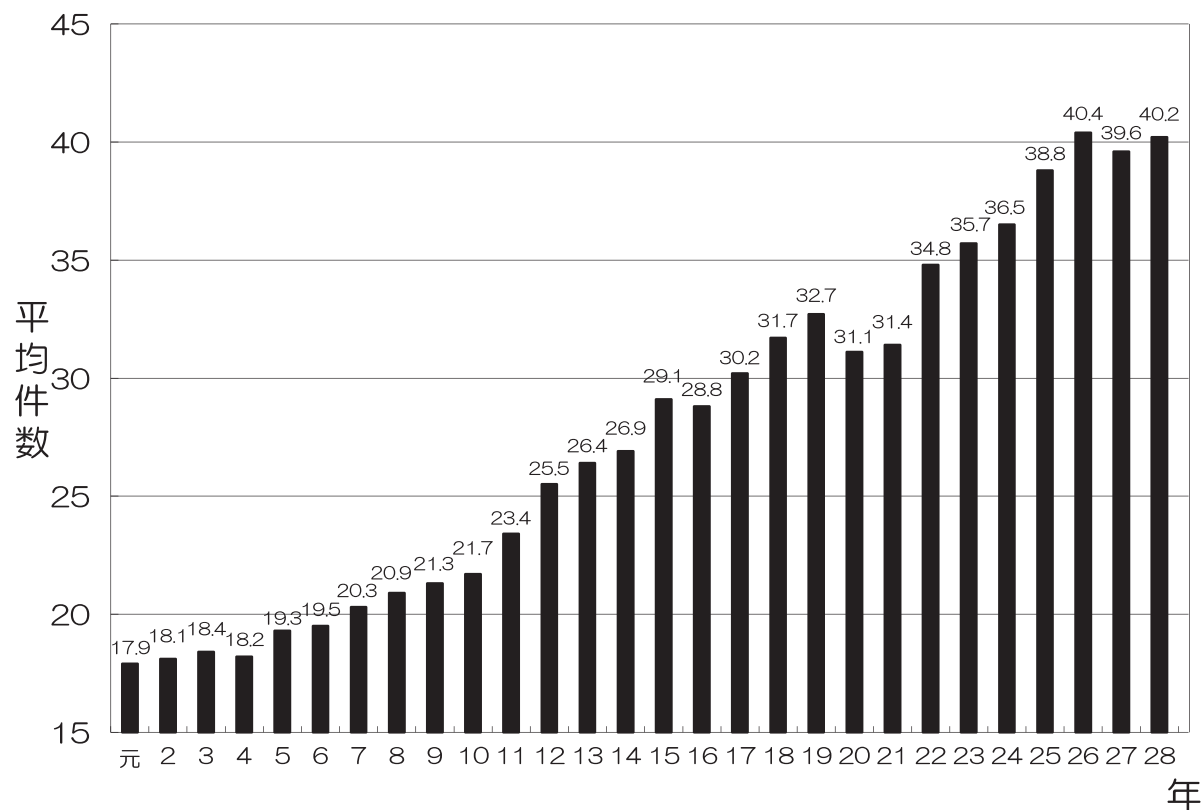
覚 知 別 救 急 出 場 件 数

事故種別 覚知別	合 計	火災 事故	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害 事故	自損 行為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 等	そ の 他
119専用	7,765	22		1	261	44	45	1,042	30	52	5,113	1,082		10	63
駆け付け	86				8	3		20		1	53				1
携帯119	6,158	36		1	1,094	60	102	863	33	74	3,803	20			72
加入電話	341				68	1	4	13	5	8	73	92		71	6
警察電話	36				19			4	1	4	6				2
自己覚知	108	1			17	1	1	1			3	81		3	
無 線	40				29			2	1		3	5			
ふれペン	129	1			1			25			92				10
そ の 他	4	1							1		1	1			
合 計	14,667	61	0	2	1,497	109	152	1,970	71	139	9,147	1,281	0	84	154

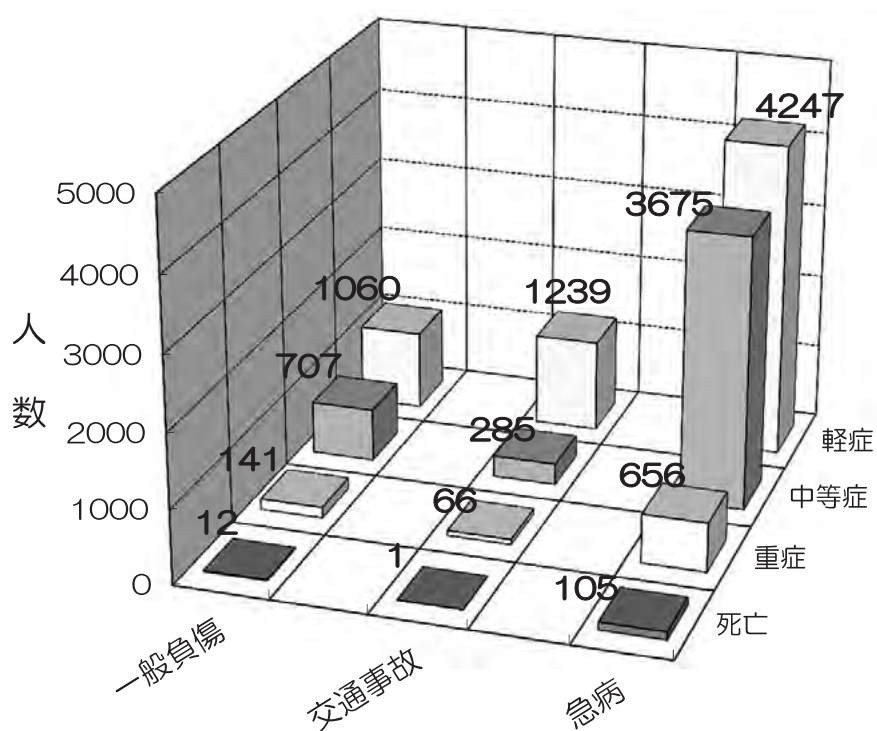
上 級 ・ 普 通 ・ 基 礎 救 命 講 習 受 講 者 数

月 別 区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
上 級 救命講習	回 数									1	1	1		3
	人 数									49	21	45		115
普 通 救命講習	回 数	7	12	14	6	6	15	19	18	22	20	19	15	173
	人 数	87	237	262	93	78	369	335	365	258	303	344	250	2,981
基 礎 救命講習	回 数	4	8	4	2	12	23	30	16	10	10	6	13	138
	人 数	139	418	186	45	285	743	766	661	310	231	228	303	4,315

1日平均救急出場件数の年別比較



一般負傷・交通事故・急病の搬送人員



構成市町熱中症による救急搬送状況

構成市町	平成28年4月25日～10月2日					
	年齢区分（人）					
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
甲府市	0	0	10	19	25	54
甲斐市	0	1	1	3	7	12
中央市	0	0	0	1	3	4
昭和町	0	2	1	4	2	9
中央道	0	0	0	1	0	1
合計（人）	0	3	12	28	37	80

年齢区分	
新生児	生後28日未満の者
乳幼児	生後28日以上満7歳未満の者
少年	満7歳以上満18歳未満の者
成人	満18歳以上満65歳未満の者
高齢者	満65歳以上の者

構成市町	平成28年4月25日～10月2日					
	初診時における傷病程度（人）					
	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
甲府市	0	0	25	29	0	54
甲斐市	0	0	3	9	0	12
中央市	0	0	1	3	0	4
昭和町	0	0	3	6	0	9
中央道	0	0	0	1	0	1
合計（人）	0	0	32	48	0	80

傷病程度	
軽症	傷病程度が入院を要しないもの
中等症	傷病程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
重症	傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
死亡	初診時において死亡が確認されたもの
その他	医師の診断がないもの（診察拒否等）

・救急事案に係る現場到着時間

119番通報入電から救急現場到着までの所要時間

	平成25年	平成26年	平成27年
全国平均	8分30秒	8分36秒	8分36秒
山梨県平均	8分36秒	9分18秒	8分42秒
甲府地区消防本部平均	6分42秒	8分00秒	7分06秒
・平成28年の県及び全国平均は平成30年3月ごろ公表される(総務省消防庁救急救助の現況から)			

119番通報入電から病院収容までの所要時間

	平成25年	平成26年	平成27年
全国平均	39分18秒	39分24秒	39分24秒
山梨県平均	36分42秒	38分48秒	38分18秒
甲府地区消防本部平均	31分54秒	34分12秒	31分00秒
・平成28年の県及び全国平均は平成30年3月ごろ公表される(総務省消防庁救急救助の現況から)			

救助活動の前年比較

(△：減)

事故種別	区 分	平成28年	平成27年	比 較	
				増 減	%
合 計	出場件数	158	189	△ 31	△ 16.4
	救助人員	53	84	△ 31	△ 36.9
建物火災	出場件数	32	27	5	18.5
	救助人員		3	△ 3	△ 100.0
その他の火災 (建物以外)	出場件数	12	14	△ 2	△ 14.3
	救助人員			0	--
交通事故	出場件数	44	59	△ 15	△ 25.4
	救助人員	24	36	△ 12	△ 33.3
水難事故	出場件数	2	9	△ 7	△ 77.8
	救助人員	2	5	△ 3	△ 60.0
自然災害	出場件数			0	--
	救助人員			0	--
機械による事故	出場件数	1	3	△ 2	△ 66.7
	救助人員		1	△ 1	△ 100.0
建物等による事故	出場件数		3	△ 3	△ 100.0
	救助人員		4	△ 4	△ 100.0
ガス及び酸欠事故	出場件数	1	2	△ 1	△ 50.0
	救助人員		1	△ 1	△ 100.0
破裂事故	出場件数			0	--
	救助人員			0	--
その他の事故	出場件数	66	72	△ 6	△ 8.3
	救助人員	27	34	△ 7	△ 20.6

市町別事故種別救助出場件数

市町別 事故種別	甲 府 市	甲 斐 市	中 央 市	昭 和 町	中 央 道	管 外	計
建物火災	24	5	2	1			32
その他の火災 (建物以外)	6	2		1	2	1	12
交通事故	26	5	5	4	4		44
水難事故	1	1					2
自然災害							0
機械による事故	1						1
建物等による事故							0
ガス及び酸欠事故	1						1
破裂事故							0
その他の事故	48	9	4	4	1		66
合 計	107	22	11	10	7	1	158

市町別月別救助出場件数

市町別 月別	甲府市	甲斐市	中央市	昭和町	中央道	管外	計
1 月	12	2	2	1			17
2 月	9	2	2	1			14
3 月	6	2	1	1	1		11
4 月	9	2	3	1	1		16
5 月	9	2		1		1	13
6 月	10	2		1	1		14
7 月	8	1		1	2		12
8 月	14	1	1				16
9 月	7	2	1				10
10 月	4	2		2	2		10
11 月	9	2		1			12
12 月	10	2	1				13
合 計	107	22	11	10	7	1	158

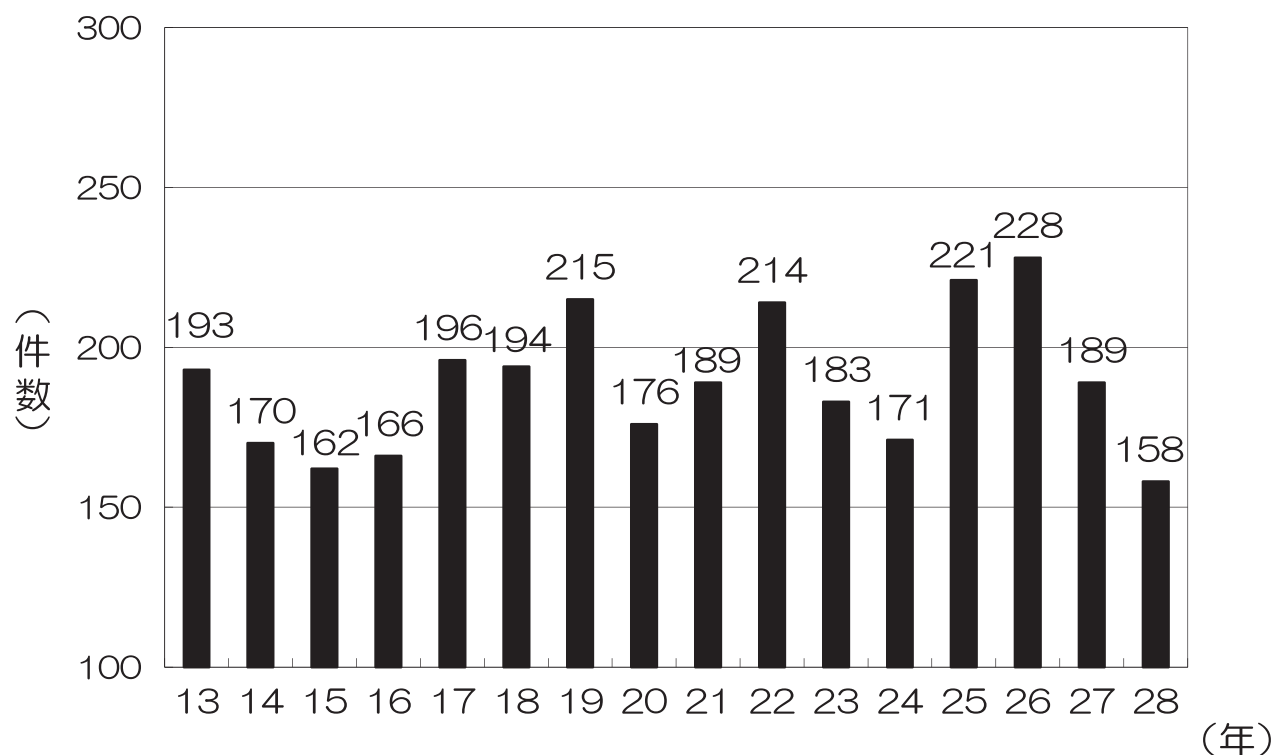
曜日別事故種別救助出場件数

事故種別 曜日別	火災		交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
	建物火災	その（建物以外）火災									
月	1	4	8							9	22
火	4	2	11	1						9	27
水	4	1	4	1						7	17
木	3	1	9			1		1		7	22
金	8	2	4							10	24
土	7	2	5							13	27
日	5		3							11	19
合 計	32	12	44	2	0	1	0	1	0	66	158

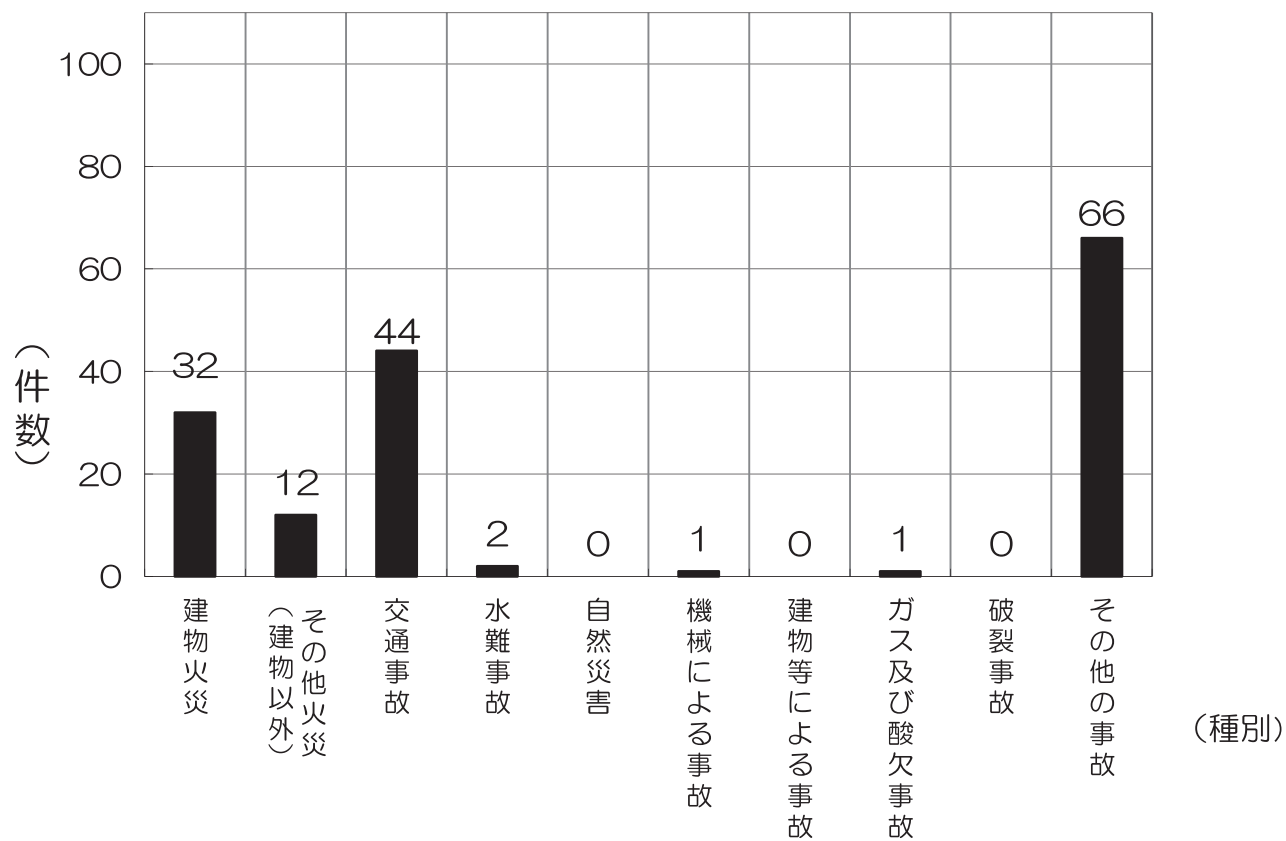
時間別事故種別救助出場件数

事故種別 曜日別	火災		交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
	建物火災	その他（建物以外）火災									
0～2	2	1	4							4	11
2～4	1									2	3
4～6	2	1	2							3	8
6～8	1		5							3	9
8～10	1	2	6			1				8	18
10～12	5		3							10	18
12～14	7	2	2							8	19
14～16	1		3							5	9
16～18	4	4	7	2						7	24
18～20	1		6					1		7	15
20～22	3	1	5							4	13
22～24	4	1	1							5	11
合 計	32	12	44	2	0	1	0	1	0	66	158

救助出場件数の年別比較



事故種別救助出場件数



7

予 防

- 予防行政の概要
- 指定防火対象物状況
- 指定防火対象物階層状況
- 建築同意棟数状況
- 建築同意した棟数及び面積
- 防火対象物予防査察実施状況
- 消防用設備等設置状況
- 各種届出検査・願出調査等処理状況
- 危険物施設年度別・部署別事務処理状況
- 危険物施設市町別設置状況
- 危険物施設年度別・部署別設置状況
- 危険物製造所等部署別査察実施状況
- 防火管理者資格付与新規講習会及び再講習会実施状況
- 幼年消防クラブの目的
- 女性防火クラブの目的
- 幼年消防・女性防火クラブの現況

予 防 行 政 の 概 要

1 防火対象物の現況

甲府地区広域行政圏域の建築物は、都市化の進展や生活様式の多様化などにより複雑化、大規模化の傾向を強めており、特に複合用途の高層建築物、大型小売店舗及び社会福祉施設、更には高層の共同住宅等が増加しています。

こうした現況下、建築同意事務においては住民が安全で安心して暮らせるよう、設計の段階から完成までを一貫した指導に努めています。

なお、圏域内の指定防火対象物の総数は、平成29年3月31日現在で10,593対象物となっており、年々増加しています。

2 査察執行及び強化と違反処理体制の強化

管内の指定防火対象物は、前年度に比べ21対象物が増え、増加の一途をたどっております。こうした中、予防行政に期待する住民ニーズに corres 応するべく火災予防査察規程を改正し、消防隊が指定防火対象物の立入検査を実施するなど査察執行体制を強化し、効率的・効果的な立入検査を実施しています。

違反処理については、消防法令違反に対する迅速な違反是正が行えるよう、これまでの火災予防違反処理規程を消防対象物違反処理規程及び危険物施設等違反処理規程に改正しました。これらの規程に基づき、繰り返しの法令違反や悪質な違反に対しては、厳正な措置と違反是正を履行させることにより、違反対象物の絶無に努めています。また、当消防本部として、消防法違反に対する取組に全力を注ぐため、平成28年4月から消防本部予防課に違反是正係を新設し更なる違反処理体制の強化を図っています。

3 防火対象物に係る表示制度について

平成24年5月に発生した広島県福山市のホテル火災を受けて、火災被害の拡大防止対策として、平成26年4月に甲府地区広域行政事務組合消防本部防火基準適合表示要綱を制定し、「防火対象物に係る表示制度」の運用を開始しました。

この制度は、消防法令や建築基準法令に定められた防火・防災上一定の基準に適合している一定規模以上のホテル・旅館等であれば消防機関が交付する「表示マーク」を掲出できるものです。

当本部では、この制度を通じて、ホテル・旅館等の利用者に対して防火基準の適合性について情報提供し、ホテル・旅館等の防火・

防災安全対策の徹底を図っていきます。

4 小規模複合用途ビルにおける避難訓練等の推進

防火対象物の利用形態が複雑多様化する中、小規模複合用途ビル内はニーズに合わせ頻繁に改築・用途変更等が行われていることを踏まえ、違反是正の徹底は勿論のこと、初期消火、通報及び避難誘導と災害時における初動体制の強化を図り、防火管理体制の向上を推進しています。

5 住宅防火対策の推進

消防法及び甲府地区広域行政事務組合火災予防条例の一部改正により、平成23年6月1日から全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化となりましたが、まだ未設置の住宅も多くあるため、義務化以後についても、地域に密着した自治会連合会や消防団及び女性防火クラブの協力を得て設置普及と、既に設置済みの住宅に対しては、維持管理の広報に取り組んでいます。

6 危険物の規制事務

近年、危険物施設の老朽化が進んでおり全国的に危険物の漏洩・流出事故が増加傾向にあり、当本部管内の危険物施設も漏洩・流出等による環境汚染等が心配されるなか、最近の消防法の改正等に伴う地下貯蔵タンク等の更新を指導しており、危険物施設の事故を未然に防止するため、危険物の保安の確保を積極的に推進しております。

また、危険物施設で起きる事故の原因に取扱作業の誤りがあります。人為的な取扱いが原因の事故を無くすために、危険物施設の立入検査等を積極的に行い、危険物の適正な貯蔵・取扱いを啓発するとともに、違反事項があった場合は是正改修等を徹底指導しております。

指定防火対象物状況

平成29年 3月31日現在

項目 消防法施行令別表第一 項別			指定防火対象物				防火管理者を必要とする対象物			
			合計	中央署	南署	西署	合計	中央署	南署	西署
合 計			10,593	3,160	4,884	2,549	2,808	992	1,267	549
(1)	イ	劇場、映画館、観覧場	14	2	11	1	7	1	5	1
	ロ	公会堂、集会場	96	26	53	17	91	23	49	19
(2)	イ	キャバレー、カフェー類	4	3	1		3	1	2	
	ロ	遊技場、ダンスホール	34	5	20	9	29	4	21	4
	ハ	性風俗関連営業の店舗	0				0			
	ニ	カラオケボックス等	13	6	4	3	12	5	5	2
(3)	イ	待合、料理店類	10	7	1	2	9	7	1	1
	ロ	飲食店	373	109	180	84	297	92	152	53
(4)		百貨店、物品販売店舗	754	163	396	195	474	97	299	78
(5)	イ	旅館、ホテル類	93	64	18	11	56	33	16	7
	ロ	寄宿舍、共同住宅	3,767	1,128	1,595	1,044	236	67	127	42
(6)	イ	病院、診療所、助産所	256	86	104	66	81	27	37	17
	ロ	老人・児童福祉施設類	174	31	87	56	128	26	57	45
	ハ	老人デイサービス類	232	70	96	66	150	38	68	44
	ニ	幼稚園、特別支援学校	64	26	17	21	28	13	6	9
(7)		小学校他各種学校類	471	206	147	118	143	56	56	31
(8)		図書館、博物館、美術館類	9	6	1	2	14	4	7	3
(9)	イ	蒸気・熱気浴場類	7	5		2	6	5		1
	ロ	一般公衆浴場	26	8	9	9	17	4	7	6
(10)		停車場、発着場	4	2	1	1	1	1		
(11)		神社、寺院、教会類	48	39	5	4	25	17	5	3
(12)	イ	工場、作業場	855	109	593	153	105	5	79	21
	ロ	映画・テレビスタジオ	3	1	2		1		1	
(13)	イ	自動車車庫、駐車場	148	80	50	18	6	1	4	1
	ロ	飛行機、回転翼機の格納庫	0				0			
(14)		倉庫	858	88	591	179	24		23	1
(15)		前各項に該当しない事業場	1,138	362	546	230	196	88	60	48
(16)	イ	複合用途〈特定〉	831	389	255	187	568	303	160	105
	ロ	複合用途〈非特定〉	280	117	98	65	95	68	20	7
(17)		重要文化財等建造物	21	12	3	6	6	6		
(18)		延長50m以上のアーケード	10	10			0			

指 定 防 火 対 象 物 階 層 状 況

平成29年 3月31日現在

項目 項 別		指定防火対象物数（棟別）						用途別及び階数別による指定防火対象物数（棟別）																	
		平成27年度		使用 開始 潜在	用途変更等		平成28年度 末 現 在	地 下 階			地 上 階														
		末 現 在			増加	減少		3	2	1	1	2	3	4	5階未満 小 計	5	6	7	8	9	10	11階 以上	5階以上 小 計	合 計	
(1)	イ	14					14			1	1	9	1	3	14										14
	ロ	95	7		1	7	96			5	58	23	9	3	93	2						1	3		96
(2)	イ	5				1	4			1	1	2		1	4										4
	ロ	39					34			1	5	28	1		34										34
	ハ																								
	ニ	14					13				2	9	1	1	13										13
(3)	イ	10					10			1	1	4	4	1	10										10
	ロ	371	6		4	8	373			11	194	122	45	8	369	3	1						4		373
(4)		749	24		3	22	754	2		6	470	221	41	11	743	7	2	1		1			11		754
(5)	イ	96				3	93		1	21	6	31	12	12	61	6	9	1	5	2	6	3	32		93
	ロ	3,754	21		2	10	3,767			21	30	2,626	698	205	3,559	91	36	25	18	5	9	24	208		3,767
(6)	イ	250	10		2	6	256			14	52	134	39	16	241	7	1	4			3		15		256
	ロ	169	4	1			174			5	59	81	22	8	170	3	1						4		174
	ハ	225	8		3	4	232			1	86	128	11	4	229	3							3		232
	ニ	66			1	3	64				26	36	2		64										64
(7)		469	3			1	471			20	112	155	125	46	438	20	9	1	2			1	33		471
(8)		9					9			2	4	3	2		9										9
(9)	イ	6	1				7				1	1	1	4	7										7
	ロ	25			1		26			1	6	18	2		26										26
(10)		4					4			1		3	1		4										4
(11)		46	1		1		48			5	19	23	3	3	48										48
(12)	イ	864	11		5	25	855			7	350	424	62	13	849	4	1		1				6		855
	ロ	3					3				1	1	1		3										3
(13)	イ	146	2		1	1	148			3	107	29	4	4	144	2			1	1			4		148
	ロ																								
(14)		862	6		7	17	858			4	467	334	50	6	857	1							1		858
(15)		1,135	10	1	14	22	1,138		4	86	192	520	236	88	1,036	31	35	17	10	6	3		102		1,138
(16)	イ	854	2	1	11	37	831		3	61	58	355	212	110	735	44	23	13	7	6	1	2	96		831
	ロ	261	1		20	2	280			8	16	102	95	33	246	17	8	5	2	1	1		34		280
(17)		21					21			2	15	5	1		21										21
(18)		10					10				10				10										10
合 計		10,572	117	3	76	175	10,593	2	8	288	2,349	5,427	1,681	580	10,037	241	126	67	46	22	23	31	556		10,593

建築同意棟数状況

平成28年4月1日～平成29年3月31日

処 理 別 消防法施行令別表第一 項別		同意棟数					不同意棟数				
		合計	新築	増築	改築	用 途 変更他	合計	新築	増築	改築	用 途 変更他
合 計		711	678	15	1	17					
(1)	イ 劇場、映画館、観覧場										
	□ 公会堂、集会場	13	13								
(2)	イ キャバレー、カフェー類										
	□ 遊技場、ダンスホール										
	ハ 性風俗関連営業の店舗										
	ニ カラオケボックス等										
(3)	イ 待合、料理店類										
	□ 飲食店	9	7			2					
(4)	百貨店、物品販売店舗	35	35								
(5)	イ 旅館、ホテル類										
	□ 寄宿舍、共同住宅	36	35			1					
(6)	イ 病院、診療所、助産所	15	15								
	□ 老人・児童福祉施設類	6	6								
	ハ 老人デイサービス類	13	8	1		4					
	ニ 幼稚園、特別支援学校	1				1					
(7)	小学校他各種学校類	11	9	2							
(8)	図書館、博物館、美術館類										
(9)	イ 蒸気・熱気浴場類	1	1								
	□ 一般公衆浴場	1	1								
(10)	停車場、発着場										
(11)	神社、寺院、教会類	4	4								
(12)	イ 工場、作業場	19	17	2							
	□ 映画・テレビスタジオ										
(13)	イ 自動車車庫、駐車場	49	49								
	□ 飛行機、回転翼機の格納庫										
(14)	倉庫	56	53			3					
(15)	前各項に該当しない事業場	172	162	6	1	3					
(16)	イ 複合用途〈特定〉	18	13	2		3					
	□ 複合用途〈非特定〉	9	8	1							
(17)	重要文化財等建造物										
(18)	延長50m以上のアーケード										
住宅・その他		243	242	1							

建築同意した棟数及び面積

平成28年4月1日～平成29年3月31日

年 度 別 消防法施行令別表第一 項別			平成28年度		平成27年度		平成26年度	
			棟数	面積 (㎡)	棟数	面積 (㎡)	棟数	面積 (㎡)
合 計			711	227,213	715	220,208	886	346,852
(1)	イ	劇場、映画館、観覧場					1	953
	ロ	公会堂、集会場	13	2,649	9	1,171	10	1,798
(2)	イ	キャバレー、カフェー類						
	ロ	遊技場、ダンスホール						
	ハ	性風俗関連営業の店舗						
	ニ	カラオケボックス等			1	927		
(3)	イ	待合、料理店類			1	73		
	ロ	飲食店	9	1,619	11	1,785	14	3,017
(4)		百貨店、物品販売店舗	35	19,831	49	24,094	53	45,118
(5)	イ	旅館、ホテル類					1	192
	ロ	寄宿舍、共同住宅	36	23,988	29	37,447	27	14,652
(6)	イ	病院、診療所、助産所	15	10,166	7	22,592	17	50,164
	ロ	老人・児童福祉施設類	6	3,490	7	4,767	13	11,514
	ハ	老人デイサービス類	13	4,783	13	4,546	17	5,616
	ニ	幼稚園、特別支援学校	1	107			2	464
(7)		小学校他各種学校類	11	3,978	10	14,223	13	14,116
(8)		図書館、博物館、美術館類						
(9)	イ	蒸気・熱気浴場類	1	71				
	ロ	一般公衆浴場	1	757				
(10)		停車場、発着場						
(11)		神社、寺院、教会類	4	452	10	1,465	6	721
(12)	イ	工場、作業場	19	17,856	21	8,466	15	41,988
	ロ	映画・テレビスタジオ						
(13)	イ	自動車車庫、駐車場	49	1,942	26	4,261	60	2,367
	ロ	飛行機、回転翼機の格納庫						
(14)		倉庫	56	9,154	86	21,944	118	22,396
(15)		前各項に該当しない事業場	172	23,610	229	19,322	255	25,480
(16)	イ	複合用途〈特定〉	18	49,378	17	7,577	13	30,972
	ロ	複合用途〈非特定〉	9	2,547	2	410	17	25,606
(17)		重要文化財等建造物						
(18)		延長50m以上のアーケード			3		1	
住宅・その他			243	50,835	184	45,138	233	49,718

防火対象物予防査察実施状況

平成28年4月1日～平成29年3月31日

項目 査察区分	対象物総数	実施数	査察執行基準
合 計	10,593	3,169	
甲種査察対象物	173	194	1年に1回
乙種査察対象物	752	392	2年に1回
丙種査察対象物	1,421	395	3年に1回
その他査察対象物	8,247	2,188	4年に1回

消防用設備等設置状況

平成29年3月31日現在

消防法施行令別表第一 項別 設備名称			屋内 消火栓 設備	ス プ リ ン ク ー ラ ー 設 備	水 噴 霧 消 火 設 備 等	屋 外 消 火 栓 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	避 難 器 具	誘 導 灯	排 煙 設 備	連 結 送 水 管	非 常 コ ン セ ン ト 設 備
合 計			732	221	144	92	4,058	1,041	3,275	18	205	30
(1)	イ	劇場、映画館、観覧場	2	1	1	1	3	1	4	1		
	ロ	公会堂、集会場	17	2	2		62	13	86	1	1	1
(2)	イ	キャバレー、カフェー類					4	1	5			
	ロ	遊技場、ダンスホール	9	1	1		33	6	34		1	
	ハ	性風俗関連営業の店舗										
	ニ	カラオケボックス等					14	7	15			
(3)	イ	待合、料理店類	2				7	3	8			
	ロ	飲食店	4			1	150	59	302			
(4)		百貨店、物品販売店舗	54	24	18	1	419	31	663	10	7	
(5)	イ	旅館、ホテル類	25	4	5	1	104	53	91		23	3
	ロ	寄宿舎、共同住宅	15	1	8		391	339	72		68	21
(6)	イ	病院、診療所、助産所	24	12	3	2	149	26	231		13	2
	ロ	老人・児童福祉施設類	6	132	3	1	148	34	147			
	ハ	老人デイサービス類	9	4	1		175	57	201			
	ニ	幼稚園、特別支援学校	9				44	20	49			
(7)		小学校他各種学校類	223		1	2	345	86	114		12	1
(8)		図書館、博物館、美術館類	6			2	12		13			
(9)	イ	蒸気・熱気浴場類					5	4	7			
	ロ	一般公衆浴場	1				7	2	13			
(10)		停車場、発着場	1				1	1	1			
(11)		神社、寺院、教会類	12				9	3	13			
(12)	イ	工場、作業場	147		15	49	424	9	158		6	
	ロ	映画、テレビスタジオ	1				2	2	2			
(13)	イ	自動車車庫、駐車場			42		28	1	20		3	
	ロ	飛行機、回転翼機の格納庫										
(14)		倉庫	47		3	10	276		97			
(15)		前各項に該当しない事業場	85		18	8	401	85	362		40	
(16)	イ	複合用途〈特定〉	25	40	17	7	677	180	511	6	18	
	ロ	複合用途〈非特定〉	8		6	7	144	18	55		5	2
(17)		重要文化財等建造物					24		1			
(18)		延長50m以上のアーケード									8	

各種届出検査・願出調査等処理状況

項 目		年 度 別 件 数		
		平成28年度	平成27年度	平成26年度
届 出	工事整備対象設備等着工届	263	256	253
	消防用設備等設置届	497	511	577
	防火対象物使用開始届	207	210	209
	防火管理者選任又は解任届	1,001	1,158	955
	消防計画届	694	780	693
	消防用設備等点検結果報告書	3,956	3,764	3,713
	圧縮アセチレンガス、液化石油ガス貯蔵又は取扱い開始届	106	92	70
	熱風炉設置届	8	7	1
	多量の可燃性ガス又は蒸気を発生する炉又はかまど設置届			1
	上記以外の据え付け面積2㎡以上の炉又はかまど設置届	2	1	
	入力の合計が350キロワット以上の厨房設備設置届	1		
	入力70キロワット以上の温風暖房機設置届		2	14
	ボイラー又は入力70キロワット以上の給湯湯沸設備設置届	31	44	49
	燃料電池発電設備設置届			1
	乾燥設備設置届	5	13	6
	サウナ設備設置届	1		
	入力70キロワット以上のヒートポンプ又は冷暖房設備設置届	3	1	3
	火花を生ずる設備設置届			1
	放電加工機設置届		1	
	高圧又は特別高圧の変電設備設置届	63	51	61
	内燃機関による発電設備設置届	11	19	22
	屋内に設ける蓄電池設備設置届	52	14	26
	設備容量2KVA以上のネオン管設備設置届			
	水素ガスを充填する気球の設置届			
	指定数量未満の危険物の貯蔵又は取扱い（開始届）	33	17	45
	指定数量未満の危険物の貯蔵又は取扱い（廃止届）	32	12	34
	指定可燃物の貯蔵又は取扱い届		3	1
検 査 等	旅館の営業許可に伴う照会検査	8	3	2
	液化石油ガス販売事業許可に伴う意見書交付申請検査			
	防災表示者登録申請調査			
	建築物工事状況中間検査・現地調査等	125	117	230
	無確認建物調査			
願 出 調 査	火災の発生危険に伴う調査			
	建築物にかかる調査			
	危険物にかかる調査			
	その他願出に基づく調査			

危険物施設年度別・部署別事務処理状況

平成28年4月1日～平成29年3月31日

申請・届出種別		部署別	合 計	本 部	中 央 署	南 署	西 署
平成26年度			567	225	22	241	79
平成27年度			555	226	15	272	42
平成28年度			649	222	24	366	37
危険物製造所等	設置許可		10	6	1	2	1
	設置完成検査		11	6	1	3	1
	変更許可		125	43	2	76	4
	変更完成許可		119	37	2	76	4
	完成検査前検査	基礎地盤検査					
		溶接部検査					
		水圧検査	2	2			
		水張検査	4			4	
	保安検査						
	仮使用承認		117	40		74	3
	仮貯蔵・仮取扱承認		11	2		6	3
	予防規程		15	13		2	
	完成検査済証等再交付		2			2	
	譲渡引渡		23	3	8	9	3
	品名数量変更		6		2	4	
	廃止		14	2	3	5	4
	危険物保安監督者選任		63	22	3	33	5
	危険物保安監督者解任		57	21	2	31	3
	軽微な変更等		70	25		39	6
	取下げ願						

危険物施設市町別設置状況

平成29年3月31日現在

市 町 名 区 分		合 計	甲 府 市	甲 斐 市	中 央 市	昭 和 町	
危険物施設保有事業所数		459	306	67	47	39	
合 計		737	429	103	148	57	
製 造 所		4			4		
貯 蔵 所	小 計		473	276	67	103	27
	屋内貯蔵所		91	47	5	27	12
	屋外タンク貯蔵所		41	22	7	12	
	屋内タンク貯蔵所		15	8	3	2	2
	地下タンク貯蔵所		206	138	23	33	12
	簡易タンク貯蔵所						
	移動タンク貯蔵所		110	52	28	29	1
	屋外貯蔵所		10	9	1		
取 扱 所	小 計		260	153	36	41	30
	給油取扱所	営業用	95	62	15	10	8
		自家用	50	23	11	8	8
	第一種販売取扱所		3	3			
	第二種販売取扱所		1	1			
	移送取扱所						
	一般取扱所		111	64	10	23	14

危険物施設年度別・部署別設置状況

平成29年3月31日現在

区 分		平 成 28 年 度					平成 27 年 度	平成 26 年 度	
		総 数	本 部	中 央 署	南 署	西 署			
危 険 物 施 設 保 有 事 業 所 数		459	128	89	180	62	460	460	
合 計		737	265	107	296	69	742	745	
製 造 所		4			4		4	4	
貯 蔵 所	小 計		473	152	83	193	45	481	484
	屋 内 貯 蔵 所		91	9	8	69	5	95	95
	屋外タンク貯蔵所		41	15	1	24	1	41	43
	屋内タンク貯蔵所		15		5	7	3	15	17
	地下タンク貯蔵所		206	11	69	91	35	212	215
	簡易タンク貯蔵所								
	移動タンク貯蔵所		110	110				108	104
	屋 外 貯 蔵 所		10	7		2	1	10	10
取 扱 所	小 計		260	113	24	99	24	257	257
	給油取扱所	営業用	95	95				95	97
		自家用	50		2	35	13	50	50
	第一種販売取扱所		3		2	1		4	4
	第二種販売取扱所		1			1			
	移 送 取 扱 所								
	一 般 取 扱 所		111	18	20	62	11	108	106

危険物製造所等部署別査察実施状況

平成28年4月1日～平成29年3月31日

製造所等別 区 分		合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所
合 計	危険物 施設数	737	4	91	41	15	206		110	10	145	3	1		111
	査察数	363	1	40	32	3	76		31	9	130	1			40
本 部	危険物 施設数	265		9	15		11		110	7	95				18
	査察数	158		2	9		3		31	6	102				5
中 央 署	危険物 施設数	107		8	1	5	69				2	2			20
	査察数	58		8	1	3	34				2	1			9
南 署	危険物 施設数	296	4	69	24	7	91			2	35	1	1		62
	査察数	101	1	25	22		14			1	15				23
西 署	危険物 施設数	69		5	1	3	35			1	13				11
	査察数	46		5			25			2	11				3

防火管理者資格付与新規講習会及び再講習会実施状況

消防法施行令第3条第1項第1号及び第2号に規定する防火対象物において防火管理上必要な業務を適切に遂行することができる管理的または監督的な地位にある者を対象に講習会を実施している。

平成29年3月31日現在

年度 \ 種別	甲種防火管理 講習修了者数 (人)	乙種防火管理 講習修了者数 (人)	甲種防火管理 再講習受講者数 (人)
合 計	14,741	166	422
平成28年度	247		27
平成27年度	221		37
平成26年度	274	40	28
平成25年度	284		29
平成24年度	268		30
平成23年度	200		83
平成22年度	283		
平成21年度	321		
平成20年度	346		36
平成19年度	372		52
平成18年度	318		100
平成17年度	284		
平成16年度	290		
平成15年度	329		
平成14年度	413		
平成13年度	320		
平成12年度	264		
平成11年度	285		
平成10年度以前	9,422	126	

幼年消防クラブの目的

火災の原因の中で、子供の火遊びによる火災が依然として多いことから幼年期において正しい火の取り扱いに対する「しつけ」と消防の仕事を理解することにより火遊びによる火災の撲滅を目的とする。

女性防火クラブの目的

地域における火災予防のため、家庭における火気取扱い責任者に位置づけられる主婦を対象に、火災予防の知識、火を使用する器具等の安全な取り扱い、初期消火訓練、救急講習及びイベントなどの広報活動を行い、安全安心な地域社会づくりを目指すことを目的とする。

幼年消防・女性防火クラブの現況

幼年消防クラブ		女性防火クラブ	
クラブ数	クラブ員	クラブ数	クラブ員
72	6,397	4	81

8

通 信

- 通信指令業務の概要
- 通信系統図(平常時・非常時)
- 移動無線局配置表
- 携帯無線局配置表
- ふれあいペンダント通報システム図
- ふれあいペンダント(緊急通報装置)市町別設置状況
- ふれあいペンダント市町別受信状況
- 119番等受信状況
- 一般電話・IP電話・携帯電話別119番等受信状況
- 気象状況(山梨県中北地域)

通信指令業務の概要

通信指令業務は、地域住民が消防に助けを求める最初の窓口であることから、指令課職員は、常に１１９番通報の迅速、的確な受信と災害に即した迅速な出動指令を行うため、研鑽努力を重ねております。

1 緊急通報受信体制

１１９番通報のほか、一人暮らしの高齢者や要援護者の方からの通報手段としてふれあいペンダント（緊急通報システム）を、また聴覚や言語に障害のある方の通報手段として「ファックス１１９」、「メール１１９」を導入しています。

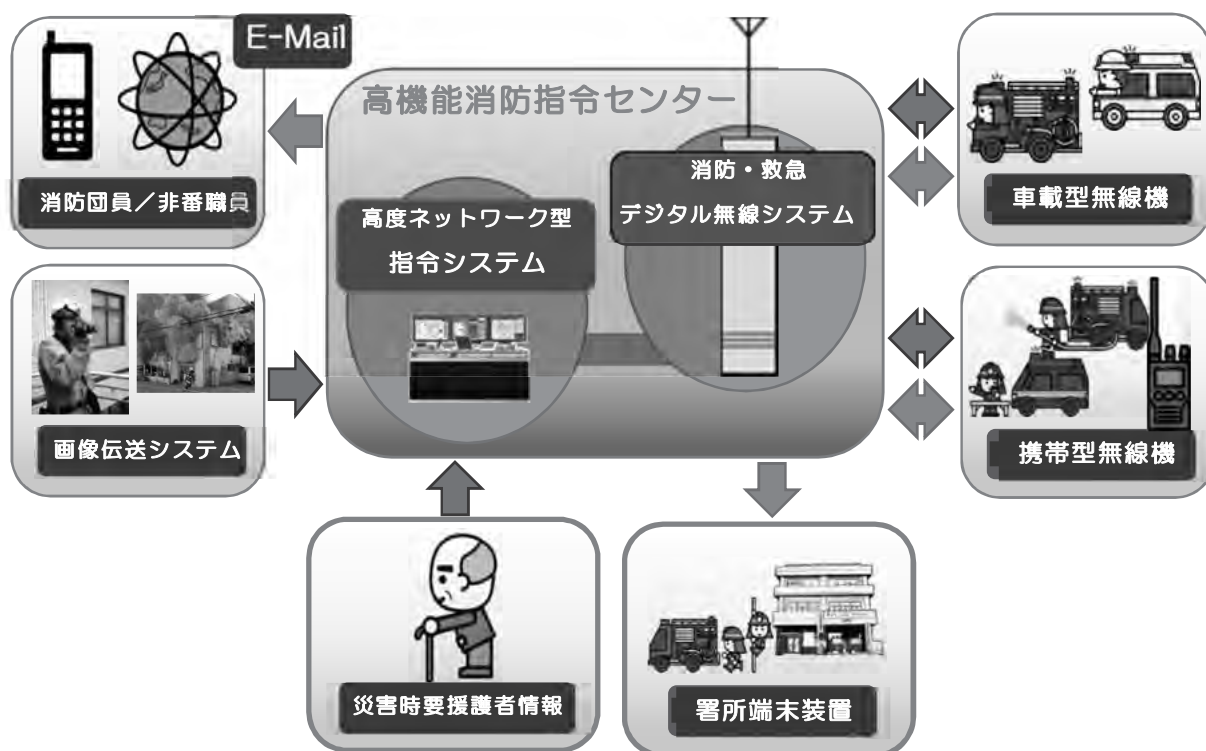
また、大規模災害等により消防庁舎等が被災し、消防指令センターで１１９番通報を受信できなくなった場合に備え、異なる場所に指令業務に最低限必要となる設備を有した仮設指令台を設置するとともに、富士五湖消防本部との間において１１９番通報の代替受信ができるよう相互に協定を結んでおります。

2 指令システム

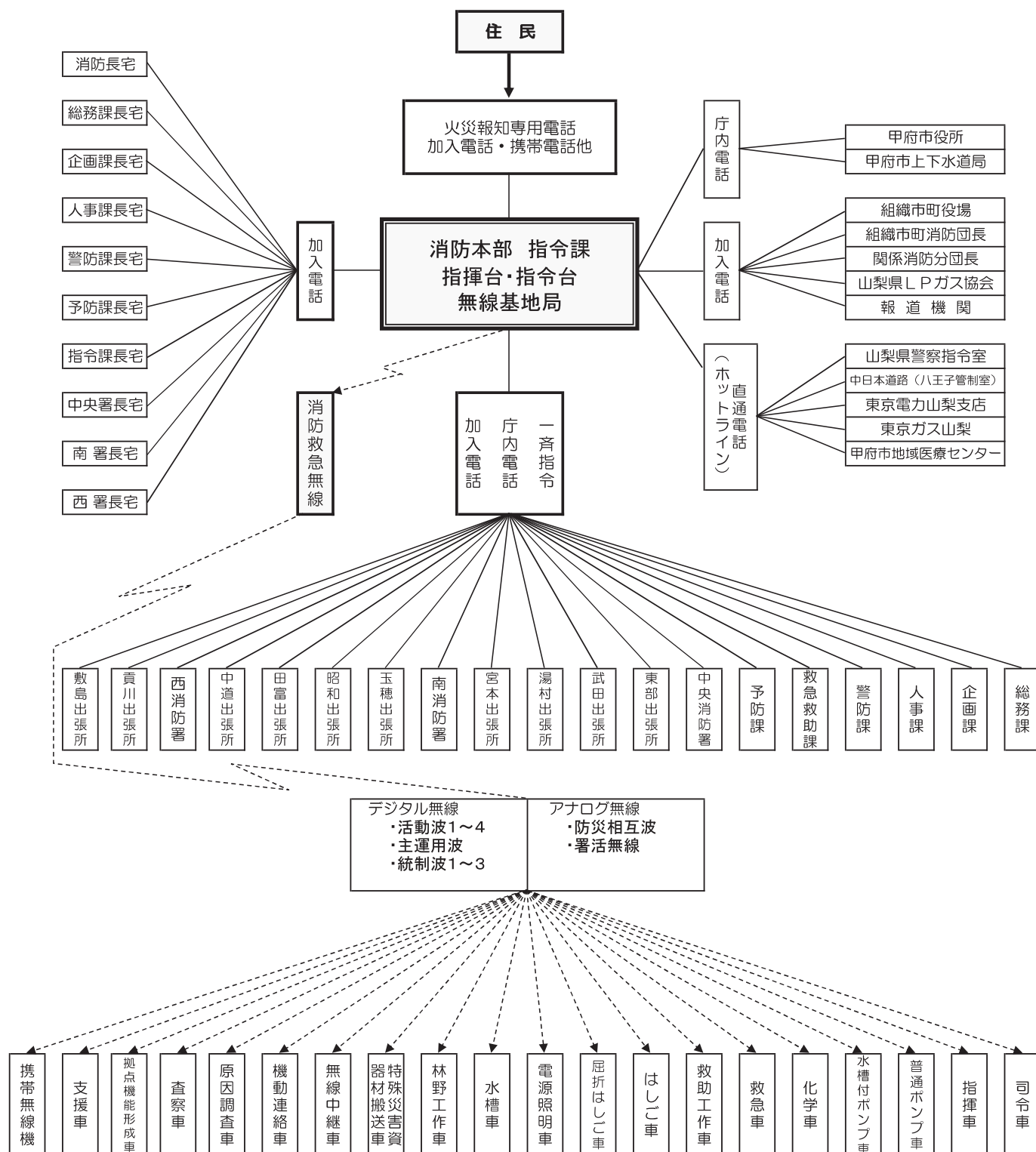
１１９番通報者からの聞き取りにより災害種別を決定し、高機能消防指令センターの「地図検索装置」、「発信地表示システム（統合型）」、「GPS を用いた直近上位出場システム」等を用いて出場場所の特定及び出場部隊の編成（自動編成）を迅速、正確に行った後、「音声合成装置」により自動的に出場指令を掛けます。

なお、消防救急無線は平成２６年３月にアナログ無線からデジタル無線に完全移行し、併せて高機能消防指令センターの改修を行い消防救急デジタル無線と高機能消防指令センターとの機能を接続、さらなる消防力の強化を図りました。

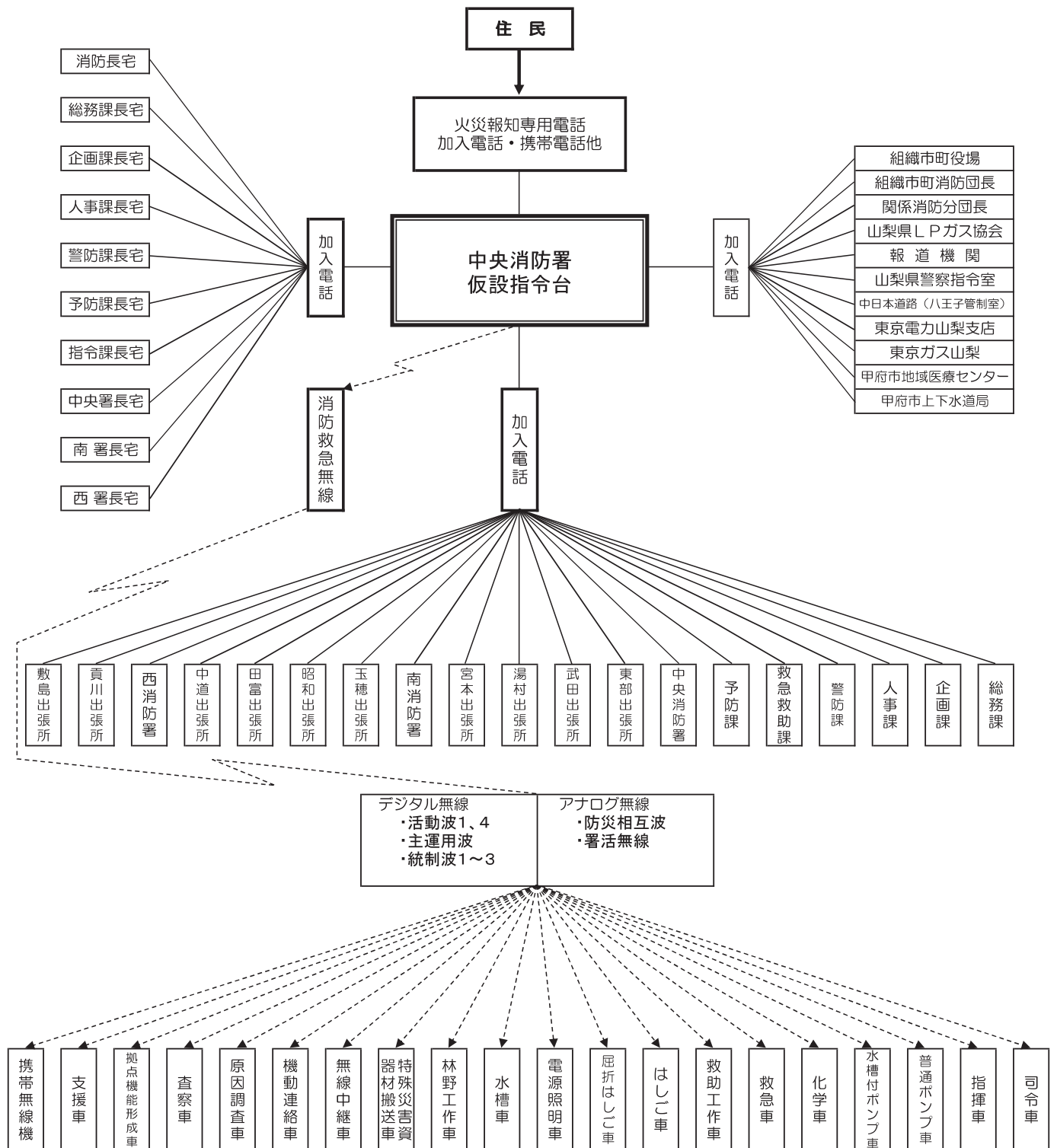
3 消防救急デジタル無線と高機能消防指令センターの接続



通 信 系 統 図 (平常時)



通 信 系 統 図（非常時）



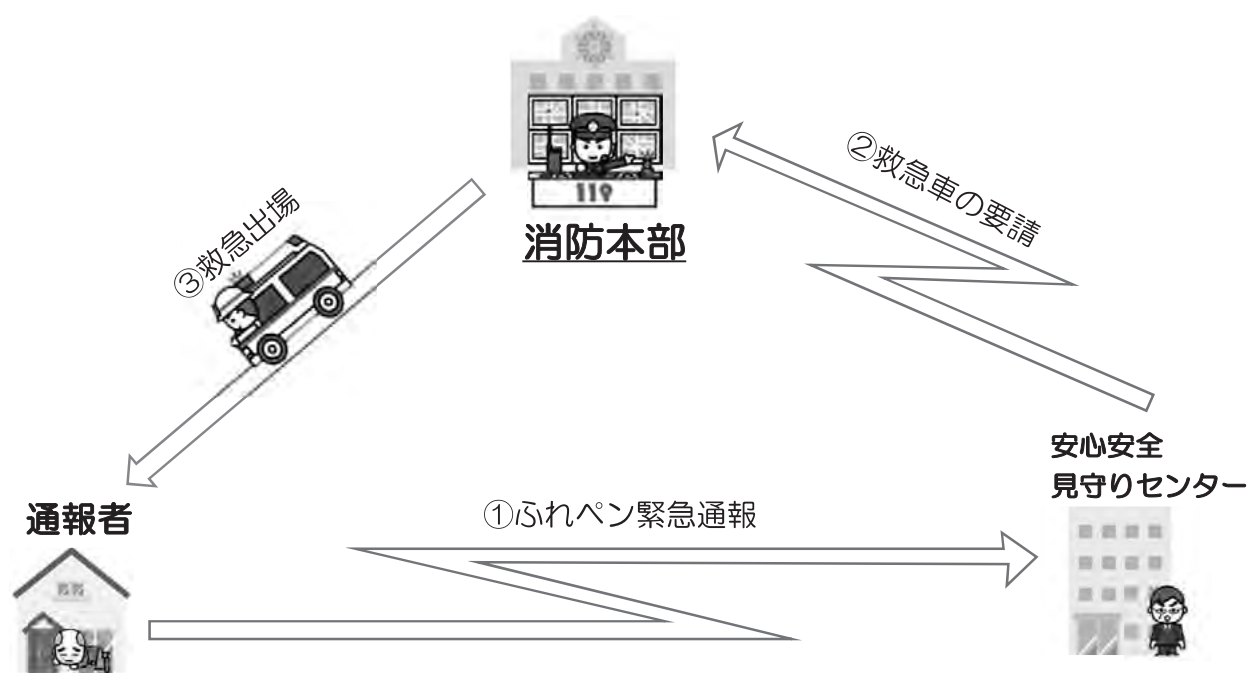
移動無線局 配置表

No.	車両名	呼称名	種別	電波型式		空中線電力 (w)	所 属
1	指揮隊車	こうふ けんしき1	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	消防本部
		こうふ けんしき2	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
2	支援車	こうふ しえん	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
3	本部指揮車	こうふ ほんぶしき	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
4	資機材搬送車	こうふ ほんぶしきしきざいはんそう	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
5	査察車	こうふ ほんぶささつ	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
6	本部原因調査車	こうふ ほんぶげんちょう	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
7	無線中継車	こうふ むせんちゅうけい1	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
8	機動連絡車	こうふ きどうれんらく	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5	
9	拠点機能形成車	こうふ きょてんけいせい1	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5	
10	連絡車	こうふ れんらく 1	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
11	連絡車	こうふ れんらく 2	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
12	消防団指揮車	こうふ しょうぼうだんしき	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	中央消防署
13	中央指揮車	こうふ ちゅうおうしき	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
14	中央水槽付ポンプ車	こうふ ちゅうおうすいそうつきほんぶ	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
15	中央ポンプ車	こうふ ちゅうおうほんぶ	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
16	中央救助工作車	こうふ ちゅうおうきゅうじょ	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
17	中央はしご車	こうふ ちゅうおうはしご	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
18	中央水そう車	こうふ ちゅうおうすいそう	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
19	中央司令車	こうふ ちゅうおうしれい1	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
20	中央救急車1	こうふ ちゅうおうきゅうきゅう1	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
21	中央救急車2	こうふ ちゅうおうきゅうきゅう2	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
22	東部ポンプ車	こうふ とうぶほんぶ	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	南消防署
23	東部救急車	こうふ とうぶきゅうきゅう	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
24	武田ポンプ車	こうふ たけだほんぶ	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
25	湯村ポンプ車	こうふ ゆむらほんぶ	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
26	湯村林野火災工作車	こうふ りんやこうさく	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
27	宮本ポンプ車	こうふ みやもとほんぶ	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
28	南指揮車	こうふ みなみしき	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
29	南化学車	こうふ みなみかがく	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
30	南ポンプ車	こうふ みなみほんぶ	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
31	南高度救助工作車	こうふ みなみきゅうじょ	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
32	南特殊災害用資機材搬送車	こうふ みなみしきざいはんそう	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
33	南はしご車	こうふ みなみはしご	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	西消防署
34	南水そう車	こうふ みなみすいそう	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
35	南司令車	こうふ みなみしれい1	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
36	南電源照明車	こうふ みなみでんげんしょうめい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
37	南救急車1	こうふ みなみきゅうきゅう1	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
38	南救急車2	こうふ みなみきゅうきゅう2	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
39	田富ポンプ車	こうふ たとみほんぶ	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
40	田富救急車	こうふ たとみきゅうきゅう	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
41	昭和ポンプ車	こうふ しょうわほんぶ	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
42	昭和救急車	こうふ しょうわきゅうきゅう	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
43	玉穂ポンプ車	こうふ たまほほんぶ	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
44	玉穂救急車	こうふ たまほきゅうきゅう	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	西消防署
45	中道ポンプ車	こうふ なかみちほんぶ	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
46	中道救急車	こうふ なかみちきゅうきゅう	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
47	西指揮車	こうふ にししき	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
48	西ポンプ車	こうふ にしほんぶ	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
49	西化学車	こうふ にしかがく	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
50	西救助工作車	こうふ にしきゅうじょ	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
51	西はしご車	こうふ にしはしご	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
52	西水そう車	こうふ にしすいそう	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
53	西司令車	こうふ にししれい1	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
54	西救急車1	こうふ にしきゅうきゅう1	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
55	西救急車2	こうふ にしきゅうきゅう2	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
56	予備ポンプ車	こうふ よびほんぶ	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	西消防署
57	敷島ポンプ車	こうふ しきしまほんぶ	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
58	敷島救急車	こうふ しきしまきゅうきゅう	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	
59	貢川ポンプ車	こうふ ぐがわほんぶ	移動局	5K80G1D	5K80G1E	10	

携帯無線局 配置表

No.	呼称名	種別	電波型式		空中線電力 (w)	所 属
1	こうふ しょうぼうちょうけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	指 令 課
2	こうふ けんしきけいたい 1	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	指 令 課
3	こうふ けんしきけいたい 2	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	指 令 課
4	こうふ しえんけいたい 1	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	指 令 課
5	こうふ しえんけいたい 2	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	指 令 課
6	こうふ ほんぶしきけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	指 令 課
7	こうふ ほんぶけいたい 1	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	指 令 課
8	こうふ ほんぶけいたい 2	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	指 令 課
9	こうふ ほんぶけいたい 3	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	指 令 課
10	こうふ ほんぶけいたい 4	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	指 令 課
11	こうふ ほんぶけいたい 5	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	指 令 課
12	こうふ ほんぶけいたい 6	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	指 令 課
13	こうふ ほんぶけいたい 7	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	指 令 課
14	こうふ ほんぶけいたい 8	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	指 令 課
15	こうふ ほんぶけいたい 9	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	指 令 課
16	こうふ ちゅうおうしきけいたい 1	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	中央消 防 署
17	こうふ ちゅうおうしきけいたい 2	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	中央消 防 署
18	こうふ ちゅうおうすいそうつぎほんぶけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	中央消 防 署
19	こうふ ちゅうおうほんぶけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	中央消 防 署
20	こうふ ちゅうおうきゅうじょけいたい 1	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	中央消 防 署
21	こうふ ちゅうおうきゅうじょけいたい 2	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	中央消 防 署
22	こうふ ちゅうおうはしごけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	中央消 防 署
23	こうふ ちゅうおうすいそうけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	中央消 防 署
24	こうふ ちゅうおうきゅうきゅうけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	中央消 防 署
25	こうふ とうぶほんぶけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	中央消 防 署
26	こうふ とうぶきゅうきゅうけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	中央消 防 署
27	こうふ たけだほんぶけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	中央消 防 署
28	こうふ ゆむらほんぶけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	中央消 防 署
29	こうふ みやもとほんぶけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	中央消 防 署
30	こうふ みなみしきけいたい 1	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	南 消 防 署
31	こうふ みなみしきけいたい 2	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	南 消 防 署
32	こうふ みなみかがくけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	南 消 防 署
33	こうふ みなみほんぶけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	南 消 防 署
34	こうふ みなみきゅうじょけいたい 1	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	南 消 防 署
35	こうふ みなみきゅうじょけいたい 2	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	南 消 防 署
36	こうふ みなみしきざいけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	南 消 防 署
37	こうふ みなみはしごけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	南 消 防 署
38	こうふ みなみはしごけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	南 消 防 署
39	こうふ みなみすいそうけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	南 消 防 署
40	こうふ みなみでんげんしょうめいけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	南 消 防 署
41	こうふ みなみきゅうきゅうけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	南 消 防 署
42	こうふ たとみほんぶけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	南 消 防 署
43	こうふ たとみきゅうきゅうけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	南 消 防 署
44	こうふ しょうわほんぶけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	南 消 防 署
45	こうふ しょうわきゅうきゅうけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	南 消 防 署
46	こうふ たまほほんぶけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	南 消 防 署
47	こうふ なかみちほんぶけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	南 消 防 署
48	こうふ にししきけいたい 1	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	西 消 防 署
49	こうふ にししきけいたい 2	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	西 消 防 署
49	こうふ にしほんぶけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	西 消 防 署
50	こうふ にしかがくけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	西 消 防 署
51	こうふ にしきゅうじょけいたい 1	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	西 消 防 署
52	こうふ にしきゅうじょけいたい 2	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	西 消 防 署
53	こうふ にしはしごけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	西 消 防 署
54	こうふ にしすいそうけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	西 消 防 署
55	こうふ にしきゅうきゅうけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	西 消 防 署
56	こうふ しきしまほんぶけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	西 消 防 署
57	こうふ しきしまきゅうきゅうけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	西 消 防 署
58	こうふ くがわほんぶけいたい	移動局	5K80G1D	5K80G1E	5.0	西 消 防 署

ふれあいペンダント通報システム図



ふれあいペンダント（緊急通報装置）市町別設置状況

平成28年1月1日～平成28年12月31日

項 目 市町別	既 設 数	新 設 数	撤 去 数	現 有 数
甲 府 市	910	67	113	864
甲 斐 市	45	0	7	38
中 央 市	58	4	7	55
昭 和 町	42	7	7	42
合 計	1051	80	133	998

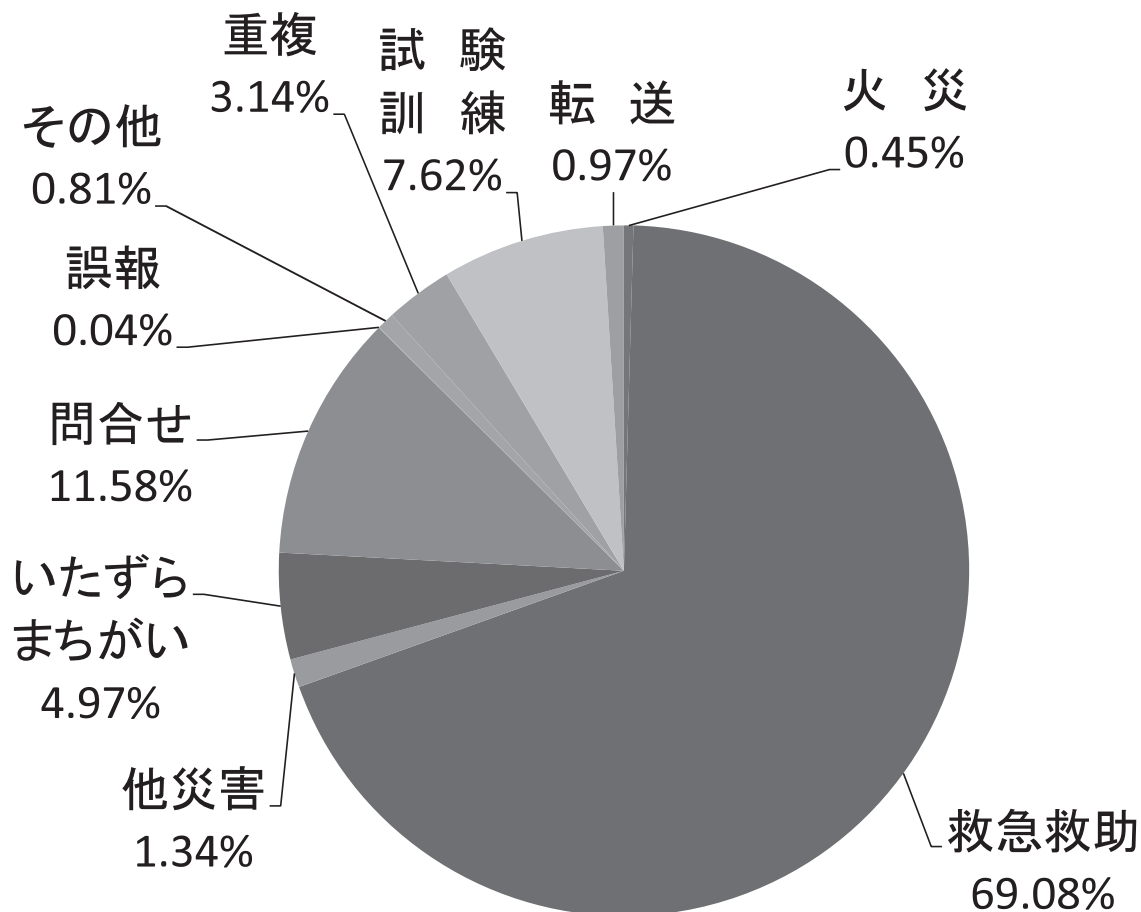
ふれあいペンダント市町別受信状況

平成28年1月1日～平成28年12月31日

項 目 市町別	緊 急 通 報			
	合 計	救 急	火 災	その他 (偵察・救助等)
甲 府 市	111	107	0	4
甲 斐 市	3	3	0	0
中 央 市	9	9	0	0
昭 和 町	14	14	0	0
合 計	137	133	0	4

通報合計	137
救急出動	133
火災出動	0
その他	4

119番等受信状況



平成28年1月1日～平成28年12月31日

月別 種別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総受信数	20,931 (1384)	1,913 (142)	1,687 (81)	1,641 (122)	1,679 (144)	1,654 (109)	1,655 (110)	1,776 (100)	1,818 (135)	1,697 (125)	1,728 (98)	1,768 (108)	1,915 (110)
火災	94	9	11	7	4	9	9	8	11	5	7	3	11
救急救助	14,459	1,361	1,161	1,173	1,156	1,114	1,124	1,222	1,250	1,140	1,174	1,221	1,363
他災害	280	24	21	23	24	15	26	20	26	27	16	23	35
いたずら まちがい	1,041	94	67	70	94	95	86	107	95	98	81	70	84
問合せ	2,424	272	214	185	168	182	159	204	248	194	197	193	208
誤報	8	1	0	1	0	3	0	0	3	0	0	0	0
その他	170	5	5	12	13	21	15	9	25	12	23	13	17
重複	658	59	43	49	58	51	58	77	49	35	64	61	54
試験 訓練	1,594	68	145	107	142	142	161	108	102	173	151	170	125
転送	203	20	20	14	20	22	17	21	9	13	15	14	18
1日平均	57.3	61.7	58.2	52.9	56.0	53.4	53.4	57.3	58.6	56.6	55.7	58.9	61.8

※ 火災・救急救助・他災害は重複通報も含みます。

※ 総受信数の（ ）は、固定電話・携帯電話からの119番通報以外の受信数

一般電話・ＩＰ電話・携帯電話別 １１９番等受信状況

平成２８年１月１日～平成２８年１２月３１日

種別	合計	固定電話		携帯電話	その他 (１１９番以外)
		一般電話	ＩＰ電話		
小 計		6,363 (30.4%)	4,221 (20.2%)	8,963 (42.8%)	1,384 (6.6%)
総受信数	20,931	19,547			1,384
火 災	94	22	15	51	6
救急救助	14,459	4,333	3,359	5,910	857
他災害	280	67	14	91	108
いたすら まちがい	1,041	257	133	576	75
問合せ	2,424	517	320	1,487	100
誤報	8	4	1	2	1
その他	170	43	10	81	36
重複	658	138	98	408	14
試験 訓練	1,594	973	262	173	186
転送	203	9	9	184	1

※ その他の欄は、固定電話・携帯電話からの１１９番通報以外の通報示す。

気 象 状 況（山梨県中北地域）

平成28年1月1日～平成28年12月31日

区 分 \ 月 別		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
天 候	晴	210	25	24	19	15	18	10	14	20	9	12	20	24
	曇	156	6	5	12	15	13	20	17	11	21	19	10	7
	雨	97	3	5	8	7	6	12	9	15	11	5	9	7
	降雨量（mm）	1125.0	56.5	50.0	79.5	93.5	54.0	66.5	75.5	231.5	210.5	63.5	62.5	81.5
	雪	13	3	5	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	最深積雪（cm）	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
気 温	最 高（℃）	38.5	15.5	24.1	22.9	27.9	32.4	33.5	38.2	38.5	34.5	32.7	21.0	17.3
	最 低（℃）	-7.4	-7.4	-3.8	-3.1	1.8	9.2	10.7	20.2	16.8	17.9	8.4	-0.4	-3.7
	平 均（℃）	15.7	3.2	5.4	9.4	15.4	20.3	22.6	26.3	27.1	24.2	18.2	10.3	5.9
湿 度	最 小（％）	5	15	12	9	6	5	13	25	24	35	25	17	11
	平 均（％）	63	58	54	58	58	57	64	68	69	75	69	69	59
特 別 警 報	大雨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	暴風	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
警 報	火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	暴風	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	暴風雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大雨	9	0	0	0	0	0	0	1	6	2	0	0	0
	洪水	9	0	0	0	0	0	0	1	6	2	0	0	0
	大雪	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
注 意 報	乾燥	16	1	3	1	3	4	1	0	0	0	0	0	3
	強風	22	2	4	0	4	0	0	1	2	1	2	2	4
	大雨	32	0	1	0	0	1	2	4	19	4	1	0	0
	雷	53	0	2	2	2	2	7	11	14	9	1	0	3
	洪水	31	0	1	0	0	0	2	4	19	4	1	0	0
	大雪	5	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	なだれ	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	着雪	4	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	霜	29	0	0	16	12	0	1	0	0	0	0	0	0
	濃霧	16	1	1	2	2	0	0	0	0	0	2	6	2
	低温	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	風雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	融雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	着氷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情 報 等	火災気象通報	126	22	24	16	12	17	8	1	5	0	1	8	12
	大雨情報	20	0	2	0	0	4	0	1	12	0	0	0	1
	大雪情報	15	9	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0
	台風情報	26	0	0	0	0	0	0	0	13	9	4	0	0
	高温注意情報	24	0	0	0	0	0	0	11	13	0	0	0	0
	竜巻注意情報	10	0	0	0	1	0	2	4	3	0	0	0	0
	地震情報	19	0	2	0	2	1	1	4	2	2	1	3	1
風 速	最大瞬間風速	北西27.7	北18.1	北北西19.2	北西19.8	北北西21.3	北北西17.8	北西15.5	北西27.7	東20.1	南西12.4	西北西16.1	北北西20.6	北北西22.4
	風速10m/s以上の日数	25	1	4	2	5	2	0	1	0	0	1	2	7

※甲府地方気象台 データ参照

天候については以下の分類方法に従い日数を記入

晴れ	日平均雲量10分比で8.5未満の日数
曇	日平均雲量10分比で8.5以上の日数
雨	日降水量1mm以上あった日の日数
雪	雪日数に数えられる大気現象（雪、みぞれ、霧雪、細氷、ふぶき）が観測された日数

年の値：気温、湿度の平均は年間の平均値。天候の最深積雪、気温の最高(最低)、湿度の最小、風速の最大瞬間風速はその年の最大(小)値。その他の項目は合計値
月最深積雪：積雪計による観測値中の月最大値。0は1cm未満、－は積雪なし。

火災気象通報は、中・西部のみに発表された日数。

地震情報については気象庁震度観測点（甲府市飯田）で、震度1以上の震度観測回数。

9

消 防 団

- 消防団の概要
- 消防団員年齢構成
- 消防団員数及び機械一覧表
- 消防団員教養
- 消防ポンプ自動車性能一覧表
- 小型動力ポンプ性能一覧表

消 防 団 の 概 要

消防団員は地域の安心・安全を確保するため消防・防災の中核的存在として昼夜を問わず活躍しています。しかし、社会環境の変化に伴い、消防団員数の減少、サラリーマン化や中高年化など様々な問題に直面しています。

こうした諸問題に対し、消防団員の活動環境を整備し、魅力ある消防団とするために自治会や事業所への活動に対しての理解を求めるとともに、各種訓練や研修会を行い団員の技術・資質の向上に努めています。

消 防 団 員 年 齢 構 成

(平成29年4月1日現在)

年 齢 消防団別	合 計	18歳 ～ 20歳	21歳 ～ 25歳	26歳 ～ 30歳	31歳 ～ 35歳	36歳 ～ 40歳	41歳 ～ 45歳	46歳 ～ 50歳	51歳 ～ 55歳	56歳 ～ 60歳	61歳 以上
合 計	2,323	19	116	182	340	471	513	309	163	91	119
甲府市消防団	1,248	15	36	62	156	205	300	188	114	76	96
甲斐市消防団	571	2	59	51	72	105	111	96	40	14	21
中央市消防団	386	2	17	52	79	123	81	22	8	0	2
昭和町消防団	118		4	17	33	38	21	3	1	1	

※ 甲斐市消防団については、双葉分団を含む。

消防団員数及び機械一覧表

(平成29年4月1日現在)

区 分 消防団別		条 例 定 数	実 員 合 計	階 級						機 械			機 械 置 場	団 本 部 車 両	
				団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	ポン プ 車	可 搬 式			積 載 車
合 計		2,536	2,323	4	13	53	90	321	356	1,486	47	141	127	172	5
甲 府 市 消 防 団	本 部	6	6	1	5										1
	富士川分団	25	21			1	2	5	2	11	1	1		1	
	琢美分団	20	11			1	2	1	1	6	1			1	
	相生分団	20	17			1	2	3	2	9	1	1		1	
	新紺屋分団	23	22			1	2	4	4	11	1			1	
	穴切分団	25	25			1	2	5	5	12	1	1	1	1	
	湯田分団	25	25			1	2	5	5	12	1			1	
	春日分団	23	20			1	2	4	4	9	1	1		1	
	伊勢分団	30	30			1	2	6	6	15	1	1	1	2	
	朝日分団	30	27			1	2	6	6	12	1	1	1	1	
	里垣分団	45	40			1	2	8	5	24	1	2	2	3	
	相川分団	100	100			1	2	20	20	57		8	6	8	
	国母分団	50	50			1	2	10	10	27	1	2	2	3	
	貢川分団	36	28			1	2	7	4	14	1	1	1	2	
	千塚分団	40	34			1	2	6	4	21	1	2	2	2	
	池田分団	40	39			1	2	7	8	21	1	1	1	1	
	山城分団	100	100			1	2	20	20	57	1	11	11	11	
	玉諸分団	70	70			1	2	14	14	39	1	8	7	8	
	甲運分団	62	60			1	2	10	12	35	1	4	4	5	
	千代田分団	60	55			1	2	12	12	28		6	4	5	
	能泉分団	20	18			1	2	4	3	8		3	2	3	
	宮本分団	25	20			1	2	5	5	7		2	2	2	
	大里分団	86	85			1	2	16	17	49	1	6	5	8	
	東分団	35	30			1	2	6	6	15	1	1	1	2	
	北新分団	35	30			1	2	5	5	17		1	1	1	
	羽黒分団	45	44			1	2	9	8	24		2	2	2	
	右左口分団	53	53			1	2	10	10	30	2	1	1	3	
	滝川分団	38	35			1	2	6	7	19	1	2	2	3	
	下向山分団	35	35			1	2	7	7	18		3	3	3	
	白井分団	25	23			1	2	5	5	10	1			2	
	上曽根分団	50	50			1	2	10	10	27	1	1	1	2	
	下曽根分団	36	28			1	2	7	7	11	1			1	
	上九一色分団	20	17			1	2	4	4	6	1	1	1	1	
小 計		1,333	1,248	1	5	32	64	247	238	661	26	74	64	91	1
甲斐市消防団		620	571	1	3	9	9	30	74	445	10	28	26	35	1
中 央 市 消 防 団	本 団	465	4	1	3										
	田富分団		150			3	5	14	14	129	3	14	14	15	
	豊富分団		147			3	6	6	6	124	6	1		6	
	玉穂分団	85			2	4	12	12	66	2	10	10	12	1	
小 計		465	386	1	3	8	16	32	32	294	10	25	24	33	1
昭和町消防団		118	118	1	2	4	1	12	12	86	1	14	13	13	2

※甲斐市消防団については、双葉分団を含む。

消 防 団 員 教 養

(平成28年4月1日～平成29年3月31日現在)

甲 府 市 消 防 団					
科 目	延べ日数	延べ人員	科 目	延べ日数	延べ人員
消防操法訓練	644	11,735	県消防学校入校	12	32
規律訓練	85	762	研修会	11	439
非常招集訓練	1	471			
新入団員器具取扱訓練					

甲 斐 市 消 防 団					
科 目	延べ日数	延べ人員	科 目	延べ日数	延べ人員
消防操法訓練	66	7,458	県消防学校入校	10	22
規律訓練	3	23	研修会	6	137
非常招集訓練	1	106			
新入団員器具取扱訓練					

中 央 市 消 防 団					
科 目	延べ日数	延べ人員	科 目	延べ日数	延べ人員
消防操法訓練	24	5,024	県消防学校入校	14	43
規律訓練	17	924	研修会	4	63
非常招集訓練	1	211			
新入団員器具取扱訓練					

昭 和 町 消 防 団					
科 目	延べ日数	延べ人員	科 目	延べ日数	延べ人員
消防操法訓練	16	1,296	県消防学校入校	6	9
規律訓練	6	484	研修会	2	115
非常招集訓練	1	118			
新入団員器具取扱訓練					

消防ポンプ自動車性能一覧表

消防団名		区別	種 別	車 体	年式	排気量	ポ ン プ			購入年月
							メ ー カ ー	型 式	級 別	
甲府市消防団	富士川分団		普通ポンプ車	三菱	S61	3.56	森田ポンプ	2段タービン	A2	H18. 3
	琢美分団		普通ポンプ車	いすゞ	H11	4.57	GMいちはら	2段タービン	A2	H11. 7
	相生分団		普通ポンプ車	いすゞ	H10	4.57	GMいちはら	2段タービン	A2	H10. 3
	新紺屋分団		普通ポンプ車	三菱	H 2	3.56	日本機械	2段タービン	A2	H23. 5
	穴切分団		普通ポンプ車	いすゞ	H 7	4.57	森田ポンプ	2段タービン	A2	H7. 12
	湯田分団		普通ポンプ車	いすゞ	H24	2.99	GMいちはら	2段タービン	A2	H24. 3
	春日分団		普通ポンプ車	三菱	H 2	4.21	日本機械	2段タービン	A2	H2. 10
	伊勢分団		普通ポンプ車	日野	H27	2.99	森田ポンプ	2段タービン	A2	H27.10
	朝日分団		普通ポンプ車	三菱	H 6	4.56	森田ポンプ	2段タービン	A2	H6. 7
	里垣分団		普通ポンプ車	トヨタ	H 9	4.10	GMいちはら	2段タービン	A2	H9. 11
	国母分団		普通ポンプ車	日野	H29	4.00	長野ポンプ	2段タービン	A2	H29. 2
	貢川分団		普通ポンプ車	いすゞ	H13	4.57	森田ポンプ	2段タービン	A2	H13. 7
	千塚分団		普通ポンプ車	トヨタ	H 8	4.10	GMいちはら	2段タービン	A2	H8. 11
	池田分団		普通ポンプ車	日野	H23	4.00	GMいちはら	2段タービン	A2	H23. 8
	山城分団		普通ポンプ車	日野	H27	4.00	日本機械	2段タービン	A2	H27. 3
	玉諸分団		普通ポンプ車	いすゞ	H26	2.99	森田ポンプ	2段タービン	A2	H26. 2
	甲運分団		普通ポンプ車	いすゞ	H24	2.99	長野ポンプ	2段タービン	A2	H24. 3
	大里分団		普通ポンプ車	日野	H27	4.00	長野ポンプ	2段タービン	A2	H27. 3
	東分団		普通ポンプ車	日野	H28	4.00	森田ポンプ	2段タービン	A2	H28.10
	右左分団		普通ポンプ車	日野	H17	4.00	森田ポンプ	2段タービン	A2	H17.10
	右左分団		普通ポンプ車	トヨタ	H12	4.16	森田ポンプ	2段タービン	A2	H18. 6
	滝川分団		普通ポンプ車	三菱	H15	5.24	日本機械	2段タービン	A2	H19.10
	白井分団		普通ポンプ車	三菱	H11	4.56	日本機械	2段タービン	A2	H19. 1
	上曽根分団		普通ポンプ車	三菱	H 9	4.56	日本機械	2段タービン	A2	H19. 2
	下曽根分団		普通ポンプ車	三菱	H11	4.56	日本機械	2段タービン	A2	H19. 5
	上九一色分団		普通ポンプ車	日野	H18	4.00	GMいちはら	2段タービン	A2	H18.12
甲斐市消防団	竜王分団第1		普通ポンプ車	ニッサン	H11	4.57	日本機械	2段タービン	A2	H11.12
	竜王分団第2		普通ポンプ車	日野	H25	4.00	日本機械	2段タービン	A2	H25.11
	竜王分団第3		普通ポンプ車	いすゞ	H20	2.99	森田ポンプ	2段タービン	A2	H20.12
	敷島分団第1		普通ポンプ車	日野	H20	4.00	長野ポンプ	2段タービン	A2	H20. 3
	敷島分団第2		普通ポンプ車	いすゞ	H12	4.57	森田ポンプ	2段タービン	A2	H12.11
	敷島分団第3		普通ポンプ車	いすゞ	H26	2.99	森田ポンプ	2段タービン	A2	H26.12
	敷島分団第4		普通ポンプ車	いすゞ	H14	4.77	森田ポンプ	2段タービン	A2	H14.12
	敷島分団第5		普通ポンプ車	いすゞ	H26	2.99	日本機械	2段タービン	A2	H27. 2
中央市消防団	田富第1分団		普通ポンプ車	いすゞ	H12	4.57	日本機械	2段タービン	A2	H12.12
	田富第2分団		普通ポンプ車	日野	H22	4.00	日本機械	2段タービン	A2	H23. 1
	豊富第1分団		普通ポンプ車	日野	H15	4.89	GMいちはら	2段タービン	A2	H15. 2
	豊富第1分団		普通ポンプ車	日野	H 17	4.00	GMいちはら	2段タービン	A2	H17. 3
	豊富第2分団		普通ポンプ車	トヨタ	H10	4.10	GMいちはら	2段タービン	A2	H10.12
	豊富第2分団		普通ポンプ車	トヨタ	H 8	4.10	GMいちはら	2段タービン	A2	H 8. 3
	豊富第3分団		普通ポンプ車	日野	H16	4.89	GMいちはら	2段タービン	A2	H16. 3
	豊富第3分団		普通ポンプ車	いすゞ	H12	4.57	日本機械	2段タービン	A2	H12.12
	玉穂第1分団		普通ポンプ車	日野	H24	4.00	日本機械	2段タービン	A2	H24.12
	玉穂第2分団		普通ポンプ車	日野	H17	4.00	日本機械	2段タービン	A2	H17.12
昭和町消防団本部			普通ポンプ車	いすゞ	H14	4.77	日本機械	2段タービン	A2	H14.11

小型動力ポンプ性能一覧表

消防団名		区 別	馬 力	放水量 (ℓ/分)	ポ ン プ			購入年月
					メーカー	型 式	級 別	
甲府市消防団	富士川分団		17	500	ラビット	1段タービン	B3	H 17 . 3
	相生分団		40	1,290	トーハツ	1段タービン	B2	H 22 . 10
	穴切分団		46	1,210	シバウラ	1段タービン	B3	H 24 . 12
	春日分団		16	500	ラビット	1段タービン	B3	H 17 . 3
	伊勢分団		28	1,180	トーハツ	1段タービン	B3	H 13 . 8
	朝日分団		62	1,290	シバウラ	1段タービン	B2	H 24 . 12
	里垣分団		46	1,280	シバウラ	1段タービン	B3	H 18 . 3
	里垣分団		62	1,280	トーハツ	1段タービン	B2	H 18 . 10
	相川分団		62	1,290	シバウラ	1段タービン	B2	H 20 . 10
	相川分団		45	1,200	ラビット	1段タービン	B3	H 27 . 11
	相川分団		62	1,280	トーハツ	1段タービン	B2	H 18 . 10
	相川分団		43	1,210	シバウラ	1段タービン	B3	H 16 . 3
	相川分団		62	1,280	ラビット	1段タービン	B2	H 19 . 9
	相川分団		62	1,290	シバウラ	1段タービン	B2	H 25 . 5
	相川分団		45	1,200	ラビット	1段タービン	B3	H 12 . 3
	相川分団		40	1,200	トーハツ	1段タービン	B3	H 13 . 8
	国母分団		43	1,210	シバウラ	1段タービン	B3	H 21 . 11
	国母分団		62	1,280	トーハツ	1段タービン	B2	H 18 . 10
	貢川分団		62	1,290	トーハツ	1段タービン	B2	H 22 . 10
	千塚分団		45	1,200	ラビット	1段タービン	B3	H 12 . 3
	千塚分団		40	1,290	トーハツ	1段タービン	B2	H 25 . 2
	池田分団		62	1,290	シバウラ	1段タービン	B2	H 21 . 11
	山城分団		62	1,280	ラビット	1段タービン	B2	H 19 . 9
	山城分団		62	1,200	トーハツ	1段タービン	B2	H 17 . 3
	山城分団		43	1,210	シバウラ	1段タービン	B3	H 24 . 12
	山城分団		43	1,210	シバウラ	1段タービン	B3	H 24 . 12
	山城分団		40	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 10 . 3
	山城分団		43	1,210	シバウラ	1段タービン	B3	H 14 . 9
	山城分団		40	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 26 . 9
	山城分団		62	1,290	シバウラ	1段タービン	B2	H 21 . 11
	山城分団		62	1,290	シバウラ	1段タービン	B2	H 20 . 10
	山城分団		43	1,210	トーハツ	1段タービン	B3	H 22 . 10
	山城分団		40	1,200	トーハツ	1段タービン	B3	H 10 . 12
	玉諸分団		62	1,280	ラビット	1段タービン	B2	H 24 . 1
	玉諸分団		62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 18 . 3
	玉諸分団		43	1,210	シバウラ	1段タービン	B3	H 13 . 2
	玉諸分団		62	1,200	トーハツ	1段タービン	B2	H 17 . 3
	玉諸分団		40	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 9 . 3
	玉諸分団		43	1,210	シバウラ	1段タービン	B3	H 13 . 2
	玉諸分団		40	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 26 . 9
	玉諸分団		43	1,210	シバウラ	1段タービン	B3	H 14 . 9

消防団名		区 別	馬 力	放水量 (ℓ/分)	ポ ン プ			購入年月
					メーカー	型 式	級 別	
甲府市消防団	甲 運 分 団		62	1,290	シバウラ	1段タービン	B2	H 20 . 10
	甲 運 分 団		62	1,280	ラビット	1段タービン	B2	H 24 . 1
	甲 運 分 団		40	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 26 . 9
	甲 運 分 団		40	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 10 . 3
	千 代 田 分 団		46	1,000	シバウラ	1段タービン	B3	H 20 . 10
	千 代 田 分 団		40	1,290	シバウラ	1段タービン	B2	H 28 . 10
	千 代 田 分 団		62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 18 . 3
	千 代 田 分 団		43	1,320	シバウラ	1段タービン	B2	H 22 . 2
	千 代 田 分 団		62	1,290	シバウラ	1段タービン	B2	H 25 . 5
	千 代 田 分 団		40	1,200	トーハツ	1段タービン	B3	H 10 . 12
	能 泉 分 団		45	1,200	ラビット	1段タービン	B3	H 16 . 3
	能 泉 分 団		45	1,200	ラビット	1段タービン	B3	H 27 . 11
	能 泉 分 団		40	1,200	トーハツ	1段タービン	B3	H 10 . 12
	宮 本 分 団		43	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 26 . 9
	宮 本 分 団		62	1,280	ラビット	1段タービン	B2	H 24 . 1
	大 里 分 団		45	1,200	ラビット	1段タービン	B3	H 12 . 3
	大 里 分 団		45	1,200	ラビット	1段タービン	B3	H 16 . 3
	大 里 分 団		62	1,290	シバウラ	1段タービン	B2	H 21 . 11
	大 里 分 団		62	1,290	シバウラ	1段タービン	B2	H 25 . 5
	大 里 分 団		45	1,200	ラビット	1段タービン	B3	H 27 . 11
	大 里 分 団		28	1,180	トーハツ	1段タービン	B3	H 13 . 8
	東 分 団		62	1,210	シバウラ	1段タービン	B2	H 21 . 12
	北 新 分 団		62	1,280	ラビット	1段タービン	B2	H 19 . 9
	羽 黒 分 団		46	1,200	トーハツ	1段タービン	B3	H 17 . 3
	羽 黒 分 団		45	1,200	シバウラ	1段タービン	B3	H 27 . 11
	右 左 口 分 団		40	1,120	シバウラ	1段タービン	B3	H 13 . 9
	滝 川 分 団		62	1,270	ラビット	1段タービン	B2	H 16 . 2
	滝 川 分 団		62	1,280	ラビット	1段タービン	B2	H 19 . 9
	下 向 山 分 団		55	1,130	シバウラ	1段タービン	B3	H 11 . 12
	下 向 山 分 団		55	1,260	シバウラ	1段タービン	B3	H 13 . 3
	下 向 山 分 団		62	1,290	シバウラ	1段タービン	B2	H 25 . 5
	上 曽 根 分 団		43	1,320	ラビット	1段タービン	B2	H 28 . 10
	上 九 一 色 分 団		43	1,210	シバウラ	1段タービン	B3	H 24 . 1
甲斐市消防団	竜 王 分 団 第 1		53	1,277	シバウラ	1段タービン	B3	H 6 . 10
	竜 王 分 団 第 1		53	1,277	シバウラ	1段タービン	B3	H 6 . 10
	竜 王 分 団 第 1		30	1,000	トーハツ	1段タービン	B2	H 24 . 11
	竜 王 分 団 第 2		53	1,277	トーハツ	1段タービン	B3	H 8 . 12
	竜 王 分 団 第 2		53	1,277	トーハツ	1段タービン	B2	H 5 . 12
	竜 王 分 団 第 2		53	1,277	トーハツ	1段タービン	B3	H 6 . 10
	竜 王 分 団 第 2		53	1,277	トーハツ	1段タービン	B3	H 7 . 11
	竜 王 分 団 第 3		53	1,277	トーハツ	1段タービン	B3	H 5 . 12
	竜 王 分 団 第 3		53	1,277	トーハツ	1段タービン	B3	H 7 . 11
	竜 王 分 団 第 3		53	1,277	トーハツ	1段タービン	B2	H 4 . 12
	敷 島 分 団 第 1		46	1,290	シバウラ	1段タービン	B2	H 20 . 3
	敷 島 分 団 第 1		46	1,280	ラビット	1段タービン	B2	H 18 . 3
	敷 島 分 団 第 2		62	1,290	トーハツ	1段タービン	B2	H 22 . 8

消防団名		区 別	馬 力	放水量 (ℓ/分)	ポ ン プ			購入年月
					メーカー	型 式	級 別	
甲斐市消防団	敷島分団第2		40	1,230	トーハツ	1段タービン	B3	H 23 . 12
	敷島分団第2		53	1,300	トーハツ	1段タービン	B2	H 13 . 3
	敷島分団第2		62	1,290	トーハツ	1段タービン	B2	H 22 . 10
	敷島分団第3		40	1,300	トーハツ	1段タービン	B3	S 50 . 4
	敷島分団第3		53	1,277	トーハツ	1段タービン	B3	H 3 . 12
	敷島分団第5		53	1,300	トーハツ	1段タービン	B3	H 12 . 3
	敷島分団第5		46	1,280	ラビット	1段タービン	B3	H 18 . 3
中央市消防団	田富第1分団第1部		51	1,200	トーハツ	1段タービン	B3	H 11 . 2
	田富第1分団第2部		52	1,200	トーハツ	1段タービン	B3	H 15 . 12
	田富第1分団第3部		62	1,200	トーハツ	1段タービン	B3	H 20 . 12
	田富第1分団第5部		43	1,400	ラビット	1段タービン	B3	H 19 . 2
	田富第1分団第13部		43	1,400	ラビット	1段タービン	B3	H 20 . 3
	田富第2分団第6部		43	1,400	ラビット	1段タービン	B3	H 17 . 12
	田富第2分団第7部		43	1,400	ラビット	1段タービン	B3	H 19 . 2
	田富第2分団第8部		51	1,200	トーハツ	1段タービン	B3	H 11 . 2
	田富第2分団第12部		43	1,400	ラビット	1段タービン	B3	H 20 . 3
	田富第3分団第9部		51	1,000	シバウラ	1段タービン	B3	H 16 . 12
	田富第3分団第10部		46	1,280	ラビット	1段タービン	B2	H 20 . 3
	田富第3分団第11部		51	1,200	トーハツ	1段タービン	B3	H 14 . 9
	田富第3分団第11部		51	1,200	トーハツ	1段タービン	B3	H 11 . 2
	田富第3分団第14部		30	1,000	トーハツ	1段タービン	B2	H 26 . 3
	本部		40	1,420	トーハツ	1段タービン	B3	H 14 . 8
	玉穂第1分団第1部		46	1,000	シバウラ	1段タービン	B2	H 14 . 3
	玉穂第1分団第2部		43	1,400	ラビット	1段タービン	B3	H 20 . 3
	玉穂第1分団第4部		62	1,300	トーハツ	1段タービン	B2	H 21 . 12
	玉穂第1分団第5部		45	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 14 . 10
	玉穂第1分団第6部		45	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 10 . 3
	玉穂第2分団第8部		53	1,200	トーハツ	1段タービン	B2	H 21 . 12
	玉穂第2分団第9部		51	1,200	トーハツ	1段タービン	B2	H 20 . 12
	玉穂第2分団第10部		40	1,200	トーハツ	1段タービン	B2	H 13 . 3
	玉穂第2分団第11部		51	1,200	トーハツ	1段タービン	B2	H 14 . 12
	玉穂第2分団第12部		51	1,200	トーハツ	1段タービン	B2	H 9 . 3
昭和町消防団	第1部		62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 18 . 3
	第2部		62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 17 . 10
	第3部		62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 17 . 10
	第4部		62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 18 . 3
	第5部		62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 18 . 3
	第6部		62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 18 . 3
	第7部		62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 17 . 10
	第8部		62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 17 . 10
	第9部		62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 18 . 3
	第10部		62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 17 . 10
	第11部		62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 18 . 3
	第12部		62	1,200	シバウラ	1段タービン	B2	H 17 . 10
	本部		62	1,280	ラビット	1段タービン	B2	H 14 . 4
	本部		30	1,000	トーハツ	2段タービン	B2	H 26 . 2

平成28年版 消防年報

平成29年6月発行

甲府地区広域行政事務組合消防本部

〒400-0856 甲府市伊勢三丁目8番23号

電話 055-222-1190

F a x 055-222-7583

Email info@kfd.or.jp